

第四十回 貴族院議事速記録第六號

大正七年二月十三日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第六號 大正七年二月十三日

午前十時開議

第一 男爵關義臣君請暇ノ件

第二 大正七年度歳入歳出總豫算案並大正七年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件

第四 臨時軍事費豫算追加案(第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第五 大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第六 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第七 酒造稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第八 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第九 麥酒稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十 所得稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十一 戰時利得稅法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十二 臨時國庫證券法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十三 貨幣法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十四 登錄稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十五 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十六 軍用自動車補助法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十七 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十八 足尾鐵道及有馬輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十九 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
第二十 樺太事業公債法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

去ル九日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

徵兵令中改正法律案

舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル帝國在郷軍人會國庫補助ノ請願ハ意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日第三部ニ於テ理事男爵關義臣君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果男爵宇佐川一正君當選セリ

同日決算委員分科會ニ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第四分科主査 子爵西大路吉光君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

臨時國庫證券法中改正法律案

貨幣法中改正法律案

登錄稅法中改正法律案

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

軍用自動車補助法案

鐵道敷設法中改正法律案

足尾鐵道及有馬輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法案

昨十二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案

帝國大學特別會計法中改正法律案

大正七年度歳入歳出總豫算案並大正七年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

臨時軍事費豫算追加案(第一號)

大正七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程ニ進ミマス前ニ、議長ハ甚ダ悲シムベキコトニ付テ御協議ヲ致シタイコトガゴザイマス、ソレハ一昨十一日蜂須賀侯爵薨去ノ通知ニ接シマシタ、同侯爵ハ諸君ノ御承知アラセラレマス通り、明治二十四年七月ヨリ同ジク二十九年十月マデ、五箇年四箇月間本院議長ノ職ヲ勤メラレマシタ御方デゴザイマス、此度薨去ノ報ニ接シマシテ洵ニ痛歎ノ至ニ堪ヘマセス、依ッテ弔辭ヲ贈リタイト存ジマス、又來ル十六日同侯爵ノ葬儀ノ際ニ、議長ハ議院ヲ代表イタシマシテ葬儀ニ列シタイト存ジマス、此兩件ヲ諸君ニ御諮リヲ致シマス、御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第一、男爵關義臣君請暇ノ件、是ハ病氣ニ付十八日間ノ請暇デゴザイマス、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、大正七年度歳入歳出總豫算案竝大正七年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件、第三、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件、第四、臨時軍事實費豫算追加案第一號審査期限ヲ定ムルノ件、第五、大正七年度歳入歳出總豫算追加案第一號審査期限ヲ定ムルノ件、第六、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號審査期限ヲ定ムルノ件

〔河井書記官朗讀〕

大正七年度歳入歳出總豫算案竝大正七年度各特別會計歳入歳出豫算案
右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月十二日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月十二日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

(第一號)臨時軍事費豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月十二日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

(第一號)大正七年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月十二日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月十二日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガゴザイマセスケレバ、日程ノ第二ヨリ第六マデ東ネテ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 諸君、私ハ茲ニ大正七年度歲計豫算ヲ皆様ニ御紹介ヲ申上ゲテ、併セテ政府ノ財政經濟ニ關係イタシマスル施設ノ一斑ニ付

キマシテ、所見ヲ開陳ヲ致シタイト思フノデアリマス、暫ク御清聴ヲ煩ハシタイト希望イタシマス、抑、帝國政府ノ財政經濟ニ關シマスル大體ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ現内閣成立以來屢、宣明イタシタ所デゴザイマスルカラシテ、茲ニ之ヲ繰返スノ必要ハナカラウト考ヘテ居リマスル、今ヤ内外ノ情勢ニ鑑ミマシテ、帝國ノ施設方策ニシテ急施ヲ要スルモノハ頗ル多イノデアリマス、殊ニ國防ノ充實ノ如キモノハ一日モ忽ニスベカラザルモノデアルト云フコトハ、勿論ノ事柄デアリマスル、故ニ大正七年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテ、政府ハ國防ノ充實ニ付キマシテハ出來得ル限り必要ナル經畫ニ應ズベキ所ノ經費ヲ計上イタシマシタ、次ニ時局ニ伴ヒマシテ將來ニ向ッテ國運ノ進展ニ資スベキ産業ノ發達、教育ノ振興等ニ必要ナル經費ヲ計上イタシマシタ、其他一般普通ノ經費ニ付キマシテハ努メテ之ヲ認メザルノ方針ヲ採ッタノデアリマス、以上ノ方針ニ依リマシテ編成ヲ致シマシテ當初衆議院ニ提出イタシマシタ所ノ大正七年度總豫算ニ計上シテアリマスル所ノ歳入ハ、經常部ニ屬スルモノ六億四千五百餘萬圓デアリマス、臨時部ニ屬スルモノ七千六百餘萬圓、合計七億二千二百餘萬圓ト相成ッテ居リマス、其歳出ハ經常部ニ屬シマスルモノガ四億八千八百餘萬圓、臨時部ニ屬シマスルモノガ二億四千餘萬圓、合計七億二千二百餘萬圓ト相成ッテ居リマス、右大正七年度總豫算中ニ於キマシテ、其主要ナルモノヲ玆ニ概言イタシマスレバ、國防ノ經畫ニ關係イタシマシテハ、國家自衛ノ保障ヲ完ウスルノ趣旨ヲ以チマシテ、海軍軍備ノ充實……補充ヲ圖ルノ急務ナルヲ考ヘマシテ、大正七年度ニ於キマシテ軍艦製造費ノ二千五百四十餘萬圓ヲ計上シマシタ、同年以降大正十二年度ニ互ル六箇年度ニ於キマシテ、總額三億五十四萬餘圓ヲ追加要求ヲ致シテアリマス、ソコデ既定ノ豫算額ト合セマスルト、大正七年度以降ノ總額ガ五億八千四百餘萬圓ト云フコトニ相成リマス、今回ノ經畫ハ歐洲ノ戰爭ノ實驗ニ鑑ミマシテ、艦型其他ニ變更ヲ加ヘルノ必要ガアリマスルノミナラズ、更ニ艦艇増加ノ必要ヲ認メマシタ、尙又物價ノ騰貴ハ既定ノ經費ヲ以チマシテハ、本年度ニ於テ豫定ノ工程ヲ遂ゲ得ナイト云フ憂ガアリマスルニ依リマシテ、是等ニ要シマスル所ノ經費モ追加要求ヲ致シマシタ、其他海軍ニ付キマシテハ大正七年度ニ於テ、水陸ノ設備費ノ追加、六百五十九萬餘圓、航空隊ノ設備費追加百萬圓、火藥廠設備費二百四十七萬餘圓、準備軍需品費、無線電信所設備費、臺灣豫備油田試掘費等ヲ計上イタシマシタ、陸軍ノ軍備ノ充實ニ關シ

マシテハ、現在ノ兵力ヲ充實スルト云フコトヲ以テ主眼ト致シマシテ、大正七年度以降六箇年度ヲ以チマシテ、大體其目的ヲ達スルノ經畫ヲ立テマシタ、尙ホ定規ノ豫備後備兵ノ完成ニハ御承知ノ通りニ更ニ十二箇年ヲ要スルコトデアリマスルカラシテ、隨ッテ本經畫ハ十八箇年度ニ互リマシテ提出ニナッテ居リマスル、其臨時費ノ總額ハ五千五百二十六萬餘圓デアリマスル、同期間ニ要シマスル所ノ經常費ノ總額ハ、一億二千八百七十三萬餘圓デアリマス、而シテ經常費ノ平年度分ガ八百六十一萬餘圓ト云フコトニ相成リマス、大正七年度ニ於キマシテ經常臨時合計イタシマシテ、八百八十五萬圓ト云フモノヲ豫算ニ計上イタシテゴザイマスル、其他陸軍ニ付キマシテハ幹部要員補足ノ爲ニ要シマスル經費、補充兵教育召集ノ爲ニ要シマスル經費、特種兵器製造及試驗費、軍用氣球研究費ノ増加、自動車研究費ノ増加、自動車獎勵費等ヲ計上イタシテゴザイマスル、國防充實ニ關スル經費ノ外ニ産業ノ發達ヲ圖リ、我が經濟的基礎ノ確立ヲ期スルノ施設ト致シマシテ、製鐵所擴張費ノ追加千五百五十八萬餘圓、大阪工業試驗所ノ設置費、綿羊ノ飼育獎勵費、臨時室素研究所ノ設置費、遠洋漁業獎勵費ノ増加、土地利用費、漁港ノ修築獎勵費、農業倉庫ノ建設獎勵金ノ増加、絹業試驗所設置、海外商品陳列館ノ設置補助費ト云フ如キモノヲ計上ヲ致シマシタ、教育ノ振興ニ關シマシテハ、市町村立小學教員ノ俸給ハ其一部ヲ國庫ヨリ支出スルト云フコトガ機宜ニ適シタモノト認メマシテ、之ニ要シマスル所ノ經費千萬圓ヲ豫算ニ計上ヲ致シマシタ、其他福岡農科大學、第十一高等工業學校、第三高等農業學校、第六高等商業學校、東京貿易殖民語學校、第九乃至第十二高等學校、藥學專門學校等ノ創立ノ經費、東北帝國大學機械工學科ノ設置、航空研究所ノ創設、科學研究獎勵費等ノ支出ヲ計上イタシマシタ次第デゴザイマス、以上申シマシタ外ニ尙ホ大正七年度豫算ニ計上イタシマシタ所ノ歳出ノ重ナルモノヲ申上ゲマスレバ、諸河川改修工事線上等ニ伴フ年割額ノ増加、預金利子及利子拂手數料ノ増加、國庫豫備金ノ増加、議院建築費、田畑地價調査費、國勢調査費、官有財產調査費、地方裁判所支部權限擴張ニ關スル經費、區裁判所設置ニ關スル經費、海外通信支拂金ノ増加、恩給ノ増加、内地各地間及東京京城間ノ電信線路ノ増設費、無線電信局ノ設置費、電氣工業用發電水力調査費、商船學校擴張費等デゴザイマスル、大正七年度總豫算ニ於キマスル所ノ歳出合計ハ前段申上ゲマシタ如クニ七億二千二百餘萬圓ニ相成ッテ居リマス、之ニ對シマ

シテ既定ノ歳入ハ其額合計六億八千餘萬圓デアリマシテ、差引キ四千百餘萬圓ト云フ歳入不足ヲ見ル譯デアリマス、此歳入ノ不足ヲ補填ヲ致シマスル爲ニ前年度剩餘金中ヨリ二千六百六十餘萬圓ノ繰入ヲ致シマシタ、尙ホ差引キ不足額ノ千四百七十餘萬圓ハ國防計畫ノ遂行上後年度ニ互リマシテ必要ナル經費ノ恆久的財源ヲ調達スルノ目的ヲ以チマシテ、租稅收入、專賣局益金及通信收入ニ付キマシテ、增收ノ計畫ヲ立テマシタ、其大正七年度ノ歳入ヲ以チマシテ右申シマシタ所ノ千四百七十餘萬圓ノ不足ヲ補填スルノ計畫ヲ立ッタノデアリマス、茲ニ增收計畫ノ大要ヲ極メテ簡單ニ申上ゲマスレバ、第一ニハ租稅ニ付キマシテハ所得稅及酒稅ノ增收ヲ主體ト致シマシテ、尙ホ稅制整理ノ趣旨ヲ以チマシテ、織物消費稅、砂糖消費稅及家用醬油稅ニ改正ヲ加ヘマシテ、清涼飲料稅ナルモノヲ新設イタシマシタ、通行稅及石油消費稅ヲ全廢スルノ計畫ヲ立ッタノデアリマス、通信收入ニ付キマシテハ、一般經濟ノ發達竝ニ負擔ノ難易ニ鑑ミマシテ、電報小包及信書料金ニ相當ノ値上ヲナスコトノ計畫ヲ立テマシタ、又專賣局ノ益金ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク近來物價騰貴ニ依リマシテ、專賣事業ニ要シマスル所ノ經費ニ増加ヲ來シマシテ、之ガ爲ニ專賣局益金ノ收入ガ減少イタシマス、之ヲ填補スルト同時ニ一般財政上ノ必要ニ應ジマシテ、其財源ヲ得ルノ目的ヲ以チマシテ、製造煙草ノ各品種ヲ通ジマシテ、其定價ニ對シ約一割七分ノ引上ヲ實行イタシマシタ、右申シマシタ租稅竝ニ官業收入ノ增收計畫實行ノ結果ト致シマシテハ、大正七年度ニ於キマシテハ、千四百七十餘萬圓、平年度ニ於キマシテ三千七百餘萬圓ノ增收ヲ見ル所ノ計算トナツテ居リマス、尙ホ以上ノ增收計畫ニ依リマスル所ノ收入ト共ニ後年度ニ互リマスル國防計畫ニ要シマスル所ノ經費ヲ補充イタシマスル爲ニ、大正八年度以降國債償還額五千萬圓ノ内二千萬圓ヲ國防充實ノ財源ニ供シマシテ、以テ將來ニ互ル帝國財政ノ鞏固ナル基礎ヲ維持スルノ策ヲ立ッタ次第デゴザイマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテ審議ノ結果、右增收計畫ノ中租稅收入ニ付キマシテ、稅制整理ニ關スル分ニ對シマシテ、其實行ヲ他日ニ讓ルヲ可トサレマシテ、即チ織物消費稅法、砂糖消費稅法、家用醬油稅法ノ各改正案、清涼飲料稅法案、通行稅及石油消費稅ノ廢止法律案ヲ否決イタシマシタ、併セテ郵便法改正法案ヲ否決イタシマシタ、而シテ衆議院ハ御承知ノ如ク大正七年度ニ於ケル財政計畫ノ骨子デアリマスル所ノ國防充實ノ計畫ト云フモノハ是認ヲ致シマシタ、之ニ伴フ増

收計畫ニ付キマシテモ、其增收ノ主體タル所得稅竝ニ酒稅ノ増徴ト云フモノハ之ヲ認メマシタ、唯現行租稅制度ノ整理ハ主義トシテ、之ヲ認メルケレドモ、相當ノ時期迄之ヲ延期スルヲ以テ適當ナル措置ナリトシタノガ、是ガ即チ衆議院ノ論デアリマス、而カモ既ニ衆議院ノ修正ニ依ッテ稅制整理ノ延期ヲ致シマシタ以上ハ茲ニ相當ノ餘裕ガ生ジテ來ルノデアリマス、隨ッテ強ヒテ政府ノ計畫イタシマシタ所ノ通信收入ニ於テ增收ヲ圖ラズトスルモ、收支適合其宜シキヲ制スルハ難カラヌノデアリマス、即チ增收計畫其モノ自體ニ付テハ、何等ノ支障ヲ生ズルモノデハナイノデアリマス、加之衆議院ハ國防充實ニ關スル財源ノ補充ト致シマシテ、既定公債償還額五千萬圓ノ中二千萬圓ヲ大正八年度以降ニ於テ減額イタスト云フコトノ計畫モ認メマシタ、以テ國防計畫ノ遂行ヲ遺憾ナカラシメタノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシラシテ、政府ハ總豫算ニ於キマスル歳入歳出ノ均衡ヲ保タシムル爲ニ之ニ修正ヲ加ヘマシタ、即チ歳入經常部ニ於テ六億四千二百餘萬圓、臨時部ニ於テ七千六百餘萬圓、合計七億九百餘萬圓ヲ計上イタシマシタ、歳出ニ於キマシテハ、國庫豫備金ノ増加二百萬圓ヲ削除イタシマシタ、而シテ衆議院ハ歳出ニ於キマシテ二三ノ事項ニ削減ヲ加ヘマシタ外、時局ニ伴ヒ國運ノ發展ニ資スベキ產業ノ發達、教育ノ振興等ニ要シマスル所ノ經費、其他歳出ノ全部竝ニ公債計畫等ヲ是認イタシタ次第デアリマス、次ニ臨時事件ニ關係スル經費ノコトニ付テ申上ゲタイト思フノデアリマス、臨時事件ニ關係イタシマスル經費ニ付キマシテハ、臨時軍事費、特別會計ニ於キマシテ歳出三千三百七十餘萬ヲ計上イタシテゴザイマス、官有物拂下代及雜收入百七十五萬餘圓、借入金及公債募集金三千百九十五萬ヲ以テ之ガ財源ニ充ツルノ計畫ヲ立テタノデゴザイマス、又一般會計ニ於キマシテ、大正七年度ニ於テ臨時事件豫備費ガアリマス、此豫備費ノ總額ガ八千四百萬圓ト云フモノヲ計上イタシタノデゴザイマス、右豫備費ノ中ニハ判任官以下臨時手當千七百餘萬圓、物價騰貴ニ伴ヒマスル一般經費ノ増加額千七百餘圓等特殊ノ經費ヲ包含イタシテ居リマス、而シテ之ガ財源ト致シマシテハ山東鐵道收入、青島事業收入、臨時受託造修收入、臨時海上再保險收入、借入金及前年度繰入金ヲ以テ充ツルノ外、時局ノ影響ニ依リマシテ増加シタル所ノ利得ニ對シ戰時利得稅ナルモノヲ課シマシテ、之ヲ以テ財源ニ充ツル計畫ヲ立テタノデアリマス、開戰以來大正七年度ニ互リマシテ、臨時事件ニ關スル所ノ經費ハ總額四億四千七百

餘萬圓ニ達シテ居リマス、而シテ時局ノ前途ヲ達觀イタシマスルトキニハ戰局ハ愈、紛糾イタシテ、其終熄ノ時期ト云フノハ何人モ之ヲ豫見スルコトハ出來スノデアリマス、故ニ之ガ推移ニ伴ヒマシテ更ニ之ニ對應スベキ所ノ施設ヲ要セストモ限ラナイノデアリマス、依ッテ財政ノ安排、經濟ノ調節等ニ深ク考慮ヲ盡スベキハ勿論ノコトデアリマスガ、豫メ軍國ノ急ニ應ズムガ爲ニ政府ト致シマシテハ、當初特ニ彈力アル財政計畫ヲ立ツル必要ヲ認メタノデアリマス、次ニ政府ノ公債發行並ニ公債償還計畫ニ付テ一言申上ゲタイト思フノデアリマス、大正七年度ニ於キマシテ公債償還ニ充ツベキ金額ハ前年度ト同ジク之ヲ五千萬圓ト致シ、大正八年度以降ニ於キマシテハ之ヲ三千萬圓ニ止ムルノ計畫ヲ採リマシタ、惟フニ不生産的國債ハ成ルベク之ヲ多額ニ償還シ以テ財政ノ安固ヲ圖ルノ必要ガアルノデアリマス、併ナガラ大正八年度以降ニ於キマシテハ、既ニ縷々述べマシタ如クニ、國防計畫ノ實行上、増收計畫ニ依ル歲入ト共ニ其財源ニ充ツル必要ガアリマスルニ依ッテ之ヲ三千萬圓ニ減額スルノ已ムヲ得ザルニ至ツタ次第デゴザイマス、大正七年度ニ於キマスル公債發行計畫ニ關聯イタシマシテ、茲ニ大正六年度ニ於ケル公債募集ノ狀況ニ付テ諸君ノ御參考ノ爲ニ一言ヲ費シタイト思フノデアリマス、大正六年度ノ政府ノ募債計畫ハ御承知デアラセラルル如クニ、臨時國庫證券二億圓ヲ合シマシテ、總計三億六千八百八十六萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、此中ニ實行未了ト稱スベキモノガ帝國鐵道特別會計ニ於キマシテ、預金部ヨリノ借入金返濟ノ爲ニ發行イタシマシタモノガ二千萬圓、外國債借換ノ爲ニ發行イタシマシタモノガ三千萬圓、臨時軍事費豫備費ニ充テマスモノガ二千萬圓、是ガ重モナモノデアリマス、此中ノ申上ゲマシタ所ノ前二者ハ金融調節上市場ノ狀況ニ依リテハ必シモ之ヲ募集シナケレバナラスト云フモノデハナイノデアリマス、又前年ノ議會ニ於キマシテ、政府ハ豫算ニ之ヲ計上イタシマシタ其際ニモ、其趣旨ハ縷々辯ジテ置イタ次第デアリマス、而シテ一方ニ於キマシテ豫算ニ計上イタシマシタ所ノ募債計畫ノ大體ハ之ヲ實行イタシマシタル外ニ豫算ニ關聯シマセヌ所ノモノデ未ダ大分募債イタシテ居ルノデアリマス、即チ佛國圓國庫債券同大藏省證券、英國圓大藏省證券等ノ發行イタサレタモノガ既ニ一億五千六百萬圓ノ多キニ達シテ居リマス、故ニ是等ニ依リマシテ金融ノ調節ヲ完ウスルコトヲ得マシタ以上、茲ニ前二者ノ公債ヲ發行スルト云フコトヲ政府ハ打切ルコトニ致シマシタ、又第三ノ臨時軍事費ノ公債ニ付キ

マシテハ今日ニ至ルマデ之ガ發行ヲ必要トスル事件モ發生シマセヌ、ソレ故ニ之ヲ募集イタサヌノデアリマス、斯ク申上ゲマスレバ大正六年度ニ於ケル政府ノ募債計畫ハ大體ニ於キマシテ完了シタモノト申上ゲテ宜シカラウト考ヘテ居リマスノデアリマス、大正七年度ニ於キマスル募債ニ付キマシテハ、既ニ申上ゲマシタ臨時事件費支辨ノ爲ニ致シマスル公債ノ外、電話事業公債千萬圓、鐵道公債二千五百萬圓、朝鮮事業公債千三百二十餘萬圓、臺灣事業公債二百萬圓、樺太事業公債百餘萬圓等、各種ノ事業公債ヲ合計イタシマスルト五千百餘萬圓ニ上ルノ見込デアリマス、尙ホ臨時國庫證券發行ニ付キマシテハ大正六年法律第七號ニ依リマシテ一億圓ヲ其限度ト致シテ置キマシタガ、時局ニ伴フ我が經濟ノ發展、國際經濟ノ狀態ニ鑑ミマシテ爲替資金ノ疏通ヲ圖リ、軍需品代金ノ決済ヲ益、圓滑ナラシムル要ガ茲ニ起リマスル故ニ、二億圓ノ外ニ更ニ三億圓ノ増加ヲ致シタイト云フ見込ヲ以チマシテ他ノ法律案ヲ提出イタシテ居リマス、次ニ經濟狀態ニ付キマシテ一言ヲ費シタイト思ヒマス、我國ノ經濟狀態ヲ通觀イタシマス、對外貿易ハ時局ノ影響ヲ受ケマシテ其面目ヲ一新イタシマシテ、時局ノ發生以來昨年末ニ到リマスル輸入總額ガ二十六億二千三百餘萬圓ニナツテ居リマス、輸出總額ガ三十七億九千九百餘萬圓ニ相成ツテ居リマス、此差引キ十一億七千五百餘萬圓ノ輸出超過ト云フコトニ相成リマスル、此輸出超過ノ外ニ同期間ニ於キマシテ貿易外ノ收入超過額ガ七億圓バカリゴザリマス、之ヲ合計イタシマスルト國際貸借上正貨收入超過額ハ約十八億圓ニ達シテ居リマス、此內聯合與國ニ對シマスル財政上直接並ニ間接ノ援助ニ供セラレタリト見ルベキモノガ約十三億圓ノ巨額ニ達シテ居リマス、而シテ又内地正貨ノ充實ト產業ノ勃興トニ資シタルコトガ極メテ顯著デアリマシテ、時局發生ノ當時我が内地正貨準備ハ御承知ノ如ク一億三千二百萬圓デアリマシタ、今ヤ四億六千餘萬圓ニ達シテ居リマス、又昨年末マデニ銀行會社ノ新設又ハ増加ノ計畫資本金額ガ二十五億六千餘萬圓ニ上ツテ居リマシテ、殊ニ昨年中ニ於キマシテハ、十五億六千餘萬圓ノ多キニ達シテ居リマス、我が經濟ノ發展ヲ期シ其鞏固ナル基礎ヲ樹立イタシマスルニ當リマシテハ、金融機關ヲ整備改善イタシマシテ、其機能ヲ發揮セシムルコトノ最モ急務ナルコトハ勿論ノコトデアリマス、此趣意ヲ以テ政府ハ曩ニ第三十九議會ニ於キマシテ各種ノ法案ヲ提出イタシマシテ、大體之ガ通過ヲ見マシタ、爾來政府ニ於キマシテハ本問題ニ關シマシテ慎重講究ヲ重ネマシ

テ畫策實行スル所アツタノデアリマス、就中對支金融機關ノ整備ニ關シマシテハ最モ急務ナルヲ認メマシテ、既ニ滿蒙ニ對シマシテハ朝鮮銀行ヲシテ貨幣統一並ニ一般金融ノ機關トナラシメ、又東洋殖産株式會社ヲシテ長期金融ノ機關トナラシメ、滿鮮ノ經濟的連絡ヲ圖ルノ方策ヲ實現スルコトヲ得タノデアリマス、又支那本土ニ付キマシテハ從來内地ノ銀行團ガ大ニ活躍ヲ致シテ居リマスル次第デアリマスルガ、一層是等ヲシテ活躍セシメ、其外御承知ノ如ク有力ナル日支ノ實業家ノ設立イタシマシタ所ノ中華滙業銀行ノ活動ニ依リマシテ日支經濟提携ノ實ヲ舉ゲ、彼我經濟上ノ發展ニ資スルコト蓋シ多大ナルモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、又南洋南米等ニ對シマシテハ橫濱正金銀行及臺灣銀行ヲシテ貿易金融ノ圓滑ヲ圖ラシムルト共ニ海外興業株式會社ナルモノヲシテ移民金融ノ便ヲ圖ラシムルコトニ致シマシタ、又日米金融ノ連絡提携ニ付キマシテハ曩ニ政府ハ財政經濟委員ヲ特派イタシマシテ、是ガ實現ヲ圖ラシメマシタ、最近ニ至リマシテ紐育ノ聯邦準備銀行ト日本銀行トノ間ニ金融ノ連絡ニ關スル協約ノ締結ガ成リマシタ、茲ニ戰時並ニ戰後ニ於ケル國際金融關係ニ多大ノ便宜ヲ得ルニ至リマシタ、其他日露金融ノ連絡等ニ付キマシテモ目下研究ノ歩ヲ進メツ、アル次第デアリマス、右ノ外内地金融機關ニ付キマシテハ内閣成立以來幾多ノ改善ヲ加ヘタノデアリマスガ、尙ホ事業資金ノ供給ヲ潤澤ニシ一般金融ノ圓滑ヲ期セムガ爲ニ、之ニ必要ナル提案ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、歐洲戰局ノ現狀ハ申上ゲマスルマデモナク米國ノ參戰ニ因リマシテ時局ハ愈々擴大シ、露西亞ノ頽勢ニ因リマシテ愈々混亂ノ狀態ヲ呈シテ居リマスノデアリマス、此結果ガ如何ニナルカト云フコトハ何人モ逆メ睹ルコトハ出來マセヌ、此秋ニ當リマシテ帝國ト致シマシテハ聯合與國ニ對シ益々財政上ノ援助ヲ爲スト共ニ、健全ナル産業ノ發達ヲ圖リマシテ、經濟自給ノ基礎ヲ確立シ、以テ戰後經濟ノ變動ニ對シテ豫メ備ヘナケレバナラヌト云フコトハ私ガ申上ゲマスマデモナイコトデアリマス、既ニ政府ハ時局ニ適應イタシマスル所ノ戰時經濟施設ニ付キマシテハ多少ノ考慮ヲ致シ其實施モ致シマシタガ、尙ホ將來銳意之ガ研究ヲ怠ラズ、機宜ノ畫策ヲ施シテ以テ遺算ナキヲ期シタイト思フテ居リマス、而カモ能ク是等ノ實效ヲ舉ゲ所期ノ目的ヲ完ウ致シマスル爲ニハ國民各自ノ努力ヲ要スルト云フコトハ是亦勿論ノコトデアラウト考ヘテ居リマス、私ハ終リニ臨ミマシテ諸君ガ慎重審議、速ニ豫算案ニ對シマシテ協賛ヲ與ヘ

ラレムコトヲ切ニ希望イタス次第デゴザイマス
○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、柳澤伯爵

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 本員ハ茲ニ簡單ナル二三ノ質問ヲ致シマス、第一ノ質問ハ航空術ノ研究調査ニ關スル點デアリマス、本年度ノ豫算ヲ見マスルト、航空術研究及調査ニ關シマシテ文部省海軍省並ニ陸軍省、此三省ガ相當ノ金額ヲ支出シテ居リマス、文部省ニ於キマシテハ東京大學航空研究所開始ニ伴フ經費合計ノ内デ今年度ニ二十四萬圓、海軍省ニ於キマシテハ航空隊設備費ト致シマシテ既定ノ六十三萬餘圓ニ加ヘマスニ五百八十五萬圓ヲ支出シ、是ガ七年度以降五箇年ノ繼續デアリマス、合計六百四十七萬圓ノ中デ百十萬圓ノ支出デアリマス、陸軍省ニ於キマシテハ航空隊設立並ニ軍用氣球研究費、合計百十三萬餘圓ノ支出デアリマス、此三省ヲ通ジマシタル總計ヲ見マスト約二百四十餘萬圓デアリマス、當局者ニ於キマシテモ相當ニ此技術ニ付キマシテハ研究調査ヲ圖ラレルコトハソレデ分ッテ居リマス、併ナガラ本員考ヘマスルノニ現今本邦ニ於ケル所ノ飛行術ハ軍事當局者ハ如何ナル見ヲ持ッテ居ラレルカハ存ジマセヌガ、私共素人ノ目カラ見マスルト如何ニモ幼稚デアリマス、歐米諸國ノ飛行界ノ大體ノ今日ノ進歩發展ニ比ベテ見マスルト迎モ比較ニナラヌ、是ハ私ハ天下ノ通論ト考ヘマス、大演習ガ各地ニ開カレマシテ、之ニ參加イタシマス飛行機ノ現狀ハ如何デアリマスカ、殆ド東京カラ僅ニ二三百里ノ先キニ行クニ停電セザルナシ、電車デ言ヘバ停電デアル、殊ド落チナイ飛行機ハナイ、私共見ルト飛行機ハ落チルノガ原則デハナイカト考ヘル、日本ノ現狀ニ於キマシテ是ハ技術者ノ方ニ未熟ノ所モゴザイマセウガ、又飛行機ノ不完全モアラウト思ヒマス、要スルニ技術ノ方面並ニ人ノ方面ニ於キマシテモ誠ニ私共ハ遺憾ノ點ガ多イト考ヘテ居リマス、此點ハ陸軍並ニ海軍當局者ニ於カレマシテハ如何ナル言辭ヲ以テ御答ニナルカ知レマセヌガ、海軍ハ暫ク措イテ、殊ニ陸軍ニ付ラノ缺陷ガ多イヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレニ鑑ミラレマシテ斯様ナ所ノ相當ナル増額ヲ致サレマシタノハ誠ニ結構デアリマスガ、之ニ付テ當局者ハ現今ノ狀勢ニ鑑ミラレ、將來是ダケノ費用ガアレバ最早機械ニ於テモ十分ナモノガ出來ル、又人ニ於テモ十分ナル鍛練訓練ガ出來ルト云フ御見込デゴザイマスカ、又飛行將校ノ採用ニ付キマ

シテハ現時ノ狀態ニ於キマシテハ陸軍ノ少壯ナル所ノ士官ヲ志願ニ依ッテ飛行將校ニ向ケテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク段々設備ガ大ナルニ從ッテ、果シテ現狀ノ如キ採用法デ宜シイノデアリマス、或ハ飛行將校ナルモノハ年齢ニ於テ制限ガアル、又其技術ニ於テモ特殊ノモノデアリマスカラ、之ヲ他ノ將校ニ比ベマストナカ／＼及バザル所ノ困難苦痛ガアリマス、而カモ飛行將校タルハ決シテ是ハ大將中將ニマデ行カレルモノデハナイ、殆ド佐官ニ於テ罷メラレル人デアラウト思ヒマス、年齢ニ於テ制限ガアリ、昇進ニ於テ極メラレテ居ル所ノ此飛行將校ハ矢張り今マデノ所ノ採用法ニ依ラレルノデアリマスカ、或ハ此將校ニ限ッテ特別任用法デモ設ケラレマシテ將來特別任用ノ途ヲ以テ此將校ニ當テラレ、或ハ准將校ノ如キモノトサレルノデアリマスカ、此邊ノ御見込ハ如何デアリマスカ、私ハ斯ノ如キ所ノ相當ノ經費ヲ出サレル以上ハ、飛行將校ノ採用ニ付テハ相當ノ御考ガアラウト存ジマス、之ニ付テ私ハ當局者ノ相當ナル所ノ御意見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、次ニ矢張り陸軍デアリマスガ、今年度ノ豫算ニ於キマシテ特種兵器製造及試驗費ト云フモノガアリマス、是ハ今年度初メテ出マシテ、五箇年繼續デ百五十萬圓ノ中デ、七年度ニ於キマシテハ二十九萬餘圓ヲ請求サレテ居リマス、此特種兵器ト云フモノハ如何ナルモノデアリマスカ、嘗テ前々議會ニ於キマシテ歐洲戰爭ガ始マツテ二年後ト記憶シテ居リマス、議員ノ質問ニ對シテ當局者ハ別ニ歐洲ノ戰爭ニ鑑ミテ左程學ブベキモノハナイ、大概分ッテ居ルヤウデアル、左程是ハ我が陸軍ノ將來ニ對シテ左程ノ教訓ヲ與ヘルモノデモナイカノヤウナ御返事ヲ伺ッタト記憶シテ居リマス、併ナガラズノ如キ所ノ特種ノ兵器ノ製造及試驗費ト云フモノガ出マスル所ヲ以テ見マスト、是ハ必ズヤ歐洲戰爭ノ實績ニ鑑ミラレテ特別ナ所ノモノヲ造ラウト云フコトデハナイカト考ヘラレマス、或ハ種々ゴザイマセウガ、或ハ英吉利デ使ハレテ居ル「タンク」ノ如キモノモアラウト考ヘマス、又其他ニ私共素人ノ知ラヌ所ノモノモアラウト考ヘテ居リマスガ、此費用ハ歐洲ニ行ハレマス所ノ現今使ッテ居ル所ノ兵器ノ模倣デアアルノデアルカ、同ジヤウナモノヲ造ル積リデアリマスカ、或ハ歐洲現狀ノ戰爭ノ實績ニ鑑ミテ、ソレニ對シテ優ルベキモノ或ハ一種特別ノ何カ當局ニ於テ兵器ヲ考ヘラレタノデアルカ、私ハ具體的ニ其兵器ヲ伺フノデアリマセス、詰リ歐羅巴ノ戰爭ニ於テ用ヒラレテ居ル所ノ兵器ノ模倣ヲスルノカ、模倣ニ非ズシテ特種ノ自發的發明ガアルノデアルカ、又何カサウ云フモノガ

アルノデアラウカ否ヤト云フコトヲ伺フノデアリマス、第三ニハ國勢調査事業ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、是ハ私ハ個人トシテ二三政府委員ニ既ニ伺ッタコトハアリマスガ、個人ノ應答ハ私ハ信ズル譯ニハ參リマセス、又十分ニ御答ヲ受ケテ居リマセス、依ッテ疑ヲ此デ霧ヲサウト思フノデアリマス、多年ノ懸案タル國勢調査事業ハ此政府ニ於テモ御發見ニナリマシテ、總額ニ於テ……或所ニ於テハ五箇年、或所ニ於テハ八箇年ノ繼續費デアリマス、要スルニ約五百餘萬圓ノ經費ヲ認メラレルコトニナッタノデアリマス、日本ノ本州ニ於テハ御承知ノ如クニ七年度ヨリ八箇年ノ繼續費デアリマシテ、二百十五萬圓、之ニ地方費ガ百五十五萬圓餘加ハルノデアリマス、ソレカラ朝鮮ニ於キマシテハ五箇年繼續デ一百二萬餘圓、臺灣ニ於キマシテハ六箇年三十一萬餘圓、樺太ニ於キマシテハ五箇年ノ繼續デ八萬六千餘圓、繼續費ノ年度コソ違ヒハアリマスルガ、要スルニ約五百餘萬圓ヲ計上サレタノデアリマス、私ハ茲ニ於テ疑ノアルノハ本土ニ於テハ八箇年ノ繼續、朝鮮ハ五箇年ノ繼續、臺灣ハ六箇年ノ繼續、樺太ハ五箇年ノ繼續、是ハ土地ノ廣狹、人口ノ多少ニ依ッテ多少年度ニ違ヒハアルト思ヒマスガ、先ヅ本州ノ八箇年、是ハ經驗ノナキ極メテムヅカシイ事業デアリマスカラ、念ニ念ヲ入レテ八箇年トシタノデアラウト思ヒマス、之ニ付テハ多少長イデハナイカト云フ御批難モアリマセウガ、私共ノ目カラ見テハ是ハ左様ニ思ヒマセス、是ハ然リト思ッテ居リマス、然ルニ臺灣ハ六箇年繼續デアリマス、是ハ甚ダ私ハ分ラヌ、臺灣ハ御承知ノ如ク戸口調査ノ名前ニ於テ三十八年ニ一回ノ島勢調査ヲ施行イタシ、大正四年ニ同ジク三箇年ノ繼續費ヲ以テ第二回ノ戸口調査ヲシテ居リマス、即チ二回ノ戸口調査ヲ過去ニ於テシテ、而カモ其繼續費ハ三箇年デアッタニ拘ラズ、今度ノ臺灣ノ國勢調査ハ何故ニ倍ノ六箇年ノ繼續費デアルカ、或ハ前ノ二回ノ調査ニ於キマシテ三箇年ノ繼續費ト云フ名目デアアルガ、其實ハ他ノ方法ニ依リ他ノ名目ノ費用ニ依ッテ六箇年ニ今マデナッタ、其經驗ニ鑑ミラレテ今度眞相ヲ此ニ吐露セラレテ六箇年トセラレタノデアリマスカ、如何ニモ前二回ノ經驗ノアル臺灣ニ三箇年トセズシテ今年ニ限ッテ六箇年ニスルノハ甚ダ私ニハ分ラナイノデアリマス、樺太ノ六箇年、是ハ小サイ所ニ似合ハヌ甚ダ長イ年限デアリマスガ、是ハ土地ノ關係等モアツテ致方ナイト考ヘテ居リマス、朝鮮ノ五箇年ガ又分ラヌノデアリマス、朝鮮ハ人口ガ千五百萬アラウカト考ヘテ居リマスガ、交通機關ノ如キモ又本邦ノ如ク十分ナ所デナイト考ヘテ居リ

マス、而カモ朝鮮ニハ餘リ斯様ナコトニ經驗ノアル方ガ無イノミナラズ、一般ニ内地ヨリ一層新規ノ眼ヲ以テ見ラレテ居ルダラウト考ヘテ居リマス、ソレガ五箇年デ完成スル、是ガ私共最モ分ラヌノデアリマス、二度ノ經驗アル臺灣デサヘモ六箇年ト云フノニ朝鮮ガ五箇年、臺灣ガ六箇年、甚ダワカシイノデアリマスガ、朝鮮ノ五箇年モ新規ノ初メテノ事業トシテハ短カ過ギルト云フコトハ私ハ分ラヌノデアリマス、此説明ガ今日如何ニモ未ダ私ニハ分ラヌノデアリマス、ソレカラ本州ノ八箇年繼續費ノ費用ガ二百五十餘萬圓ガ計上シテアリマス、所ガ御承知ノ如ク是ハ地方費ガ大正九年ニ於テ百五十餘萬圓アルト考ヘマス、是ハ衆議院ノ豫算委員會ニ於キマシテハ斯様ニナッタデアリマス、然ルニ其時ノ政府委員ハ斯様ニ言ハレテ居リマス、甚ダ曖昧デアリマス、是ハ豫算委員三分科ノ速記録デアリマスガ、市來大藏次官ハ政府ハ出來ルダケノコトヲスル、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマス、是ハ初メテデアリマス、二度目ニモ出來ルダケノコトヲ政府ハ努メマスト政府ハ言ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ申サレタノデアリマス、豫算委員會ノ方ハ明カニ大正九年ニ百五十餘萬圓ノ地方費ヲ出スト云フコトヲ言明スレバ之ヲ可決スルガ、然ラザレバ否決スル、然ルニ政府委員ハハッキリト百五十餘萬圓ノ費用ハ大正九年ニ於テ出スト云フコトヲ言ハレズニ、婉曲ナル言葉ヲ以テ言ハレタノデアリマスガ、此婉曲ナル言葉ハ大藏大臣ニ於キマシテ衆議院ノ希望ノ如クニ大正九年ニ於テ百五十餘萬圓ヲ國庫ノ支辨トスルト云フコトヲ茲ニ斷言ハ出來ナイカ、御斷言ガ出來レバ甚ダ結構デアリマスガ、ソレヲ御伺ヒシタイノデアリマス、若シモ是ガ衆議院ノ希望通りニ果シテ地方費ト云フモノヲ全部國庫デ負擔スルト云フコトニナリマスレバ、然ラバ明治三十五年法律第四十九號ハ如何サレルノデアリマスカ、此法律ニ依リマス、地方費ト國庫ノ分擔トスト云フコトガ規定サレテアル、若シモ此地方費全部ヲ國庫デ負擔シマス、法律ヲ更ヘナケレバナラスト考ヘテ居リマス、是ハ如何ニナリマスカ、伺ヒタイノデアリマス、ソレカラシテ此衆議院ノ希望ノ如クニ百五十餘萬圓ガ國庫ノ支辨トナリマス、其繼續費ニ於キマシテ、大正九年ノ繼續費ガ殖エルノデアリマス、

ヤ、是ハ大正九年ノミノ地方ノ負擔デアリマシテ、其他ニ地方ノ負擔ハ掛ラヌノデアリマス、併ナガラソレハ大正九年ニ至ルマデ、即チ大正八年度アタリニ追加豫算ヲ御出シニナルノデアリマス、或ハ此議會ニ於テ追加豫算ヲ出サレルヤ否ヤ、之ヲ明カニ伺ヒタイノデアリマス、終リニ臨ンデ伺ヒタイノハ關東州竝ニ青島ニ於ケル所ノ調査ハ如何デアリマス、是ハ青島ノ如キハ既ニ獨逸ガ占領シテ居リマス、時分ニ二回ヤッテ、戸口調査ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ千九百十三年ノ如キハ最モ新シイ所ノ「センサス」ノ方法ニ依ッテ青島デ施行シテ居リマス、併シ此關東州、青島此二箇所ニ於テ或ハ國勢調査ノ名前ヲ附セズト、或ハ戸口調査、或ハ其他ノ人口調査ト云フヤウナ名前ニ依ッテ、矢張り日本ノ國勢調査ト同ジャウナ時期ニ類似ノコトヲサレルヤ否ヤ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、私ハ此答辯ヲ決シテ當局大臣ニ求メマセヌ、大臣ノ簡單ナル、具體的ナラザル御答デハ満足シナイノデアリマス、私ハ次官デモ書記官デモ、私ヲ満足セシムル所ノ御答辯ヲ希望スルノデアリマス

〔國務大臣大島健一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大島健一君) 柳澤伯爵ノ御質問ハ飛行機ノ將來ノ進歩ヲ如何ニスルカ、特種兵器ノ製造竝ニ試驗ノ費用ヲ要求シテ居ル、之ニ對シテハ曾テ開戰當時スルコトノ必要ハアリハセヌカト云フコトヲ言ウタ時分ニソレハ無イト言ウタ、又今日此費用ヲ以テ研究シ、製造スルモノハ歐洲大戰ニ用ヒタ所ノ模倣デアアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ聞エマス、飛行機ノ進歩ト云フコトニ付キマシテハ、自分モ責任者トシテ深ク遺憾ヲ感ジテ居リマス、併シ四十二年以來之ニ關係シテ居リマス者ハ軍人中ニアッテハ、相當此途ニ堪能ナル人、其他博士、學士ト帝國ニ於テハ斯道ニ屈指ノ人ヲ從事セシメテ居リマスノデアリマス、又是等ノ人ガ自分ノ見テ居リマス所デハ非常ニ精勵ヲ致シマシテ、今日ノ程度ニ進メマシタ次第デゴザイマス、昨年ノ演習其他モ伯爵ノ御考デハ含ンデ居ルカモ知レマセヌガ、成績等ニ付テ甚ダ不十分デアルト云フ御言葉ハ一應拜聽シテ置カスケレバナラヌダラウト思ヒマス、併ジソレニハ申上ゲレバ相當ナ理窟モアリマス、ソレハ除キマシテ、免ニ角此四十二年以來ノ研究ニ依リマシテ今日ノ程度ニナリマシタノデゴザイマス、此軍用ノ飛行機ハ單リ飛行ヲスルト云フ、即チ操縱バカリデナシニ、製造スル、日本デ日本ノ式ノ飛行機ヲ自ラ製造シ、之ヲ操縱スルト云フコトニ

ナラヌケレバナリマセヌノデアリマス、其二ツニ向ッテ段々研究ヲ致シマシタ結果、此局ニ當ッテ居ル者ノ考デハ、先ヅ凡ソ日本ニ適當ナモノヲ日本デ製造シ得ルマデノ經驗ヲ積ミマシタノデアリマス、操縦者モ相當ニ各種ノ操縦法ヲ帝國内ニ於テ研究シ、乃至ハ外國ニ差遣シマシテ研究ヲシマシタモノモ數多出來マシテ、凡ソ今後ハ自ら造リ自ら使用スルコトガ出來ルト云フ程度ニ進ミマシタ、依ッテ今回之ニ關スル費用ヲ請求イタシマシタ、先ホド伯爵ノ御舉ゲニナッタ外ニ飛行機ノ製造ニ於テ最モ困難トシマスルモノ、又其重ナルモノハ發動機ノ製造デアリマス、發動機ノ製造ヲ主トシテヤル工廠ヲ四年間ニ於テ……四年ノ繼續費ヲ以テ完成スル爲ニ三百萬圓ノ繼續費ヲ請求シテ居リマス、是等ヲ以テ製造シ、尙ホ此操縦ノ研究ヲ進メテ行カウト云フ考デゴザイマス、今回請求シマシタノデ凡ソ平時ノ編制モ殆ド其全部ヲ爲シ、又之ヲ動員シテ戰爭ノ必要ヲ充タス、即チ製造ニ於テモ、操縦ノ人ヲ得ルニ於テモ、今後擴張完成ノ後ニハ平戰兩時ノ所要數ヲ充タシ得ル者ヲ有ッテ居リマス、ソレカラ此飛行機將校ノ採用養成ニ付テ、又其將來ニ付テ、御心配ノ點ヲ御質問ニナリマシタ、飛行機將校ノ採用ハ今日マデ中少尉階級ノ者デ志願者ヲ探ッテ居リマス、其外下士官ノ此技能ニ適スル者ヲ探ッテ教育ヲシテ居リマス、又徵兵令ニハ十七歳以後ニシテ志願兵タルコトヲ得ル制度ガアリマスノデ、飛行機ニ乗ルコトノ希望ヲ有ッテ居ル者ハ此志願兵カラモ採リ得ルヤウニ、ソレノ聯隊區アタリ徵兵ノ任務ニ當ル者ニハ注意ガシテゴザイマス、又此飛行機操縦ノ教育ヲ受ケマシタ者、觀測モ同じデゴザイマス、是ハ皆隊ニ居リマス者ノ志願者ヲ探ッテ、一年間教育ヲシテ隊ノ下ニ置イテ時ニ及ンデ復習ヲサシテ戰時ノ用ニ供スル、其年齡ハ凡ソ三十マデ位ト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其以後ハ矢張り隊ニ在ッテ本職ニ於テ順次昇進ヲシテ行クノデゴザイマス、養成法ハ唯今申上ゲマシタ如ク志願者ヲシテ一年間航空隊ニ在ッテ操縦ヲ學ンデ歸ルコトニナッテ居リマス、今後ハ航空隊ガ四ツニナッテ……全國四箇所ニアッテ、是等ガ各、其志願者ヲ……將校下士其他志願兵等ノ教育ヲスルコトニナッテ居ルノデアリマス、將來ト申スコトハ唯今申上ゲタ如ク各、其本科ニ……本務ニ從ッテ居リ、長ク又ソレヲ續ケテ來ルノデアアル、ソレカラ特種兵器ノ研究竝ニ製造ニ百五十萬圓ノ請求ヲ今回初メテ致シマシタ、是ハ主トシテ大口徑砲デアリマス、攻城竝ニ海岸砲等、但シ歐洲ノ戰場ニ於キマシテハ此攻城砲竝ニ海岸砲ニ使用スベキ非常ナル大イナ

口徑ノモノヲ若干野戰ニ應用ヲシテ居リマス、例ヘバ獨逸ノ四十珊トカ佛蘭西デハ五十珊ト云フヤウナ榴彈砲ガ出來テ居リマス、但シ佛蘭西ノハ戰場ニ出タト云フコトハゴザイマセヌガ、是等ハ極ク僅カナモノデゴザイマスガ、サウ云フコトニ應用ノ出來ル砲デアリマス、從來陸軍ニハ日露戰爭以後ニ於キマシテ、兵器ノ研究製造ニ關スル費用ハ相當ニ豫算ガアリマシテ、其時代ノモノガ順次繰延ベラレテ猶ホ今日モ殘ッテ居リマス、ソレ等ノ費用ヲ以テ常ニ研究ヲ重ネテ居リマス、又製造ノ費用モアリマシテ、製造モ致シテ居リマス、故ニ先ホド伯爵ノ先キニ斯ル研究ヲ要スルコトハナイカト云フコトヲ云ウタ時分ニ、兵器ニ於テハ左ホド新ラシイモノヲ見ダサヌト言ウタト云フコトノ御話デアリマシタガ、ソレハ私ハ記憶イタシテ居リマセヌガ、元來此主要ナル兵器、野砲トカ野戰重砲トカ云フヤウナモノ、乃至ハ小銃、此重ナルモノニ於テハ日本ノ制式ガ定メラレテ居リ、之ヲ順次改良ヲシテ居リマシテ、此重ナル多數ナモノニハ歐羅巴ノ兵器ニ讓ラヌナラヌト云フ點ハ殆ド見ダサヌノデアリマス、多分ソレ等ノコトヲ申シタノデアラウト思ヒマス、デ今回ノ戰爭ニ於キマシテ最モ新規ト感ズルモノハ四十珊乃至ハ五十珊ト云フヤウナ大口徑ノ榴彈砲等ヲ用ヒマシタコトガ最モ著シイモノデゴザイマス、併シ其數ハ極メテ少ク、又ソレヲ使用シタ場合モ極メテ少イノデアリマス、威力ハアルニハ相違ナイケレドモ、之ヲ使用スルト云フコトニハ特殊ノ設備ヲ要シマス、併シ我が攻城砲ヲ用フル攻城上乃至ハ海岸等ニソレ等ノ新ラシク現ハレタモノヲ研究スル爲ニ今迄モ續ケテ居リマシタガ、非常ニ大キナモノデアリマス爲ニ、一門ヲ試驗用ニ造ルニモ非常ニ金ヲ要シマス、今マデ持ッテ居リマスル金デハ研究製造ニ不足ヲシマスニ依リマシテ今回百五十萬圓ヲ請求イタシマシタノデゴザイマス、此金デハ歐羅巴ノモノヲ模倣スルノデアアルカト云フ、似寄ッタ鐵砲デハアリマスカレドモ、日本ハ日本ノ今日マデ參リマシタ式ガアリマスルノデ、教育上ニモ使用ノ上ニモ日本ノ凡ソ式ノモノデ相當ノモノヲ研究ヲ致シテ居リマス、日本獨得ノモノデゴザイマス、此間伊良子崎デ試驗射撃ヲ實施イタシマシタ時ニモ貴族院カラモ若干御出ラ乞ウテ御覽ヲ願ッタノデアリマスガ、アレ等モ新ラシウ研究ヲシマシテ、此費用デハアリマセヌ、前ノ費用デ出來上ガリマシタノデ、最終ノ試驗射撃ヲ執行イタシマシタ、即チアレ等ハ全ク日本ノ式デゴザイマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 柳澤伯ノ御質問ノ飛行機ニ對シマシテノ御答ハ大體陸軍大臣ノ述ベラレタコトニ依リマシテ海軍ニ關シマシタコトモ略、盡キテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、唯今回提案イタシマシタ飛行機ノ數ヲ以テ満足スルカドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、當局ハ今回ノ提案ヲ以テマダ満足ハ致シテ居ラナイノデゴザイマス、併ナガラ近キ將來ニ於キマシテ更ニ計畫ヲ立テマシテ提案スル考ヲ有ッテ居リマス、唯此若干年間ハ今回ノ提案ヲ以テ暫ク満足イタシテ居ラウト考ヘテ居ルノデアリマス、又將校ノ養成ニ付キマシテ御質問デゴザイマス、是亦大體陸軍大臣ノ述ベラレマシタノト略、同様ナ方法ヲ以テ海軍モ實施イタシテ居リマス、茲ニ特殊ノ養成法ヲ講ジテ飛行機乗トデモ申スガ如キモノヲ造ル考ヘハナイカト云フヤウナ御質問デアッタカノヤウニ拜聽イタシマシタガ、唯今ハ斯ノ如キ考ヘハ有ッテ居リマセス、此問題ニ付キマシテハ三種ノ意見ガゴザイマス、研究ハ致シテ居リマス、併シ唯今責任ヲ以テ御答ヘ致シマスルノハ矢張り現ニ居リマス所ノ少壯將校ノ中カラ選抜イタシマシテ、又下士ノ中カラモ選抜イタシマシテ特殊ノ教育ヲ施シマシテ、是等ヲシテ操縦セシムルト云フ方針デ實施イタシテ居ルノデアリマス、ソレダケ御答ヲ致シマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 柳澤伯ノ國勢調査ニ關係イタシマスル御質問ニ對シテ其一部分ヲ御答ヲ致シタイト思フノデアリマス、國勢調査ニ關係ノ經費ハ伯爵ノ仰セラシ、如クニ、衆議院ニ於キマシテ此調査ハ今日ノ場合ニ於テ是ガ計畫ヲ立ツルト云フコトハ適切ナル事柄デアル、併ナガラ之ヲ實行スルガ爲ニ地方ノ負擔ヲ増スト云フコトハ是亦一面忍ビザルノ事柄デアルカラ、成ルベク負擔ヲ増サナイヤウニト云フ衆議院ニ於テノ論ガアッタノデアリマス、ソレデ政府ト致シマシテハ、衆議院ノ主張スル所モ一理アルモノト認メマスルニ依ッテ、是等ニ付キマシテハ成ルベク地方ニ負擔ヲカケナイ方法ヲ以テ考慮スルト云フ事柄ヲ政府委員ヨリ言明ヲシテ居ル次第デゴザイマス、若シ斯様ニ致シマスルトスレバ伯爵ノ仰セラシ、所ノ法律關係ノ問題デアリマスルガ、之ヲ直チニ國庫ヨリ出スト云フ事柄ニナリマスルト云フト、御話ノ如クニ法律ニ牴觸スルヤウナ事柄ニナリマス、併ナガラ地方ニ出サシテ置イテ其代償ヲ國カラ出スト云フヤウナ遣方ヲ致シマスレバデス、法律ノ改正ヲシナクテモ行クヤウナ事柄ニモナリマスノデ、此法律ヲ改正スルヤ

否ヤト云フ事柄ニ付テハ尙ホ大ニ研究ノ餘地ガアラウト政府ハ考ヘテ居リマス、次ニ然レバ本年ノ今期ノ議會ニ於テ或ハ追加豫算等トシテ左様ナモノヲ出スカドウカト云フ御話モゴザイマシタガ、ソレニ付テハデス、御承知ノ通り是等ノ經費ヲ要スル事柄ハ大正九年度位カラ要スルコトニナリマスノデ、今回ノ議會ニ之ヲ提出ヲ致スコトハ甚ダ困難ダラウト思フノデアリマス、法律關係其他ノ前後ヲ能ク考慮シマシテ、大體御質問ノ趣旨ニ依リマシテ將來ニ於テ之ヲ提出イタシタイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデアリマス、其他國勢調査ノ實行方法ニ付キマシテ内地ト各殖民地間ノ間ニ於キマシテ年限ノ相違其他ガアル、之ニ付テ御質問ニナリマシタガ、是等ハ伯爵ノ御希望ノ如クニ寧ロ政府委員ヨリシテ詳シク申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、私ハ右申述べタダケテ御答ヘ致シテ壇ヲ降りマス

〔政府委員白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白仁武君) 柳澤伯ノ各殖民地間ニ於ケル國勢調査ノ年限ノ相違ニ付テノ御尋ネニ御答ヲ致シマス、此事ノ起リマシタ時分ニ各殖民地間ノ當局者ハ集會ヲ致シマシテ打合セテ致シタノデアリマス、而シテ各、其所管スル所ノ管内ノ事情及是迄ノ經驗或ハ用意等ノコトヲ參酌イタシマシテ、各、此内地ニ於ケル所ノ調査、八箇年ノ期間ノ範圍内ニ於テ其調査ノ力量、各、ノ力量ヲ參酌ヲシテ期限及其經費ヲ取極メマシタ次第デアリマス、臺灣ニ於キマシテハ唯今ノ伯爵ノ御言葉ノ通りニ、成ルホド戸口ノ調査ヲ二度ニ互リマシテ從來ヤッテ居リマスル經驗ガアリマス、ソレ故ニ多少今度ノ調査ニ付キマシテモ、其經驗ヲ利用スルノ點ハアリマセウガ、御承知ノ通りニ調査ノ事項ガ稍、廣汎ニ互リマスル故ニ、是迄ハ四箇年デ調査ヲサレテ居リマスル經歷ヲ持ッテ居リマスルガ、今度ノ調査ニ當リマシテハ、初年ニ於テ準備ノコトニ從事シ、又最終年度ノ第六箇年目ニ於キマシテハ整理ノ時間ニ充テルト云フ目的ヲ以テ六箇年ト致シタ次第デアリマス、然ルニ朝鮮ノ方ニ於キマシテハ五箇年ニナッテ居ル、是ガ抑、伯爵ノ御疑問ノ起ッテ來タ元デアリヤウニ伺ヒマスルガ、朝鮮ニ於キマシテモ是マデ民勢ノ調査ト云フコトデ、段々用意モアリマスルシ、又其一部ニ互リマシテハ調査ヲヤッタコトモアリマス、ソレ故ニ全ク臺灣ト事情ガ違フ、全ク新規ナコトト云フコト程ソレ程新規ナコトヲヤル譯デモアリマセヌカラ、多少ソコニ用意ガ是マデノ利用スベキモノガアルト申上ゲテモ宜カラウト存ジマス、而シテ人口モ多シ又調査區

域モ廣イノデアルカラ、臺灣ヨリモ短イ時間デ出來ル理窟ハナイト云フ御疑
デアラウト存ジマスルガ、唯今申上ゲマスル所ノ、是マデノ用意及經費ヲ、ソ
レダケ太ク短ク致シマシテ勉強イタシマシタナラバ、五箇年デヤリ上ゲルト
云フコトモ強チ無理ナコトデハナカラウカト存ジマス、併シ伯爵ノ御心配ニ
ナリマスル通りニ、今度ノ調査ハ全國ニ互ッテノ調査デアリマシテ、各、東西南
北悉ク其調査ノ項目方法其他ノコトガ十分ニ調和ガ取レテ同一ノ成績ヲ得ナ
ケレバナラヌト云フ大事ナ事柄デアリマスルカラ、若シ萬一伯爵ノ御心配ノ
通りニ年限ガ足ラナイ、或ハ經費ガ足ラナイト云フヤウナコトガアッテハ甚ダ
濟ミマセヌノデアリマス、ソレデ此點ハ十分ニ各殖民地ニ於キマシテモ注意
ヲ致シマシテ、若シ足ラザル所ガアリ、又其期限ガ十分デナイト云フ場合ニ
ハ、過ッテハ改ムルニ憚ルコト勿レト云フ策ニ出ルヨリ外ハナイト存ジマス、
此事ニ付キマシテハ尙ホ計數等モ能ク御覽ニ入レマシテ、後日委細其當局ノ
當事者ヨリモ申上ゲルコトガアラウト存ジマス、樺太ニ於キマシテハ御存知
ノ通りニ、人口モ他ノ二箇所ニ比ベマスレバ少シ、又其區域ニ於キマシテモ廣
漠、無人ノ境ガ多イコトデアリマスカラ、是ハ唯今ノ豫定ノ期限ニ於テ十分
ニ成功ヲ遂ゲルコトデアラウト存ジマス

○伯爵柳澤保惠君 尙ホ一言白仁長官ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、御苦シイ
御答辯ヲ承ハリマシタガ、朝鮮デハ最初斯様ナコトハナカッタケレドモ聊カ
準備メイタコトモアルシ、又似寄ッテ調査モシテ居ッタカノ如キ御答ヘデアリ
マシタガ、私ノ承知シテ居ル所デハ、朝鮮デハ警察官ニ命ゼラレテ、名ハ人
口調査ト申シマシタカ、戸口調査ト申シマシタカ存ジマセヌガ、兎ニ角左様
ナ調査ハサレタノデアリマス、併ナガラ此國勢調査ノ方法ハソレト全ク異ナ
リマシテ、御承知ノ如クニ左様ナ、是マデ朝鮮デヤッタ所ノ杜撰ナ方法デヤ
ルノデハナイノデアリマス、故ニ朝鮮ニ於テハ斯様ナ經驗ガアッタカノ如キ
御答辯ハ事實ニ當ラヌト存ジテ居リマス、故ニ私ハ此五箇年繼續ハ甚ダムヅ
カシクハナイカト云フコトヲ申スノデアリマス、臺灣ノハ今ノ御答辯ヲ見マ
スルト、三箇年計畫ノ豫算デ是マデ二回ノ實行ヲ見タガ、實際ハ四箇年ニ互
ラムトシテ居ル、然ラバ何故ニ今度之ヲ六箇年ニシマスカ、二回調ベラレテ
事實ハ四箇年ニ互ッタトシマスレバ、其二回ノ經驗ヲ利用セラレマシテ四箇
年間デ出來ハシナイカ、ソレガ六箇年ト云フノハ何故デアリマスカ、是ハ臺灣
ノ方ノ政府委員ニ伺ヒタイ、白仁長官デハ御答辯ハ如何ト思ヒマス、樺太ノ

方ニ付テハモウ伺ヒマセヌ、ソレカラ關東州、青島ニ付テノ質問ニ御答辯ガ
ゴザイマセヌ、之ヲ伺ヒタイノデス

〔政府委員白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白仁武君) 重ネテノ御質問ノ一部ニ答ヘマス、關東州及青島ハ
御承知ノ通りニ我が勢力ノ範圍、及範圍ニ入ラムトスル所ノモノデアリマ
スルガ、マダ今日ニ於キマシテハ外國ノ區域タルヲ免レヌノデアリマス、ソ
レ故ニ是ハ調査ノ範圍ニ屬シテ居リマセヌ、ソレカラ朝鮮ノ是マデノ取調ノ
經驗云々ト云フコトハ、私モ決シテ朝鮮ノ是マデノ調査ノ經驗ヲ十分ニ利用
イタスカラ五箇年デ宜シイト云フ程、力ヲ入レテ申上ゲタ譯デハゴザイマセ
ヌ、唯民勢ノ調査ニ稍、歩ヲ進メ、用意ヲ致シテ居リマスカラ、多少年數等
ニ於テハ省略スルコトヲ得ルト云フ考ヲ起シタルモノデゴザイマス、臺灣ノ
問題ニ付キマシテハ、今臺灣ノ政府委員ヨリ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマス

〔政府委員下村宏君演壇ニ登ル〕

○政府委員(下村宏君) 唯今柳澤伯爵ヨリ、臺灣ノ國勢調査ガ從來ノ經驗
ニ比シ尙ホ六年マデ延バシタノハ何故デアアルカト云フ御質問ト承知イタシマ
ス、御答ヲ致シマス、臺灣デハ明治三十八年、次イデ大正四年戸口調査ヲ致シ
マシテ、是ハ四箇年度ニ互ッテ居リマス、今回ノ第二回ノ戸口調査モ大正六年
度ヲ以テ終ルコトニナッテ居リマスルガ、年ヲ逐ッテ調査事項ガ殖エテ參リマ
シテ、現在ノ人數ダケデハ此年度ニ終了モ餘程困難ヲ感ジテ居リマス、此方
ハ御承知ノ經費ガ約二十二萬五千餘圓デアッタト記憶シテ居リマス、今回ノ國
勢調査ノ方ハ三十一萬餘圓デゴザイマシテ、御承知ノ在來ノ戸口調査デ調査
スル事項以外ニ新タニ調査スベキ事項モ多クナッテ居ルノデアリマス、臺灣總
督トシマシテハ無論他ノ殖民地ガ何年ダカラドウト云フコトヲ考慮スル邊ガ
ゴザイマセヌ、唯初メテノ國勢調査デアリマスカラ、從來經驗ハアリマスル
ガ、尙ホ十分念ヲ入レテ今度ハ遺算ナキヤウニト云フコトデ、戸口調査部ニ於
キマシテハ大體事業ノ順序トシマシテハ、七年度ニハ共通事項ノ内容等ニ關
シマシテ準備ヲ致シマシテ、打合セヲ致シマス、八年度ニハ中央ニ於テ是ガ
協議會ノ會合、又各地方廳ノ吏員ノ練習、九年度ガ準備及實査、或ハ所帶票
等ノ檢査、或ハ小票計ノ作製、ソレカラ十年度ニハ集計ヲシマシテ、十一年
度ニハ其結果ヲ編製シ、十二年度ニハ共通事項ノ結果進達等ヲスルト云フ大
體計畫ヲ立テテ居リマス、無論經費ノ都合モアリマスルシ、又人員ノ割振リ

方モアリマスカラシテ、是等ノ年度割ト云フモノハ無論絶對ノモノデハアリマセスガ、從來ノ仕事ノ分量ト年度割ニ比シマスレバ、今度ノ仕事ノ分量又計畫等ニ於キマシテハ、丁度之ニ先ヅ二年ヲ加ヘマシタナラバ、在來ノ經驗ニ徴シテ遺算ナクヤレヤウカト云フノデ、此計畫ヲ立テマシタ次第ゴザイマス、御答ヲ致シマス

○伯爵柳澤保惠君 本員ハ尙ホ進ンデ伺ヒタイト思フコトモゴザイマスルガ、餘リ細カクナリマスノデ、私ハ他ノ機會ニ譲リマシテ、今日ハ是デ止メマス

○議長(公爵徳川家達君) 木村誓太郎君

○木村誓太郎君 私ハ簡單ナ質問デゴザイマスルノデ自席デ致シマス、私ハ此豫算ヲ議スルニ當リマシテ我國ノ財政經濟ニ一大影響ヲ及ボス問題ヲ發見イタシマシタノデ外務大臣ノ御答辯ヲ得タイト思フノデゴザイマス、昨日ノ新聞ヲ見マスルニ華盛頓電報ト致シマテ、米國ガ生絲ノ輸出入ニ關シテ特別ノ許可ヲ得ナケレバ輸出入トモスルコトガ出來ナイト云フヤウナコトヲ唯今專ラ計畫シテ居ルヤウニ見エマスル、此事ニ付キマシテハ何カ外務省ヘ向ケテ通信モアリマシタコトデゴザイマセウカ否ヤト云フコト、又此我國ノ生絲ナルモノハナカノ彼ノ鐵ノ問題ノ如キモノトハ違ヒマシテ、一層財政經濟ニ非常ナル關係ヲ有ツモノデアリマス、農家ハ勿論、一般社會ニ於テ、若シ萬一米國ニ於テ生絲ノ輸入ヲ制限若クハ禁輸入ヲシタナラバ、一時ハ我國ハ實ニ火ノ消エタガ如キ有様ニナラウト私ハ心配スルノデアリマス、付キマシテハ政府ニ於キマシテハ若シモ是ガ既ニ發表ノ後デハ遲イノデアリマス、デ此事ノ發表前ニ於キマシテ外交ノ手腕ヲ以チマシテ米國ト能ク交渉ヲセラレマシテ、我國ノ生絲ノ除外セラレルヤウナコトノ運ビニナスコトノ覺悟ガアリヤ否ヤト云フコトヲ、併セテ私ハ外務大臣ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 唯今ノ木村君カラノ御質問ノ件ニ關シマシテハ外務省ノ方ニモ一應ノ電信モ參テ居リマス、併ナガラ是ハ大體ノコトニ關スルコトデアリマシテ、特ニ日本ノ生絲ニ對シテドウスウスルト云フコトハ未ダ參ッテ居ラスノデアリマス、御説ノ通り生絲ガ……生絲ノ輸入禁止ト云フヤウナコトニナリマシテハ、我ガ帝國ニ取ッテハ容易ナラスコトデアリマスカラ、政府ニ於テハ此問題ハ慎重ニ今日マデモ考慮ヲ致シテ居リマスル

シ、又今日モ考慮ヲ致シテ居リマシテ、是非相當ノ執ルベキ手段ガアレバ之ヲ執ラナケレバナラスコトト考ヘテ居ル次第ゴザイマス、此問題ニ付テハ今日ノ所デハ是レ以上ノコトヲ申上グル地位ニ居リマセス、ドウカ左様御了承ヲ願ヒタウゴザイマス、此問題ハ眞ニ日本ニ取ッテハ重大ナ問題デアリマス、政府デモ深く考慮イタシテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 服部一三君

〔服部一三君演壇ニ登ル〕

○服部一三君 私ハ海軍大臣並ニ農商務大臣ニ御質問イタシタウゴザイマス、先刻大藏大臣ノ御演説ノ中ニ國防ノコトハ等閑ニ付スベカラザルモノデアルガ故ニ、國家自衛ノ必要ヲ充タスコトノ此軍事計畫ヲシテアルト云フ御話デアリマシタガ、海軍ニ於テハ八四艦隊、ソレニ附屬スル所ノ補助艦艇、又飛行機等ノ御計畫ニナッテ居リマスルノガ、唯今ノ御計畫ニ依リマシテ、ソレガ完備シタ所デ大正十年若クハ十二年ニナッテモ、是デ日本ノ如キ地勢デ臺灣方面、津輕方面、若クハ對馬海峽、又ハ帝都附近ヲ守ルニ是デ十分デアルト云フ海軍大臣ノ御考デアルカ、我々ノ如キ此軍事上ニ付キマシテハ九デ門外漢デアル者デアルガ、誠ニ不安ノ念ヲ有テ居ルノデアアル、故ニ海軍大臣ハ是デ足ッテ居ルト云フ御考デアアルカ否ヤヲ聞キタイノデアリマス、若シ又今日ノ財政狀態又其他種々ナ事情ニ依ッテ不足デハアルケレドモ、先ヅ是ダケニシテ置クト云フ御考デアアルナラバ、軍事上ノコトハ他ノコトト違ッテ人ヲ對手ノコトデアッテ直グ勝敗ニ關係スルコトデアリマスカラ、何レ之ヲ十分ニ足レリト云フ所マデ御計畫ニナルコトノ必要ガアルモノデアラウト思ヒマスルデ、ソレハ何時サウ云フ御計畫ハナサッテ御提出ニナルカト云フ二點ニ付テ御答ヲ伺ヒタイ、農商務大臣ハ此物價ノ調節ト云フコトニ付キマシテハ非常ニ御心配ニナッテ居ルト承知シテ居リマス、現今總テノ物價ガ騰貴シテ、ソレガ爲ニ隨分一般ノ者ガ困苦ヲナシテ居ルト云フコトハ皆承知シテ居ル所デアリマスガ、私ガ問ハムト欲スル所ハ、我國ノ國產ノ中ニ於テモ最モ上位ヲ占メテ居リ、又我國ノ人民ノ生活上最モ必要デアアル、即チ米ノコトデアリマス、米ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイト思ウテ居リマス、先般農商務省ヨリ御發表ニナッタ所ノ表ニ依リマス云フト、昨年ノ米ノ產額ガ五千四百五十萬石少シ上デアッタカト記憶シテ居リマス、此統計ト云フモノハドレダケ信用ヲ置イテ宜イカ惡イカハ人々ノ考デアリマスガ、是ハ假ニ確カナモノト見テモ

日本ノ人口ニ比較シマスト云フト、ドウシテモ百五十萬石以上ハ確カニ不足ト云フコトガ分ツテ居ル、又此米ナドノコトニ付テ多年ノ經驗ノアル人ナドノ説デ言フト昨年ノ氣候ハ……收穫近クノ氣候ト云フモノハ米ニハ餘ホド惡影響ヲ及ボシテ居ルモノデアルカラ、是ハ全然析減リノスルモノデアルト云フコトヲ申シテ居ルノデアル、是モ或ハ信用スベキコトデアリハシナイカト思ハレル、又農商務大臣ガ何處カデ御話ニナッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、朝鮮ナドカラ日本ヘ這入ル米モアルカラト云フコトデアリマシタガ、如何ニモ朝鮮米ト云フモノハ常ニハ一年ニ百八十一萬石内外ハ内地ヘ這入リヨルノデアルガ、併シ今度ハサウ這入ルコトハ恐ラクムヅカシイノデアル、何故ナラバ朝鮮ノ内地デ消費スル所ノ額モ餘ホド増シテ參リ、又滿洲方面ニ向ッテ輸出スル額モ餘ホド増シテ來テ居ルカラ、是ハ連モサウ澤山内地ニ這入ルコトハ出來ヌモノデアル、又從來ハ麥ヲ食ウテ米ノ不足ヲ助ケテ居ッタ所ノ人モ非常ニ澤山アッタ、今日モ無論アリマスルガ、併シ近來小麥ノ高イ爲ニ大麥ヲ作ルコトヲ廢シテ小麥ヲ作ル所ニ向ッテ者モ餘ホド殖エタノデアリマス、所ガ其小麥ト云フモノハ日本デ消費スル目的デナイ、外國ヘ小麥粉ニシテ出ス目的デ多クハ作ッタモノデアルカラ、是ハ小麥ガ出來タダケハ日本ノ人ノ食料ハ減ッタト見ニヤナラス、ソレデ如何ニ考ヘテモ米ハ不足デアルト云フコトハ私ハ確實デアルノデ、米ノ騰貴ト云フコトモ他ノ物ノ騰貴カラシテ影響ヲ受ケテ、サウシテ幾分カハ高ウナッタト云フコトモアリマセウガ、不足デアルト云フコトガ大ナル原因デアリハシナイカ、現ニ昨年ノ十月頃マデハ外國米ガ日本ヘ多少這入ッテ居ッテモ、其モノハ日本カラ再ビ南亞米利加ノ方ナドヘ向ッテ輸出シタモノデアル、此頃ニナレバ内地デ消費スル方ニ持ッテ行ッテ向ケル影響ガアルノデアル、其高モ少イコトデハナイ、現ニ私ノ調べニ依レバ現在日本ヘ既ニ著イテ居ルモノ、又四月マデニ日本ヘ這入ッテ來ル所ノ外國米ハ六十萬石以上デアル、ソレハ皆内地消費ノ目的ヲ以テデアルノデゴザイマス、之ヲ以テ見テモ内地米ト云フモノハ不足デアルト云フコトハ證明サレルデアラウト私ハ思フ、ソレデ大臣ニ御尋ネシタイノハ、大臣ノ御考ヘデハ、第一内地米ハ不足デアルト云フ御考ヘデアルヤ否ヤ、若シ是ガ不足デアルト云フナラバ、此米價ノ調節ヲ計ル爲ニ如何ナル方法ヲ御執リニナル御積リデアルカ、大臣モ衆議院デモ御話ニナル通り、物價ノ調節ト云フコトハ需要供給ノ調節ヲ良クスル外仕樣ガナイコトデアラウト思ハレル、ソレニ

付テハドウ云フ方法ヲ御執リニナルカ、是ハ決シテ其規則ニ依ッテ取締ルトカ、何トカ云フコトデハ目的ヲ達シ得ナイモノデハナイカ、現ニ妙ナ現象ガアリマスルガ、是ハ農商務大臣モ能ク御調べニナッテ居ルコトデアルト思ヒマスガ、昨年九月一日ニ暴利取締ニ關スル省令ヲ御出シニナッテ、其九月ヨリシテ御承知ノ通り現米市場ト云フモノハ東京ト神戸ト二箇所アルノデアリマスルガ、神戸ナドノ現米市場ノ米ノ高ト云フモノハ段々減ッテ仕舞ッタ、サウシテ漸次減ッテ今日デモ現米市場ノ米ト云フモノハ東京デモ非常ニ少イ、米ノ値段ガ高クナッタナラバ、市場ヘ持ッテ來テ米ガ出サウナモノデアル、所ガ米ガ出ヌコトニナッテ居ル、是ハ何ニ依ッテデアルカト云フコトハ、是ハ餘程御考ヘニナルベキ性質ノモノデハナイカ、其當時九月、十月頃ニ、私ノ承ハッタ所デハ、即チ此取締令ヲ御勸セニナル以前ヨリズット前ニ承ハッタ所ニ依レバ、現米ヲ市場ヘ持ッテ行ッテモ何時暴利取締令ヲ勸カサレテ、ドノヤウナコトガ起ルモ知レスト云フノデ現米ヲ澤山持ッテ來ナイノデアル、ソレガ爲メ現米ガ少イカラ、現米ノ賣買ノ方ノ價ニモ響イテ來タ譯デアルト云フコトヲ言フ人サヘモアル、是ハ或ハ私共ノ耳ニ這入ッタノガ間違ヒカモ知レス、ソレデ要スルニ私ノ御尋ネシタイノハ、此米價ノ調節ト云フコトニ付テハ、ドウ云フ御考ヘデアルカ、米ト云フモノハ不足デアルト云フコトナレバ、無論或ル程度迄騰貴スルノガ當然デアラウ、他ノ物價ガ總テ騰貴スル時分ニハ、ソレニ付テ或ル程度迄高クナルト云フコトモ是モ當然ノ話デアリマセウガ、米ノ如キ最モ國民ノ生活ニ必要ナルモノニ付キマシテハ容易ク供給即チ運搬ノ便ヲ圖リ、又運賃ノ低下ヲシテ、或ハ又關稅ヲ下ゲルトカ、種々ナ方法ヲ以テ出來ルダケノ手段ヲ御盡シニナルコトデアラウト察シテ居マスガ、是等ノコトニ付テハ如何ニ爲サル御積リデアリマスカ、或ハ此儘デ御置キニナルノカ、外國ノ例ナドニ依リマスルト、此農産物、殊ニ生活ニ必要ナルモノノ爲ニハ鐵道ナドデモ運賃ヲ下ゲルトカ、或ハ臨時ニ便利ヲ與ヘルトカ云フヤウナコトハ屢、スルモノデアル、故ニ當局ニ於テハ之ニ付テ如何ノ御方針ヲ御執リニナルカ、ソレヲ承ハリタイト思フノデアリマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、御質問ノ要旨ハ今回ノ提案デ十分ト思フカドウカト云フノガーツト、又將來ノ計畫ニ對シテハ何時頃出ス見込デアアルカ、此二點ガ御質問ノ要點ト拜聽イタシマシタ、今

回ノ提案ヲ以チマシテ満足ハ致シテ居リマセス、付キマシテハ、此機會ニ今回ノ計畫ヲ立テマシタ所ノ主義方針ノ極ク梗概ヲ御話イタシマシタナラバ、多少ノ御考ニナラウカト存ズルノデゴザイマス、御承知ノ如ク昨年ノ特別議會ニ於テ大體ノ方針ヲ立テマシテ、提案イタシタモノノ御協賛ヲ經タノデゴザイマス、然ルニ歐洲ノ海戰ハ種々ナル經驗ヲ我々ニ與ヘマシテ、其經驗ニ鑑ミマシテ既定ノ計畫、即チ昨年御協賛ヲ經マシタモノノ其計畫ノ尙ホヨリ以上ノ力ヲ増加イタシタイト云フ考ヘテ有チマシタノデゴザイマス、此力ヲ増加イタシマスルニハ、既定ノ計畫ニ屬シマスル艦艇個々ノ力ヲ増加イタシマスルコト、艦艇ノ數ヲ増加イタシマスルコト此二ツノ計畫ヲ立テタ次第デゴザイマス、艦艇個々ノ力ヲ増加イタシマスルコトニ付テハ、其攻撃力、速力等ニ於テ既定ノ計畫ヲ多少變更イタシマシタ、ソレガ爲メ不足イタシマスル所ノ豫算ヲ今回要求シテゴザイマス、又艦艇ヲ増加イタシマスル方ノ側ハ主トシテ補助艦艇ヲ成ルベク速ニ完成スルコト云フ方針ヲ執リマシタノデゴザイマス、御承知ノ如ク歐洲海面ニ於キマスル所ノ驅逐艦、潛水艇ノ働キハ偉大ナルモノデ、今日迄我々が豫期セザル以上ノ效果ヲ生ジテ居ルノデゴザイマス、從ツテ是等ノ艦艇ヲ増加イタシマスルコトガ切實ニ必要デアルト云フ感ヲ持チマシタノデ、今回ノ計畫ニ於キマシテハ主トシテ此方面ニ力ヲ注イダノデゴザイマス、從ツテ既往ニ海軍當局ガ計畫ヲ立テテ居リマシタ所ノ補助艦艇ノ數ヨリ遙カニ今回提案イタシマシタモノハ多クナツテ居リマス、此補助艦艇ヲ増加イタシマスルコト、尙ホ之ニ加フルニ餘力ノアル限り主力ヲ増スト云フ意味ニ於キマシテ、大艦二隻ノ建造ノ豫算ヲ提出シテ居ル譯デアリマス、是等ノ計畫ヲ立テマスルノニハ、一面ニ於キマシテハ、財政ノコトモ考ヘマセナクテハナリマセス、又工業能力、編制、此三ツノ者ヲ加味按排イタシマシテ、今回計畫ヲ立ツタ次第デゴザイマス、併ナガラ此計畫ヲ以テ當局ハ十分トハ考ヘテ居リマセス、尙又次回ノ計畫ヲ提出イタシマス時期ニ付テノ御質問ニ對シマシテ、現ニ現存イタシテ居リマス所ノ艦艇ノ補充、竝ニ今日國防ノ方針トシテ決定イタシテ居リマス所ノ方針ヲ満足イタシマシタケノ計畫ヲ、大正十年頃ニ至リマシテ立テマシテ、皆様ノ御協賛ヲ經タイ、斯様ナ希望ヲ海軍當局トシテ持ツテ居ル次第デゴザイマス

〔國務大臣仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仲小路廉君) 服部君ノ米ニ對スル御質問ニ付キマシテ御答ヘ申

シマス、今日米價ノ問題ハ實ニ社會ノ一般ニ注目イタス問題デアリマス、之ニ付キマシテ此際政府ノ所見竝ニ取リツ、アル方針ニ付キマシテ此際服部君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致サウト考ヘマス、實ニ近時此經濟界ノ變態ニ依リマシテ、各種ノ品物何レモ騰貴ヲ致スノデアリマス、一面ニ於キマシテハ世ノ中誠ニ繁昌ヲ告ゲテ居リマス、ソレト同時ニ又中流以下及一定ノ俸給ヲ以テ衣食イタシテ居リマスル者ハ、此物價ノ騰貴ニ依リマシテ生活上甚ダ困難ヲ告ゲルコトガアリマス、殊ニ最モ食料トシテ大切ナ米穀ノコトデアリマス、誠ニ社會中流以下其他ノ者ハ、是ノ高價ニナリマスルコトニ付キマシテハ餘ホドノ困難ヲ感ズルノデアリマス、故ニ政府ニ於キマシテハ成ルベク此際ニ於テ一般ノ人々ノ困リマセヌヤウニ、出來得ル限り斯ル變態ノ際ニ於テ、成ルベク一般國民ニ安定ヲ與ヘタイト期シテ居リマス、之ニ付キマシテハ、物價ノ高低ハ全ク需用供給ニ關スルコトデアリマス、何ト致シマシテモ物資ニ不足ヲ告ゲテ居リマシテ、ソレニ依ツテ價格ノ昂騰トナルト云フコトニナリマシテハ、是ハ誠ニ容易ナラヌコトデアリマス、昨年ノ夏ノ頃マデハ米穀ノ作柄ハ誠ニ宜シカッタノデアリマス、私當局ト致シマシテ昨年ノ作柄ニ付キマシテハ甚ダ喜ンデ居ッタノデアリマス、然ルニ甚ダ不幸ニモ秋ノ頃、即チ十月ノ頃ヨリシテ氣候ノ不順ニ伴ヒマシテ、甚ダ面白クナイ狀況ヲ認メタノデアリマス、此結果ニ付キマシテハ甚ダ憂慮ヲ致シテ居ッタノデアリマス、然ルニ今年ノ一月ニナリマシテ實收ノ調査ヲ致シマシタ結果ハ、唯今服部君カラモ御話ニナリマシタ如ク、非常ナル傷ミガアリハシナイカト存ジタ割合ニ寧ロ米作ハ比較的好都合デアリマシタ、即チ五千四百萬石以上……加フルニ前二箇年間ハ豐作續キデアリマシテ、農商務ノ當局ノ調査ニ依リマスルト、我が現在ノ狀況ニ於キマシテハ、前三箇年ノ豐作續キニ搗テテ加ヘテ先ヅ昨年ノ米作モ平年作以上デアリマシタ故ニ、是等ノ狀況ヨリ推シ測リマスレバ、今日現在ニ於キマシテハ供給スベキ物資トシテ左程ノ不足ハナイト認メテ居リマス、唯世ノ繁昌ニ伴ヒマシテ米穀ヲ消費イタシマスル高ガ増シテ參ル、從ツテ之ヲ通常ノ場合ヲ以テ律スル譯ニハ參ラナイ、此故ニ政府ハ最モ苦心ヲ致シマシテ、出來得ル限りハ生産ノ力ヲ増シマスル、先刻御話ニナリマシタ如クニ、或ハ米穀ノ外ニ麥類ヲ用ヒマスルコト、各種ノ副食物ヲ用ヒマスルコト、一面ニ於テハ又成ルベク穀物ニ付テ節約ノ方法ヲ以テ此供給ヲ充タス途モ講ゼヌクレバナラス、尙ホ其上ニ或ハ朝鮮米ノコトデアリマス、或ハ臺灣米ノ

コトデアリマス、場合ニ依リマシタラバ一般ノ安心ヲ得マスル爲ニ、外國米ノ輸入ニ對シマシテ便宜ナ方法モ取リタイ、此理由ニ依リマシテ唯今ハ關稅ノ點ニ付テモ攷究ヲ致シテ居リマス、殊ニ運輸運送ノ便、或ハ船舶ニ依ル輸送ノコト、或ハ陸上ニ於ケル汽車便ノコト、是皆當局大臣タル遞信大臣トモ協議ヲ致シ、鐵道院總裁トモ常ニ謀リマシテ、各種ノ方法ヲ取リマシテ、出來得ル限リ此需用ニ對スルノ供給ヲ滑ニ致スコトニ苦心ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯此際唯今ノ服部君ノ御言葉ニ對シテ一言申述ベテ置キマス、政府ニ於キマシテハ各種物價ノ昂騰ハ、全ク需要供給ノ關係デ、併ナガラ唯サヘモ斯ル時期ニ於テ物價ハ昂騰ヲシタイ昂騰ヲシタイトシテ居ル其際ニ乗ジテ、此際ヲ利用シテ、茲ニ投機的、或ハ暴風雨ノコトニ依ッテ、甚ダ人々困難ヲ致ス場合、或ハ雪害風害等ニ依ッテ種々人々ノ困難ヲ致シマスル其時ニ、唯自己ノ謂レナキ利益ヲ貪ラムガ爲ニ、茲ニ一般ノ重要ノ關係ヲ有ッテ居リマス市價ヲ暴騰セシムルガ如キ事柄ハ是ハ取締ラネバナライノデアリマス、此取締ノコトニ付キマシテ、或ハ不便ヲ感ジ、不自由ヲ感ズル者ハ種々ニ申シマス、去リナガラ是ハ致シ方ガナイト存ジマス、一方ニ於テ出來得ルダケ一般國民ノ困ラナイヤウニ、需要供給ノ點ヲ滑ニ致スコトニ努力ヲ致スト共ニ、此時期ニ乗ジテ人々ノ困ルコトニナルベキ行爲ニ付テ、是ハ相當ノ方法ヲ以テ取締ヲ致シマスルコトハ已ムヲ得ヌ次第ト存ジマス、以上ニ依リマシテ、服部君ノ御質問ニ對シテ御答ハ完結イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマス
午後零時二十三分休憩

午後一時三十七分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、高木男爵

「男爵高木兼寛君演壇ニ登ル」

○男爵高木兼寛君 私ハ持前ト致シマシテ國民ノ衛生問題ニ付キテ御尋ネ致シタイノデアリマス、第一ニ總理大臣ニ御尋ヲ申上ゲタイコトハ、政府筋ニ於キマシテハ、年々國家ノ根本タル國民ノ健康狀態ニ關スル報告ヲ發表サレルノデアリマス、依ッテ其内容ハ大臣ニ於カセラレテハ能ク御了知ノコトト存ズル次第デアリマス、實現シテ居ル所ヲ申セバ、我が國民ノ體力ハ實ニ憫レムベキ悲シムベキ程度ニマデ低下イタシテ居ルト申上ゲテ、過言デナカラ

ウト存ジマス、如何トナレバ、英米獨佛ノ諸國ニ於キマシテハ、年々衛生狀態ハ向上イタシマシテ、人ノ死亡スル割合モ年々減少イタシテ參ルノデアリマス、然ルニ本邦ニ於キマシテハ死亡ノ率ガ減少セザルノミナラズ、却ッテ増加ノ傾向ガアルノデアリマス、就中幼少壯年ノ者ノ死亡率ガ増加イタシマシテ、殊ニ十五歳ヨリ二十歳ノ間ニ於ケル日本男女ノ死亡スル割合ハ世界第一ト聞イテハ驚カザルヲ得ヌノデアリマス、斯ノ如ク幼少壯年者ノ死亡率ガ増加イタス爲ニ、同胞中ヨリ勞役ニ堪ヘル者ノ數ハ漸次減少イタシテ參ル譯デアリマス、故ニ國力ノ負擔ニ堪フベキ者ノ數ハ比較的ニ減少イタシテ、扶助ヲ受クベキ國民ノ數ガ漸次増加スルノ傾向アルコトハ、即チ曩ニ申上ゲタル統計表ガ示シテ居ルノデアリマス、是ガ諸般ノコトニ及ンデ居ルノデアリマス、之ヲ簡單ニ申セバ、日本國民ノ能率ガ次第ニ低下シツ、アルト云フコトヲ意味スルノデアリマス、爲ニ本員ハ痛ク此問題ニ付テ心ヲ痛メテ居ル次第デアリマス、業ニ已ニ帝國ノ干城タル陸海ノ兵士ニ迄モ其影響ヲ及ボシテ居ルコトヲ本議場ニ於テ申述ベタコトガアルノデアリマス、即チ兵員タラムトスル壯丁ノ體格ガ年々不良ニナリツ、アルト云フコトハ、今ヤ我が同胞中知ラザル人ハ殆ド無イデアラウト思ヒマス、當局ノ調ニ依リマシテ、多少良イ傾ガルアルト云フ御話ハゴザイマスケレドモ、地方ニ參リ當事者ニ承ハッテ見レバ、大體ニ於キマシテ向上ノ傾向アル所ハ殆ドナイノデアリマス、獨リ壯丁ニ止マリマセヌ、其他ノ者モ是ニデアルト云フコトハ當テ申上ゲマシタ、故ニ本日ハ之ニ付テハ御尋ネヲ致シマセヌ、御尋ネスベキコトガナイトハ限リマセヌケレドモ、是ハ他ノ場合ニ譲リ置イテ、今日ハ御尋ネスルノ要ハナイト申シマスノデアリマス、故ニ海軍陸軍ノ兵士達ノ健康問題ニ付テハ何等ノコトモ申上ゲマセヌ、唯一般國民ノ健康ガ勝レズシテ、命期ハ寧ロ短縮シ、殊ニ幼年、少年、壯年ノ者ガ次第ニ虛弱ニ陥リ短命ニナリツ、アルト云フコトヲ痛ク心配イタスノデアリマス、之ニ對シ總理大臣ハ如何ナル御所感ガゴザイマスルカ、之ヲ伺フノデアリマス、萬一私ト御同感デゴザイマスレバ、ソレニ對スル御處置ノ方針ト云フモノハ、如何ニ御立テニナッテ居リマスルカ、伺ヒタイノデアリマス、第二ニ御尋ネ申シタイコトハ、教育ノ當局者タル文部大臣閣下ニ御尋ネ致スノデアリマス、現今ニ於ケル……現在ノ教育ノ内容ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、即チ體育、智育、德育ノ三ツニ對シ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、我が教育ハ年々重ネ月々重ネ漸次進歩ノ狀態ニナリ、頗ル賀ス

ベキ狀況ヲ呈シテ居ルコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、尙ホ之ニ一層ノ效果ヲ添フルヤウニ致シタイト云フ希望カラ此儀ヲ御尋ネ致スノデアリマス、體育ニアレ、智育ニアレ、德育ニアレ理論ヲ主トシ、即チ理論ニ馳セテ實行ヲ顧ミザルノ風ガアルガ如ク本員ハ認ムルノデアリマス、即チ知ルコトハ知ルガ、行フコトハ行ハズニ置クト云フヤウナ譯デアリマシテ、智識ト行爲トハ別物ニナツテ居リマス云フ感ガアルノデアリマス、當局大臣ニ於カレテハ、即チ知行合一ノ事實ガ現ハレテ居ルヤ否ヤ、之ニ對スル御所見ハ如何デアリマセウカ、モウ一ツ繰返シマシテ、德育、智育、體育共ニ理論ニ馳セ過ギテ、實行ヲ不問ニ置クト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、マアチヨト申サバ構ハナイト云フ風ガ今日ノ教育ヲ受ケタル人ニ現ハレテ居ルガ如ク認メ居ルノデアリマス、本員ノ認ムル所ガ誤リデアレバ、其様ニ御示シテ願ヒタイ、然ズシテ成程本員ノ申ス通りノ事實ガ現ハレテ居ルト云フ御意見デゴザイマスナラバ、將來之ニ對スル御處置ハ如何ト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、其他ノコトハ他日ニ伺ヒマス、次ニハ農商務大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、第一ニ日本全國ノ衣服材料トシテ用ヒルモノハ何人モ知ル通り主タルモノガ木綿、今日ニ至リマシテハ毛織物、麻、亞麻ト云フガ如キ類ノモノニナツテ居ルノデアリマス、之ニ付テ見ルニ第一木綿ナルモノハ一般ノ人ニ用ヒラレテ居リマスルガ、其人々ハ此木綿ナルモノガ何レニ生産スルモノデアルカト云フコトヲ辨ヘテ居ルデセウカ、多クハ木綿ノ如キハ本邦ニ生産スルモノデアツテ、極メテ容易ニ得ラレルモノカノ如ク考ヘテ居リハシナイカト云フ疑ヲ私ハ抱イテ居ルノデアリマス、如何トナレバ近年ニ至リ之ヲ衣服ノ材料トシテ用ヒル程度ハ甚シク向上シタリト申シテ宜カラウト思フ、是ガ輸入ノ高モ億ヲ以テ算ヘル程ニナツテ居リマス、我ハ之ヲ知ラズシテ成ルタケ多ク之ヲ用ヒテ今日ヲ經過スルト云フヤウナ姿ニナツテ居ル點ハ甚ダ遺憾デハナイカト思フノデアリマス、實際申セバ本邦ニ於テハ木綿ハナイ、昔日ハ相應ニ木綿ノ產地モゴザイマシタケレドモ、今日ハ内地ニ於テハ殆ド木綿ナルモノハ產出イタサスト申シテ宜シイ位デアアル、僅ニ或ル地方ニ於テハ、自家用棉花ノ耕作ヲ致シテ居ルニ過ギナイ位ノ有様デアアル、仍ッテ國民全體ガ日々使用スル所ノ木綿類ハ悉ク外國ヨリ輸入スルモノデアアル、故ニ之ガ供給ヲ絶タレタトキニハ日本國民ハ木綿著物ヲ著用スルコトハ出來ナイト云フ結果ヲ見ルノデアリマス、然ルニ多少近年ニ至リ朝鮮、臺灣等ニ出來ル

ガ如ク承ハツテ居リマスケレドモ、是等ノ產ヲ以テ如何トモスルコトガ出來ナイ程ノ多量ナル木綿ヲ我が同胞ハ使用シテ居ル譯デアリマス、仍ッテ他日之ガ供給ガナイトキニハ我ハ何ヲ著用スルカト云フ問題ガ起ルノデアリマスカラ、今日ヨリ之ヲ考慮シテ置クコトハ我が國家ニ取ッテ重大ナル問題デアラウト思フノデアリマス、仍ッテ當局ハ此問題ニ對シテ如何ナル御所見ガアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、第二ニハ獸毛ヲ用ヒテ居リマス、即チ毛織物デアリマス、先年來之ニ付テモ、政府ハ其產出ヲ促サムガ爲ニ方法ヲ講ゼラレタコトアルハ能ク承知ヲ致シテ居ル事柄デアリマス、然レドモ之ニ付テ伺ハザルヲ得ナイ、歐米ニ於ケル人心ノ傾向ハ寧ロ毛織物ヲ少ク用ヒテ綿織物ヲ之ニ代ヘルト云フ風ガ次第ニ進ミツ、アルト云フコトヲ、今日ハ承ハルノデアリマス、彼ハ毛織物ヲ棄テ綿織物ニ移ル時ニ、我ハ彼ノ棄テタル毛織物ヲ頻ニ重用スルト云フガ如キコトガ或ハ起ラストモ申サレナイノデアリマス、仍ッテ此毛織物用ニ付テ將來如何ナル御所見ガアルモノデアリマセウカ伺ツテ置キタイ、此二ツノ問題ハ衣服問題デゴザイマシテ、豫メ用意ヲ致シテ居ルト云フコトハ國家トシテハ爲シ置カネバナラヌ事柄デアラウト信ジテ居リマス、之ニ次ギ麻、亞麻等デゴザイマス、是以テ又ナクテハナラナイモノデ、麻ノ如キモ今日輸入ヲ仰イデ居ルガ如ク承知イタシテ居リマス、亞麻モ蓋シドウ云フコトニナツテ居リマス、能ク存ジマセヌカラ、萬一申上ゲテ誤リガアツテハ申譯ガアリマセヌ故ニ、此邊ニ於テハ當局ニ於テ御申聞ケテ願ヒタイノデゴザイマス、次ニゴザイマスルモノハ食物デゴザイマス、先キニ服部議員ヨリ米ノコトニ付テ御質問ガゴザイマシタガ、私ハ米バカリデナク、其他ノ食物全體ニ付テ御質問申上ゲタイ、歐洲ニ於ケル戰亂ニ我モ荷擔ヲ致シテ居ルコトデゴザイマスルガ故ニ、戰時ノ覺悟ハ我等モ有ッテ居ラナケレバナラヌコトデアラウト思フ、承ハル所ニ據レバ、此戰亂ニ參加シテ居ル國々ニ於テハ食物ニ對スル研究ヲ努メテ居ルト言フコトデアアル、然ルニ我國ニ於キマシテハ、一般ニ未ダ何等研究ヲシテ居ラヌカノ如ク見ユルノデアリマス、是ハ甚ダ遺憾ナル事柄デアルト思フ、第一ニ米ニ付テハ先年ノ議會ニ於キマシテ、當時ノ農商務大臣ノ答ヘニ依リマスレバ、如何ニ豐作デアツテモ、平均スレバ年々三百萬石ノ米ノ輸入ヲシナケレバ食料ニ不足ヲ告グルト云フコトヲ明確ニ答ヘラレタ、麥穀モ亦年々不足デアアル、其時ノ調べニ依レバ麥ハ七千萬石力足りナイノデアアル、加フルニ大豆モ不足デアアル、大

豆ハ年々百二十萬石不足デアルト云フ御答辯デアリマシタ、斯ノ如ク不足ノモノガアルト致シマスレバ、萬一ニ他ヨリ之ヲ仰グコトガ出來ナイナレバ、何トカ之ヲ辨ジナケレバナラヌト云フコトニナル、ソレモ俄ニ斯ノ如キ不足ニ遭遇イタシタトキニハ手ノ出シヤウガナカラウト思ヒマス、故ニ豫メ之ニ對スル覺悟モ亦必要ナリト云ハザルヲ得ヌデアリマス、次ニ米、麥、今申上ゲタ大豆等ノ不足、之ヲ外國ニ得ナイ……得ルコトガ出來ナイモノト致シマスレバ、内ニ何トカシテ之ヲ供給スル途ハナイカト云フコトヲ研究スルハ自然ノ順序ト云ハザルヲ得ヌデアリマス、故ニ當局ニ於キマシテハ、米ノ輸入モ出來ズ、麥ノ輸入モ出來ズ、豆ノ輸入モ出來ヌト云フコトニナリマシタナラバ、如何ニシテ其不足ヲ補フト云フ御準備ガアリマスカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、又今日マデニ其準備モナイモノト致シマスレバ、將來ノ御計畫デアリマス、其御計畫ヲ伺ヒタイノデアリマス、本員一己ニ於キマシテハ、食物ノ獨立ハ敢テ困難ナル事業ニアラズト考ヘル、同胞俱ニ力ヲ盡セバ、食物ノ獨立ハ寧ろ易々タリト云フコトガ或ハ出來ヤウト考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ全ク本員ノ案ナクシテ當局ニ御尋ネ致ス譯デハゴザイマセヌ、故ニ政府ニ於キマシテハ、今申上ゲタ通り是等ノモノヲ脇ヨリ得ラレナイトキニハ如何ニスルカト云フ御覺悟ガ出來テ居ルカ、之ニ對シテ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス、モウ一言御尋ネシタイ、ソレハ住居ノコトデアリマス、本邦ハ維新以來外國ノ風ヲ慕ヒ、住居イタス家屋ノ構造モ亦頻ニ外國風ヲ慕ヒ、此風ニ依ッテ建設シタル家屋ニ住居イタス者ノ數ガ年々増加イタシツ、アルノデアリマス、政府ニ於テハ古來祖先ガ住居イタシタル家屋ヲ改造シテ歐米ニ於ケル風ノ建築ヲ日本國民ノ住居ニ充テルガ日本國民ノ健康ヲ保全シ若クハ健康ノ程度ヲ高メルニ良キモノト看做シテ御居デナサルヤ否ヤト云フ問デゴザイマス、未ダ良否相分ラズト云フコトデアリマスレバ何カ之ヲ知ルノ方法ヲ御盡シニナリツ、アリマスカ、今日マデノ所デハ家屋ノ建築法ト云フガ如キモノニ付テ何等ノ方法モ國民ニ御示シニナツテ居ラヌヤウニ思フ、是ハ甚ダ遺憾ナル問題デアラウト存ジマス、之ヲ御尋ネスルハ餘ノ儀ニアラズ、前キニ申上ゲマス通り小サイ子供、學齡兒童及十五歳ヨリ二十歳、二十五歳マデノ若イ者ノ體力ガ弱クナリマシテ、動モスレバ天折スルト云フ點デアリマス、是等ノ者ガ滿六歳ヨリ毎日數時間ツ、參入シテ稽古ヲ致ス學校ノ建物ノ如キデアリマス、初メニ當ッテハ我國ノ學校ハ稍祖先ノ住居ニ似寄リタル構

造ノモノガアッタ所ガ、近年ニ至リマシテ益々歐風ノ家屋ニナリマシテ、風ノ通ヒノ惡イ家ノ内ニ居テ修業スルコトニナツタ共ニ、此若イ者共ノ健康狀態ガ著シク低落イタシタト云フ事實ガアルト本員ハ確信シテ居ルデアリマス、何ヨリ證據ハ統計局デ示ス所ノ死亡率デアリマス、斯ノ如キ死亡率ノ原因ハ單ニ家屋ノ建築ニ止マルト云フコトハ出來ナイノデアリマスケレドモ數年ノ間、未ダ發育盛リノ者ヲ風通シノ惡イ日ノ當ラナイ所ニ長ク置イテ學問等ヲサセナケレバナラヌヤウナコトニ立至ッテ居ルコトハ政府當局ニ於テモ認メラレテ居ルニ違ヒナイノデアリマス、故ニ此事ヲ政府ニ御尋ネ申スデアリマス、今日ハ良シトモ惡シトモ言ハズシテ、唯言ウガマニ……人民ガ造ルガマニ……任セ置イテアルト云フ事實ガ茲ニ存シテ居ルト思ウテ居リマス、故ニ御尋ネ申スノデアリマス、政府ニ於キマシテ之ニ對スル御案ガ御有リニナルヤウデゴザイマスレバ其御案ヲ拜聴イタシタイモノ、無イト致シマスレバ唯今御伺ヒ致シタ問題ニ付テ如何ニ考慮サレツ、アリマスカ、御示教ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣伯爵寺內正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣伯爵寺內正毅君 唯今ノ高木男爵ノ御質問ノ第一點デアリマス國民ノ保健上ニ付テノ意見ヲ御質シニナリマシタ、實ハ差掛ツタ問題デアリマシテ統計上ノコトヤ何カハ詳シク茲ニ御答ヘシ得ナイノデアリマス、必要ガアレバ追ッテ御答ヘ致シマスガ、大體ノコトニ付テ私ノ所見ヲ述ベテ御答ヘニ致シテ置キタイト思ヒマス、全體我ガ國民ノ保健上ノ狀態ハ遺憾ナガラ他ノ先進國ニ較ベマシテ優良デアルト云フコトノ御答ハシニクイヤウニ思フ、固ヨリ今日マデ兒童其外ノ衛生上ノコト又國民一般ノ衛生上ニ付キマシテモ相當ノ法規其外ノコトガ實行サレテハ居リマス、併ナガラ概略私ノ記憶スル所ニ依ッテ述ベマスレバ、遺憾ナガラ國民全體ノ衛生ハ優良ニアルト言ヘナイ、甚ダ遺憾至極デアリマスガ、他ノ先進國ニ較ベマスレバ遙ニ優良デナイト言ヒ得ルト思フ、而シテ此今日世界ノ趨勢カラ考ヘマシテ、國民ノ保健ノ増進ト云フコトハ競爭場裡ニ於テ第一ノ要件デアルト思フノデアリマス、今日ノ有様ヲ尙ホ改善イタシ優良ナル衛生上ノ狀態ヲ持チ來シタイト思フノデアリマス、又左様ニ爲サナケレバ世界ノ競爭場裡ニ立ッテ優良ナル地位ニ國家ヲ置クコトモムヅカシイデアラウト思フ、依ッテ政府ノ施設ハ固ヨリ、個人各個總テニ於テ衛生ノ増進ト云フコトヲ圖リ、堅剛ナル體力ヲ保持

スル所ノ將來ノ人民ヲ拵ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ唯今斯ノコトヲ爲スト云フ成案ハ持チマセス、漸次是ヨリ今日ノ施設ニ付テ改良スベキモノ又直チニ施設スベキモノ、ソレノ講究ヲ致シテ、出來ル限リノ施設ハ致シタイト思フ、是ダケノコトヲ申述ベマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 唯今高木男爵ノ御尋ネノ第二ハ近來教育上ノコトハ體育、智育、德育共ニ進歩シタニ相違ナイガ、併ナガラ動モスレバ理論ニ偏シテ之ニ實行ガ伴ハナイト云フ如キ傾ガアルヤニ感ズルガ、當局者ノ意見ハドウデアルカ、若シ果シテ然リトスルナラバ、之ニ對スル救済ノ方法ヲ何カ考ヘテ居ルノデアアルカドウカト云フ御尋ネデアッタヤウニ存ジマス、此點ニ付キマシテハ當局者モ大體御質問ニナリマシタ高木男爵ト所見ヲ一ニ致シテ居ル者デアリマス、確カニ教育ハ各般ノ方面ニ於テ進歩イタシテ居ルニ相違ナイデアリマスガ、智ノ方面ニ屬シマスモノ、意志ノ方面ニ屬シマスモノト其調和ヲ得スト云フコトハ確カニ認メテ居ルノデアリマス、是ハ如何ナル原因カラ左様ナルコトガ起ッタノデアアルカ、之ヲ第一ニ考ヘマシテ、而シテ後ニ之ニ對シテ之ガ救済方法ヲ考ヘナケレバナラスノデアリマスガ、是ハ無論色々ノ原因ガアルト存ジマスケレドモ、其中デ最モ重ナル顯著ナル原因ハ我國ノ教育制度ニ於キマシテ、宜シキヲ得ナカッタ所ノアル關係デアルト思フノデアリマス、即チ下級學校ト上級學校トノ連絡ガ宜シキヲ得ナイ、下級學校ト上級學校ノ施設ガ調和ヲ得テ居ラスト云フコトノ爲ニ學校ガ進ム度毎ニ必ズ競争試験ヲ受ケナケレバナラス、激烈ナル競争試験ヲ受ケナケレバナラスト云フコトハ何レノ學校ニモ伴ッテ居ルノデアリマス、故ニ何レノ學校ニ於キマシテモ、先ヅ此競争試験ニ堪ヘル、競争試験ニ於テ勝ヲ得ルト云フコトヲ主ニ致シテ教育ヲ施スト云フコトハドウモ免ルベカラザル所ノ弊害デアッタノデゴザイマス、故ニ各學校ニ於テ力ヲ用フル所ハ主トシテ此試験ノ成績ヲ良クスルト云フコトガアッタノデス、即チ手短カニ申シマスレバ智育ノ側ニ最モ力ヲ入レルト云フコトニ流レルノハ是ハ自然ノ結果デアルト考ヘルノデゴザイマス、此弊ヲ去リマシテ智育ノ側、又意志ノ教育ノ側ト云フモノガ宜シク調和ヲ得テ居ルヤウニ致シマスニハ、ドウシテモ教育ノ制度全體ニ互リマシテ、研究ヲ遂ゲマシテ、上級學校ト下級學校ノ連絡ヲ宜シク致シ、又上級學校下級學校ノ施設ヲ調和ヲ能ク致スト云フコトニ依ッテ此各種ノ競争試験ト云フコトヲ

バ出來得ベキダケ之ヲ減ズルト云フコトニ努メナケレバナラスノデゴザイマス、之ヲヤリマセヌケレバ之ヲ假令如何ナル改良ヲ施シマシテモ、先刻高木男爵ノ御尋ネニナリマスヤウナ弊ヲ除クト云フコトハ出來マセスト考ヘテ居ルノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ專ラ唯今教育會議ニ於キマシテ研究ヲ盡シテ居ルノデゴザイマス、又其教育會議デ研究イタシマシタ其結果ノ一部分ハ今回ノ豫算上ニモ既ニ現ハレマシテ、其實行ヲ期スルト云フコトニ務メテ居ルノデゴザイマス、斯様ナル手段ヲ執リマシテ此弊ヲ救ッテ参リタイト當局者ハ考ヘテ居リマス次第デゴザイマス、ソレカラ最後ニ住居ノ構造ニ付テノ御尋ネガゴザイマシタガ、之ニ付テハ主トシテ學校ノ建築ノコトニ關係イタシテ居ッタト存ジマスカラ私カラ御答ヲ申上ゲルノデゴザイマスガ、御話ノ通りニ從來我國ノ建物ハ外國ノ建物ト異ナッテ居ッテ、建物ノ内外ニ於ケル所ノ氣候ノ相違、或ハ光線ノ多少ト云フコトガ誠ニ比較ノ少クアッテ、サウシテ衛生上ノ或點ニ於テハ必ズ宜シイノデゴザイマセウ、ソレガ段々近頃西洋風ノ建物ガ殖エテ参リマシテ、是等ノ特色ガ減ズルト云フコトニナッタノハ、或點ニ於キマシテハ衛生上宜シクナイコトデアラウト思フノデアリマス、故ニ是ハ能ク研究イタシマシテ、外國ノ建築ノ利益ノアル所ヲ採リ、又其弊ノアル所ヲ除クト云フコトヲ十分ニ注意ヲ致サナケレバナラスト思フノデアリマス、唯光線ノ多イ方ガ宜シイ、餘リ室ノ中ニ人間ヲ保護スルコトハ宜シクナイト申シマシテモ、外ノ便利、外ノ愉快ト云フモノヲ總テ犧牲ニ致スト云フ譯ニモ参リマスマイ、其兩方ノ調和ヲ得ルト云フコトガ適當ナコト、必要ナコトデアラウト考ヘルノデゴザイマス、學校ノ構造ニ付キマシテハ專ラ此見地カラ致シマシテ設計イタスコトニナッテ居ルノデゴザイマス、即チ一方ニ於キマシテハ成ルベク授業上ニ於テモ亦生徒ノ愉快ノ上ニ於キマシテモ都合ノ好イヤウナ構造ヲスルト云フコトヲ致スト同時ニ、採光並ニ通風ト云フ如キ點ニ於キマシテ、理論上必要ナル程度ノコトハ必ズ之ヲ實行セシムル、例ヘバ窓ノ大キサデアリマスとか、或ハ室内ノ空氣ノ量デアルト云フガ如キ、成ルベク之ヲ多量ニ致シマシテ、授業上ノ便宜、又兒童ノ愉快、衛生ノ點ト相一致スルヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、之ニ付キマシテ精シイ設備規則ト云フモノガゴザイマシテ、之ニ依ッテ多ク學校ノ建築ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、先年都合ガアリマシテ設備規則ト云フモノハ廢止イタシマシタノデアリマスガ、併ナガラ實際學校ノ建築ニ於キマシテハ此設備規則ノ中ニ付

キマシテ衛生上及教育上必要ナルコトハ矢張り依然トシテ之ヲ採用シテ居ルコトニナツテ居リマス、先ツ斯様ナ方針デヤツテ居ルノデゴザイマス、併シ是等ノ點ハ誠ニ大切ナ問題デゴザイマスカラ、將來ニ於キマシテハ尙ホ研究イタシマシテ不都合ノナイヤウニ致スト云フコトニ努力ハ惜マヌ積リデ居リマス

〔男爵石黒忠愼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 石黒男爵ハドウ云フコトデゴザイマスカ

○男爵石黒忠愼君 唯今高木男爵カラノ質問ニ付キマシテ文部大臣ノ御答ニ付テチヨット質問イタシタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 仲小路農商務大臣ガ答辯サレヤウト存ジマス

○男爵石黒忠愼君 ソレデハ後トデ……

〔國務大臣仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仲小路廉君) 農商務所管ニ付キマシテ高木男爵ヨリノ御質問ニ御答ヲ致シマス、高木男爵ノ御質問ノ第一點ハ衣服ノ問題トシテ今日木綿物ト言ヘバ、サモ國內ニ於テ容易ニ得ラレルモノデアルカノ如ク人々ハ考ヘテ居ル、去リナガラ其木綿物ノ原料トナルベキ棉花、是ハ我國ニ於テハナカク得ラレナイノデアル、之ニ付テ年々原料トシテ輸入ヲ俟ツモノガ億ヲ以テ計算スル位ノコトニナツテ居ル、之ヲイト容易ニ得ラレルモノダト云フ考ヲ以テ餘リ之ヲ贅澤ニ使用シテ居レバ、將來ニ於テハドウ云フ結果ニナルデアラウカト云フ、洵ニ至當ナ御質問デアリマス、高木男爵ヨリ仰セニナリマスル如クニ、我國ニ於キマシテハ木綿物ト申サバイト容易ニ手ニ這入ルヤウニ一般ニハ考ヘテ居ル、併ナガラ今日其原料トナルベキ棉花ニ付キマシテハナカク是ハ容易ナラザル問題デアリマス、其數額ハ仰セノ如ク殆ド億以上ニ互ツテ居ル、幸ニシテ我國ニ於テ加工ヲサレテ、他ニ輸出ヲ致シテ居リマスル綿絲、綿布トシテ重要貿易品トハナツテ居リマスルガ、併ナガラ今日ニ於テ消費サレル高モ少カラヌ高デアリマス、而シテ是ガ原料タルベキ棉花ハ我が内地ニ於テハ得ラレナイノデアリマス、一ニ之ヲ他カラノ輸入ニ待ツテ居リマスル、是ガ普通ノ場合ノ如ク、各國トノ貿易モ總テ自由ニ參ル時ナラバ、左程ニ苦シミモ致シマセヌガ、今日ノヤウナ戰時デアリマス、海外ニ對スル輸出、輸入共ニ心ニ任セヌコトガ多イ今日ニハ此重要ナ棉花ニ付キマシテ、將來ノ自給ノ方法、洵ニ之ニ付キマシテハ十分ニ考慮ヲ致サネバナラス時デアリマ

ス、ソレ故ニ農商務省ニ於キマシテモ何トカ致シテ此棉花ニ付キマシテ將來安全ニ之ヲ供給シ得ル途ヲ講ジタイト存ジマシテ、既ニソレノ調査モ盡シテ居ルノデアリマス、幸ニシテ我が朝鮮或ハ滿洲、臺灣等ニ於テモソレノ途ヲ講ジテ居リマス、去リナガラ連モ之ヲ以テ將來我が供給ヲ充タス譯ニハ參ラナイノデアリマス、更ニ進ミマシテ支那方面、各種ノ方面、諸方ニソレソレノ途ヲ講ズル考ヲ有ツテ居ルノデアリマス、去リナガラ之ト同時ニ又高木男爵ノ仰セニナリマスル如ク木綿物ハイト容易ニ得ラレルモノダト云フ積リヲ以テ之ヲ餘リ構ハズニ多クヲ消費スルコトニナリマスレバ、到底其供給ヲ全ウスルコトモ出來マセヌノデアリマス、是ハ銘々心ヲ致シテ成ルベク無駄ニ之ヲ使ハナイ、成ルベク節約ヲシテ、有要ニ使用イタスト云フ考ガ社會一般ニ起ツテ來ナケレバナラスコトト存ジマス、又外國ニ於テ是マデ多ク毛織物ヲ使用シテ居ッタガ、毛織物ヲ使用ハシテ居ルガ漸次ソレガ變ジテ、木綿物即チ綿絲ヲ以テスルノ傾ガアリハセヌカ、是モ仰セニナル如クニ近來ハ莫大小、多クハ綿絲綿布ヲ以テ漸次其方ノ使用ガ擴マツテ居リマス、旁、是等ノ點ニ付キマシテハ我が社會ノ全體ニ於テ國民ノ思想上ヨリ成ルベク綿絲綿布ニ付テハ心シテ使用スルコト云フ考ニナラナケレバナラスコトデアラウト存ジマス、尙ホ麻ノコトデアリマスルガ、是モ綿絲、綿布ニ次グ重要ナ物資デアリマス、幸ニシテ近來ハ北海道ニ於ケル麻或ハ臺灣等ニ於テ漸次繁殖ノ途モ擴マツテ居マス、是ノ供給モ前日トハ餘程變ハツテ參リマシタ、去リナガラ是ノ需要モ亦日ニ増シテ多キヲ告ゲル場合デアリマス、是等ニ付キマシテモ成ルベク需要供給ノ關係ヲ滑ニ致シテ、將來ニ於テ之ニ不足ヲ告ゲナイダケノ畫策ヲシナケレバナラスト專ラ注意ヲ致シテ居リマス、次イデ重要ナ問題トシテ、此食物ノ點デアリマス、食物ノ問題ハ今日ノ場合ニ於テ社會上實ニ必要ナ問題デアリマス、米ノコトハ申スマデモナク、或ハ麥ニ致シマシテモ、或ハ大豆類ニ致シマシテモ、是皆主要食物ニ次イデ必要ナル副食物デアリマス、幸ニシテ今日ハ或ハ肥料ノ點デアリマスルトカ、各種ノ方法ノ講究ニ依リマシテ生産ノ額ハ漸次殖エテハ參リマシタ、去リナガラ年々我國ニ於テ人口ノ増加ヲ致シテ、年々六十萬人カラノ人ノ増加ニ伴フコトハ唯今ヨリ將來ノコトハ篤ト考ヘマシテ、其時ニナツテ臍ヲ噬ム悔ノナイヤウニ致サナケレバナラス、即チ本年ノ豫算ノ上ニ土地利用調査ニ關スル費用ヲ計上イタシタノデアリマス、此趣意ハ唯今申シマスル如クニ、現在ハ姑ク措イテ、將來我が人

口ノ増加ニ伴ヒマシテ、之ニ付テ成ルベク需要供給ノ不足ナカラシムル爲ニ、成ルベク生産額ヲ多クスルコトヲ努メナケレバナラスト思ヒマス、即チ土地利用調査ノ途ニ依リマシテ、或ハ不用ノ山林デアリマスルトカ、或ハ今日マデ荒地トシテ打棄テラレテ居タ土地デアリマス、其他開墾開拓ヲ致シテ然ルベシト思フモノガ我が國內ニ少カラヌデアリマス、是等ニ對シマシテハソレノ調査ヲ盡シマシテ、開拓シ得ベキモノハ之ヲ開拓イタシ、干拓ヲ致シ得ベキモノハ干拓ヲ致シテ、又不要存置林デアッテ、之ヲ一般ノ用ニ供シタガ然ルベシトスル場合ニハ相當ノ處置ヲ執ッテ之ガ處置ヲナシ、而シテ將來ニ當ッテ出來得ル限リ耕地田畑ノ額ヲ多クスルコトニ努メルコトガ是ガ大切ト存ジマス、既ニ其考ヲ以テ今回ノ豫算ニ計上ヲ致シタノデアリマス、去リナガラ將來ニ互ッテ此需要供給ノ調節ヲ計リマスニハ、一面ニ於テ生産ヲ増ス方ニモ盡力ヲ致スコトハ當然デアリマス、併ナガラ同時ニ消費ト云フ方ニモ亦節約ヲ致シテ行キマセストナラスト存ジマス、今日ノ如クニ世ノ中ガ繁昌ダ繁昌ダト云フ積リデ、米ノ消費モ極メテ多クナリ、多クノ消費ガ贅澤ニ使ハレマシテハ、幾ラ是ガ供給ニ盡力ヲ致シマシテモ不足ヲ告ゲテ參ルノデアリマス、是等ハ社會全體ノ關係トシテ銘々心ヲ致シテ節約スベキハ節約ヲシテ、成ルベク消費ヲ慎ムコトモ必要デアラウカト存ジマス、一面ニ於テ生産ノ方ニ力ヲ盡シ、同時ニ消費ニ對シテ各、心ヲ致シ、サウシテ我が國民全體ノ需要供給ニ不足ヲ告ゲナイ途ヲ執リマスルコトハ是レ正ニ當局者トシテ盡スベキコトダト存ジマス、大體高木男爵ノ御質問ニ御答イタシマスコトハ認メテ居ルト云フ御答辯デゴザイマシタガ、尙ホ此實地ノ問題ニ付テ競争試験ガ烈シイノデ、理論ノミニ走セルト云フガ如キ結果ヲ來シタト云フ御説明デゴザイマシタガ、是モ御尤モナ御説トシテ承ハルノデアリマス、去リナガラ其點バカリデナイト云フ點ヲ本員ハ認メテ居ルノデアリマス、例ヘバ小學校兒童ガ小學校デ習ウタコトヲ其儘實行シテ居ナイト云フ點デアリマス、又小學校兒童ニ付テ色々教ヘルコトガアリマセウケレドモ、教科書デ歴然教ヘテ居リマスケレドモ、其子供等ガ之ヲ日々實行スベキモノヲ實行シテ居ナイト云フコトヲ認メルノデアル、是ハ競争試験ノミニ因スル問題デハナイ、即チ教場ニ於テ何トカ方法ヲ用ヒタナラバ教室內デ教ヲ受ケタモノハ教室外

ヘ出デテモ其通りヲ實行スルト云フコトニナリハ致サヌカト思フノデアリマス、今日ノ所デ見レバ室内ニ打籠ッテ守ルガ如ク守ッテ居リマスケレドモ、室ヲ離レテ外ニ出デタルトキニハ早ヤ打忘レタルカノ如ク見エルノ風ガアルト云フコトニ付テ申上ゲタノデアリマス、先ニ御答ニナリマシタ通りニ全クソレニ違ヒゴザイマセヌ、ソレモ伺ッタ通りノ意味ヲ有ッテ居ルニ違ヒゴザイマセヌガ、ソレバカリデハナイ、唯今申上ゲタ點ヲ如何ニ御認メニナッテ居ルカ、唯物ヲ知ラセルト云フニ止メ、行フコトニ重キヲ置カヌ、ソレハ人ノ眼前デ言ハレタ通りスルダケデアッテ、而カモ教ヘタル人ガソコニ居ルトキダケ其ヤウニシテ居リマスガ、場所ヲ離レテ見ルト教ヘタ通りシナイト云フヤウナ氣風ガ小學校兒童等ニ現ハレテ居ルト云フコトハ確カニ認メラレルト思フノデアリマス、尙ホ御分リ兼ネモアリマセウト思ヒマスルガ、此儀ハ又他ノ場合ニ伺ウテ宜シウゴザイマス、モウ一ツ御答ヘ下サレマシタ建築ノコトデゴザイマス、是ハ決シテ文部大臣ノ所管ノ下ニ拘ハル問題ノミデ申上ゲタ譯デハナイ、天下一般デゴザイマス、即チ外國風ノ家ヲ拵ヘテ住ム人ノ多キ地方ハ確カニ結核病等ガ多イノデアリマス、或ハ和洋折衷ト云フノデアリマス、日本風ノ家屋デアッテ、硝子障子等ヲ建テ廻シテ居ルヤウナ家ノ多イ地方、例ヘバ大阪デアルトカ、神戸デアルトカ、横濱デアルトカ、東京デアルトカ云フ如キ地方ニ於ケル死亡率、殊ニ結核病等デ斃レル者ガ少カラヌ所カラ御尋ネテ致シタノデアリマス、學校ノ校舍モ亦其中ニ數ヘラレル、多數ノ者ガ閉籠ッタ家ニ這入ッテ居ルト云フコトニナリツ、アルノデアリマス、設備準則ノコトニ付テ御話デゴザイマシタガ、設備準則ヲ設ケラレテ之ニ依ッテ學校ヲ建設シタル日以後ニアッテ確カニ此幼童ノ……日本國民ノ若イ者ノ健康ニ一層響キヲ生ジテ居ルト云フ事實ガ存シテ居ルノデアリマス、學校ノ爲ニ必ズ是ガ起ッタト云フコトハ未ダ證據ヲ十分ニ捉ヘテナイガ故ニ言フコトハ出來マスマイケレドモ、設備準則ニ依ッテ學校ノ校舍ヲ建築シタカラ其爲ニ日本ノ兒童ガ丈夫ニナッタト云フ證據ハナイ、兒童ノ健康ガ惡クナッタト云フ證據ハ統計表等デ擧ゲ得ラレテ居ルト思フ、故ニ今日アル所ノ校舍ノ建築ガ良イト云フコトハ頗ル難事ノ難事ダラウト思フノデアリマス、建テテ入レハ入レタガ、其結果ハ未ダ調査ヲシテ居ラナイ云フコトハ事實デアラウカト思フ、故ニ單リ學校ニ止マラナイ、一般ニ我々國民ガ洋風ノ家ニ住居スルヤウニナッタ爲ニ、健康ガ善クナッタカ、惡クナッタカト云フコトヲ知ルト云フコトハ今

日ノ場合我ガ國家ニ取ッテハ大切ナ事柄デアラウト思ウテ此儀ヲ御尋ネ致シ
タノデアリマス、能ク御調査ニナリマシテ此國土氣候、風土ニ適當スルト云
フヤウナ家屋ヲ拵ヘルト云フコトニナラナケレバ、國民ノ健康ヲ保存スル上
ニ於テ故障ヲ生ズルダラウト思フノデアリマス、故ニ政府ニ於テ是等ノ點ヲ
能ク御調査ニナリマシタコトデゴザイマス、若シナケレバ御調査ニナルト
致シマシテ、我國ノ氣候、風土ニ於テ人民ノ住居ニ適スルヤウナモノヲ國民
ガ建設シテ之ニ住居スルヤウナコトニナルコトガ、國力ノ増進ニ必要ナリト
認メル所カラ御尋ネヲ致シタノデアリマス、此問題ニ付テハ文部大臣閣下ノ
御答辯ハ誠ニ有難ク頂戴イタシマス、内務大臣閣下ガ最モ是ハ適任ノ御
方ト本員ハ認メテ居ルノデアリマス、故ニ内務大臣閣下ヨリ御答辯アラムコ
トヲ切望イタシマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 唯今高木君カラノ御質問ト御意見ヲ拜聴イタ
シマシタガ、全ク御意見ノ通りニ當局ニ於テモ考ヘテ居リマス、サウシテ御
承知ノ通り保健調査會ニ於テ一部ノコトハ今著手シテ居リマスルコトモアリ
マス、全部ノコトニ付キマシテハ遺憾ナガラ今完全ナル設備ヲ以テ爲シツ、
アルト云フコトヲ茲ニ申上ゲルマデニナツテ居リマセス、併シ此事ハ等閑ニ
附スベカラザルコトト考ヘマス、前來内務省ニ於テ調査セラレテ居リマスガ、
唯今ノ形勢デハ益々急務ヲ感ズルヤウデアアルト云フコトヲ御答イタシマス
○男爵高木兼寛君 本員ノ今日御質問イタシタル箇條ニ付テハ尙ホ伺ヒタイ
コトハ多クゴザイマス、時間ノ都合モゴザイマス故ニ今日ハ之ニ止
メテ後日更ニ御伺ヒ申上ゲマス

○伯爵柳澤保惠君 唯今高木男爵ノ御質問ニ對シテ内務大臣ノ御返事ガゴザ
イマシタガ、序ニソレニ付テ内務大臣ニ御伺ヒ致シマシテ宜シウゴザイマセ
ウカ

○議長(公爵德川家達君) 後トデ願ヒマス……若槻禮次郎君

○若槻禮次郎君 簡單デゴザイマス、此席カラ御尋ネ致シマス、大藏大臣
ノ先程ノ御演說ハ可ナリニ詳細ニ互ツテ居リマシタガ、唯衆議院ニ於テ税法
竝ニ郵便法中ノ改正案ヲ否決セラレマシタ結果トシテ財源ニ缺減ヲ生ジタ
ヤウニ感ジラレマス、其點ニ付テノ御説明ハ甚ダ簡單デ、政府ノ御考ノ
アル所ヲ承知スルニハマダ足りナイヤウニ考ヘルノデアリマス、其點ヲ御尋

ネシタイト思ヒマスガ、先以テ伺ヒタイノハ、衆議院デ否決ノ結果大正七年
度ニ若干歳入ノ減少ヲ認メマスガ、又大正八年度以降ニ於テハ其額ガ増加ス
ルト考ヘマス、其増加スル減少額ノモノガ如何程ニ相成ルノカト云フコ
トヲ御尋ネヲシタイノデアリマス、御答辯ノ便利トシテ次ニ御尋ネスルコト
モ併セテ申上ゲマスガ、一體今回ノ豫算ニ對シマシテハ衆議院ニ於テモ隨分
意見ガアツタヤウデアリマスガ、我々モ幾ラカ疑ヲ有ツテ居リマス、他ノ
歳出ハ皆現在ノ儘増加セスト致シテモ、政府ノ御答辯ニナル所ニ於テ海軍省
ニ於テハ、大正八年度カラ今日御要求ニナツテ居ル水陸設備費ノ残り千五百
万圓前後ノモノハ多分御要求ニナルダラウト思ヒマス、海軍大臣ハサウ云フ
ヤウニモ仰ッシャツテアルヤウニ思フノデアリマス、又今日ノ午前中ノ質問ニ
對シテ海軍大臣ノ御答ヘニナツタ所ニ依ルト、八四艦隊計畫補充ノコトハ此
豫算ノ中ニ出來テ居ラナイノデアアル、豫テ成立ツテ居ル所ノ海軍ノ國防ノ目
的トシテアル所モマダ行ハレテ居ナイノデアアツテ、是ハ大正十年頃カラ要求
スル積リデ居ル、斯ウ仰ッシャツテアルノデアリマス、左様イタスト云フト、
外ノ歳出ハ皆現状ノ儘デ増加スルコトガナイト見テモ、海軍關係デ大正八年
ヨリ更ニ大正十年カラハ益々多ク財源ヲ要スルノデアアツテ、其事柄ニ付テハ見
込ガ御答ヘニナツテ居ナイヤウデアリマス、政府ハ見込ヲ立テテ居ラレナイ
ヤウニ見エマス、何レ其時ニ至リ財源等ノモノハ、何カノ方法ニ依ツテ
増税シナケレバナラスデアラウト思ヒマス、今日ノ計畫ニ於テハ此事ガ見テ
ナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、丁度其場合ニ於テ衆議院デ歳入ノ減
少ノ意見ヲ提出シタノニ對シテ、是ハ衆議院ガ政府ノ意見ニ反シテ決議シタ
ノデハナイノデアリマシテ、政府ハ進ンデ之ニ御同意ニナツタノデアリマス、カ
ラ、然ル以上ハ政府ニ於テハ何等カノ御見込ガアルノデナケラネバナラス、
元來財源ノ足りナイ所デ海軍ダケノ問題ニ於テモ早晚更ニ増税ヲ要シハセ
カト考ヘテ居リマスガ、其際ニ今日御提出ニナツタ計畫ノ中デ更ニ歳入ノ減
少ニ對シテ政府ハ進ンデ之ニ御賛成ニナツタト云フ以上ハ、此補充ノ途ナル
モノハ何等カ御考案ガアルト思ハレルノデアリマスガ、其御考案ナルモノハ
ドウ云フノデアリマセウカ、又其御考案ニ基イタ發案ハ此議會ニ於テ御提出
ニナルノデアリマス、他日御提出ニナル御考デアリマセウカ、其點ヲ伺ッテ
置キタイ

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 御答ヲ致シマス、第一ノ歳入ノ減少ノコトニ付キマシテ、歳出トノ均衡ヲ取ル點ニ付キマシテハ先刻私ヨリ大體ハ申シテ置イタノデアリマス、即チ歳入ニ於テ減少ヲ致シマシタ、此故ニ此均衡ヲ保ツガ爲ニ歳出ニ於テ國庫豫備金ノ二百萬圓ト云フモノヲ削除シテ豫算ヲ修正シテ提出ヲ致シタノガーツデアリマス、尙ホ進ンデ申上ゲマスレバ、大正七年度ニ於キマシテハ當然ナコトデアリマスルガ、三十六萬幾圓ト云フモノノ徵稅費ガ浮ク譯ニナリマス、ソレカラ五十五萬圓バカリ前年度剩餘金ヲ繰入レルコトニナリマス、サウ致シマスルト云フト、大正七年ノ辻褄ハ合ッテ行キマス、ソレカラ其以後ノ辻褄ハ矢張りソレ等ノ計畫ニ依ッテデス、チャント立ツノデアリマス、唯茲ニ違フ所ハ衆議院ニ於テ示シマシタ所ノ大正十二年度ニ互ル所ノ財政計畫ノ表ニ付キマシテ、以前ノ表ニハ大正八年九年ト云フヤウナ所ハ餘裕ガ出テ居ッタモノガ、ソレガ丁度キチ／＼ニナルヤウナ計數ニナリマスノデ、其所ガ違ヒマス、此點ハ寧ロ此處ヨリハ委員會等ニ於テ其表ヲ御示シマシテ詳シク御話ヲ致シタ方ガ宜ガラウト考ヘルノデアリマス、第二ノ御尋ネハ若槻君ノ豫想ニ依ルト海軍ノ水陸設備費ノ如キ大正八年度以後ニ於テ相當増加ヲシナケレバナラスコトガアル、又海軍大臣ノ説明等ニ依ッテモ、大正十年頃ニ此補充計畫、其他新ナル計畫等モ提出サレルト云フヤウナコトモアルヤウデアアルガ、之ニ對シテ政府ハ財源ノ見込ヲ付ケテ居ルカ、是ガ御尋ネデアアルヤウデアリマス、此點ニ付キマシテハ衆議院ニ於テモ屢問題ガ出マシテ答辯ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、大體此事ヲ申上ゲマスルニ付キマシテハ、政府ガ本回提出ヲ致シテ居リマス所ノ歳入ノ豫算、歳入ノ豫算ナルモノガ如何ニシテ作ラレタカ、此七年度ノ歳入ノ豫算ノミナラズ、大正十二年ニ至ルマデノ間ノ其計畫ニ付キマシテ歳入ヲ如何ニ見タカト云フコトノ説明ヲ第一申サナケレバナラス譯デアリマス、大正七年ノ歳入ニ付キマシテハ從來ノ形式ニ依リマシテ、即チ或モノハ大正五年度ノ實績ニ依リ、或モノハ三年若クハ五年前ノ平均ニ依リ、確實ナル數字ヲ見込ンデアアルノデアリマス、サウ致シマシテデス、尙ホ是等ノ數字ハ確實デアルトハ考ヘテ居リマスルガ、今日ハ即チ時局ノ際デアリマスルカラシテ、時局ニ依ッテデス、歳入ガ殖エタト見込ムベキヤウナモノハ寧ロ多少ハ減額ヲシタ方ガ宜カラウト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ大正九年ヨリ致シマシテ、各稅ニ互リマシテ、要スルニ此時局ヲ殖エタト云フヤウナモノニ付キマシテハ之ヲ見

込ンデ減ジテアリマス、即チ大體カラ申シマスレバ、本回政府ガ衆議院ノ豫算委員會等ニ於キマシテ示シマシタ所ノ將來ニ互ル財政計畫竝ニ……當院ニ於キマシテモ必ズ委員會ニ於テハ御示シマスル積リニ致シテ居リマスケレドモ、此財政計畫ナルモノノ歳入ハ極メテ嚴格ニ見積ッテアリマス、而カモ唯今申上ゲタ如クニ自然增收ノ如キモノハ見テアリマセス、ソレ故ニ從來財政ノ經驗ニ依リマスレバ、之ニ對シテ相當ノ餘裕ガ出テ來ルト云フコトハ……幾ラノ餘裕ガ出テ來ルト云フコトハ明言ガ出來マセスケレドモガ、想像シ得ラレルノデアアッテ、又歷代ノ政府ニ於テ斯ノ如キ場合ニハ必ズ斯ノ如ク説明ヲシテ居ルノデアリマス、ノミナラズ此財源ノ、例ヘバ八年度九年度ト云フヤウナ時ノ財源ト致シマシテハ、御承知ノ通り大正六年度ノ計算ガマダ能ク分リマセスガ、大正六年度ノ剩餘金ノ如キハ相當巨額アル見込ヲ有ッテ居リマス、斯様ナルモノ等ガアリマスルナラバデス、茲ニ海陸設備ノ若干ノモノガ出テ來ル、其他多少必要ニ應ジテ經費ガ殖エルダラウト思ヒマスルガ、斯様ナルモノヲ賄ヒ得ナイト云フコトハ私ハナイト思フノデアリマス、サウ致シマシテ海軍ノ將來ノ計畫ニ付キマシテ、海軍大臣ハ要シマスルニ大正十年頃ニ補充ノ計畫竝新ナル計畫ヲ出スデアラウ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、尙ホ之ニ附加ヘマシテ海軍大臣ハ、衆議院ノ豫算總會等ニ於テ、或ハ増稅委員會等ニ於テ説明サレテ居リマスルノハ、其頃ニ出スデアラウガ、併シ此年度割ハ詰リドウナルカト云ヘバ、最初ニハサウ巨額ヲ要セナイノデアアル、詰リ本當ノ金ヲ要スルト云フコトハ、大正十二年度以降ニ於テ之ヲ要スルノデアルト、斯様ニ説明ヲサレテ居ル、若シサウ云フコトデアリマスルナレバデス、大正十二年頃ヨリ致シテハ六千萬バカリノ餘リガ出、十三年ニハ一億以上ノ餘リガ出テ來ルト云フ計畫ニナッテ居リマスルカラシテ、是等ノ要求ニ應ジテ行クコトガ相當ニ出來得ルデアラウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスル、大體ソレデ御解リ下サッタコトデアラウト信ズル

○若槻禮次郎君 チヨット御答辯ハ私ノ御尋ネシタコト前後イタシタヤウニ思ヒマスガ、併シ前後イタシテモ結局關聯ヲシテ居リマスカラ、唯今ノ御答辯ニナッタコトハ、私ガ御尋ネヲシタイト思ッタコトノ一部ニハ丁度當ッテ居ルヤウデアリマス、但シ大藏大臣ハ海軍ノ要求ガアル場合ニ於テモ、其金額ハ餘リ多クナイヤウニ御覽ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、此點ハ私共ノ考ヘテ居ル所トハ大分違ヒマスノデ、謂ハユルハ四艦隊計畫トナッテスラモ、

補充ノ計畫ガ今出來テ居ナイノデ、此補充ダケデモナカ／＼大ナル金額ヲ要スル、ソレニ今海軍大臣ガ言ハレル所ノ國防ノ方針ト云フモノガ、若シ八八艦隊計畫デモアリマスナラバ、之ニ要スル費用ハナカ／＼小サナモノデナカラウト思ヒマス、大キクナイコトヲ私ハ望ミハ致シマスケレドモ、事實ハナカ／＼大キナ金額ヲ要スル、大藏大臣ハ之ニ向ッテ剩餘金、或ハ自然増收ヲ以テ充テルト仰セニナリマスガ、自然増收ナルモノハ歷代ノ内閣ノ中デ曾テ之ヲ見込デ財政計畫ヲ立テラレタ内閣ガ、一タビハアリマシタケレドモ、是ハ議會ノ反對ニ依ッテ中止トナリ、其後ハ自然ノ増收ヲ見込マヌデ立テルト云フコトニナッテ居リマスルカラ、之ヲ當テニシテ財源ニ充テルト云フ御説明デハ十分デナイヤウニ思フノデアリマス、自然ノ増收ニ對シテハ、此歳出モ自然ノ増加ガアルノデアリマス、之ニ向ッテ相當當嵌メテ行カヌケレバナラヌ、サウスルト海軍ノ計畫ノ如キ大ナル財源ヲ要スルモノハ、ドウシテモソレニハ特別ノ財源ヲ考ヘテ居ラナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、併シ此點ハ大藏大臣ト私共ノ考ト違フヤウデアリマスカラ、強ヒテ御尋ネハシマセヌガ私ノ御尋ネヲシタノハ左様ナ財政ノ前途ニ關係ガアルノニ、衆議院ガ、今御出シニナッテ豫算ニ對スル必要ナル財源トシテ税法ノ一部、竝郵便法ノ改正案ヲ否決シタ爲ニ、茲ニ歳入ノ缺減ガ生ジタノデアアル、其缺減モ政府ガ同意セスト仰ッシャルナラバ何デモアリマセヌガ、衆議院ニ對シテ同意デアルト云ッテ直グニ御賛成ニナッタノデアアルカラ、ソレ故ニ其歳入ノ缺減ニ對シテ御見込ガナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲタノデアアル、然ルニ國庫豫備金ノ二百萬圓ヲ減ズルト云フ豫算ヲ政府ガ御出シニナッタ、又徴稅費ヲ増スト云フコトモ自然ニ要ラナクナル、其事ハ私モ承知シテ居ルノデアリマス、其外ニ衆議院ハ是等ノ豫算ニ對シテ若干ノ削減ヲ加ヘタノデアリマスカラ、是ハ財源ニハナルノデアリマス、併ナガラ是等ノ財源ハ數ヲハッキリ仰セニナリマセヌガ、私ノ想像スル所ニ依レバ二百五十萬圓ニナルダケノコトデアラウト思ヒマス、サウシマスルト是ハ大正七年度ノ歳入ノ不足額ダケヲ補フコトニハナリマセウガ、大正八年度以後ニハドウナルコトカ、不足額ガ七年度ト八年度以後ト同額ノモノデアレバ、ソレダケノモノデ宜イト思ヒマスケレドモ、大正七年度ハ二百四十萬圓不足デアリマセウガ、八年度ニハ八百萬圓前後ノ不足デアラウト思ヒマス、ソレニ對シテ唯今ノ二百四十萬圓ヲ八年度以後ニ於テモ補フトシテ見タ所ガ、尙ホ五六百萬圓ノ不足ガアル、ソレ

ガ、一年デハナイ、大正八年度カラ引續イテヤル、繼續ノ間ハ不足ニナル譯デアアル、之ヲ進ンデ御同意ニナッテアル以上ハ、其減額ニ對スル何等カ御考ガナケレバナラヌ、豫算委員會等デ説明ヲスルト云フ仰セデアリマスガ、是ハ私共望マシイノデアアル、詳シイコトヲ御説明ヲ伺ヒタイノデアアル、政府ノ御示シナリマシタ所ノ概算書、財政ノ將來ノ概算書ト云フモノモ、今度ノ税法ノ否決、竝衆議院ノ豫算ノ修正ニ基イテ改メタ所デ御示シテ願ヒタイノデ、是ハ豫メ今日カラ御願ヒハ致シテ置キマスガ、極ク大體ノ大正八年度以後、年々六百萬圓前後ノ歳入不足ト云フモノニ對シテハ、政府ハ如何ニ考ヘテ居ルト云フコトハ、是ハ豫算委員會デナク此公開ノ席上ニ於テ御説明ニナッテ、國民ニ安心ヲ御與ヘニナル必要ガアルト思ヒマスカラ、其點ダケハ今一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今ノ御尋ネニ對シテハ、先刻申上ゲタカト思フノデアリマスルガ、或ハ言葉ガ足ラナカッタカモ知レヌノデアリマス、大正七年ニ於ケル缺陷ノコトニ付テハ、若槻君モ御了解ニナッタヤウデアリマス、其以後ニ於テ四五百萬……五六百萬ト仰ッシャイマシタガ、缺陷ガアルヤウデアアルガ、之ヲドウスルカト云フ御尋ネデアリマス、確カニ數字ヲ記憶シテ居リマセヌガ、ソレハ約四百二十萬バカリノ不足ガアルヤウニ思フノデス、是ハ剩餘金デ以テ填メテ行クト云フ計畫デ居ルノデアリマス、ソレデ詰リ收支ノ釣合ヲ取ッテ居ル次第デゴザイマス、大體ハサウ云フ數字ニナッテ居ル、ソレガドウ云フヤウナ、年々ノ度合ガドウナッテ居ルト云フヤウナ事柄ハ、是ハ寧ロ委員會ノ方ガ能ク事情ヲ盡シテ宜シイカト私ハ思フ

○若槻禮次郎君 唯今仰セニナル剩餘金ト云フノハ、既ニ生ジテ居ル剩餘金デアリマスカ、或ハ將來生ズルカモ知レヌト云フ、想像ニ依ル所ノ剩餘金デアリマスカ、是ダケヲ伺ヒマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 既ニ生ジテ居ル所ノ剩餘金デアリマス

○議長(公卿徳川家達君) 石黒男爵ニ伺ヒマスルガ、國務大臣ノ答辯ニ依ッテ尙ホ何カ質問デモアリマスカ

○男爵石黒忠恵君 唯今高木男爵ニ御答辯ニナリマシタコトデ伺ヒタイコトガゴザイマス、其外ニモ大臣ニ質問ガゴザイマスルガ、今日ハ時刻ガ遅レテ

居リマスデ、本員ハ豫算委員長ニ請求ヲ致シテ質問ヲ致スコトニシテ、今日ハ是デ止メマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ先ホド高木男爵ヨリ内務大臣ニ對シマシテ質問サレタ、其點ニ付テ第一ニ御答辯ガゴザイマシタガ、ソレヲ一應確カメタイト考ヘマス、高木男爵ハ我國ニ於ケル歐風家屋ト死亡ノ關係ニ付テ御心配ニナッタヤウニ思ヒマス、ソレデ學校ノ設備ノミナラズ總テノ歐風ノ建築ガ、餘ホド非常ニ影響ガアリハシナイカ、ソレニ對シテ内務大臣ハ御同感デアルト云フ風ニ伺ヒマシタガ、若シ私ノ間違ヒデナケレバ、内務大臣ニ於キマシテハ我國ノ左様ナ健康狀態、或ハ死亡増加等ハ餘ホド歐風家屋ニ原因スルモノデアルト云フコトヲ御確カメニナッタデアリマスカ、其邊ヲ念ノ爲メ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 唯今柳澤伯爵ヨリノ御尋ハ高木男爵ノ御問ニ對シマシテ御答ヘシマシタコトカラシテ、高木男爵ノ意見ニ同意ヲシ、且ツ之ヲ確カメタノデアッタカ、斯ウ云フコトノ御尋デ、一部ハ高木男爵ト感ラ同ジウシテ居ルノデアリマス、併ナガラ之ヲ以テ悉ク之ヲ確カメルト云フコトノ責任ハ有タヌノデアリマス、高木男爵ノ述べラレル所ト感ラ同ジウシテ居ル所ガアルト云フコトヲ申述べタノデアリマス、而シテ之ヲ以テ原因結果ノ關係ヲ講究シテ、之ヲ確カメルト云フコトヲ致スト云フ譯デハナイ、斯様ニ御承知ヲ願ヒタイ

○淺田德則君 唯今議題トナッテ居リマスル日程ノ第二ヨリ第六、即チ豫算關係ノ諸案デアリマス、其審査期限ヲ定メマスルコトハ三月五日マデト致シタイト考ヘマス、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵前田利定君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 淺田德則君ノ審査期限ニ關スル動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、酒造税法中改正法律案、第八、酒

精及酒精含有飲料税法中改正法律案、第九、麥酒税法中改正法律案、第十、所得税法中改正法律案、第十一、戰時利得税法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、第七ヨリ第十一マデノ議案ヲ束ネテ問題ニ供シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) ソレカラ御諮リヲ致シタイノデアリマスガ、本日ハ通牒文ノ朗讀ハ總テ省略ヲ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕

酒造税法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月七日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

〔小字ハ衆議院ノ修正、ハ同削除ノ符號ナリ〕

酒造税法中改正法律案

酒造税法中左ノ通改正ス

第一條ノ六中「稗」ノ下ニ「玉蜀黍、馬鈴薯」ヲ加フ

第四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

酒類ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ造石稅ヲ課ス

第一種 酒精分二十三度以下ノ酒類 一石ニ付二十三圓

第二種 酒精分二十三度ヲ超エ四十五度ヲ超エサル燒酎 一石ニ付二十三圓

第三種 酒精分二十五度以下ノ燒酎 一石ニ付二十九圓

第三種 酒精分二十三度ヲ超ユル清酒、濁酒、白酒、味淋及酒精分四十五度以上ノ燒酎 一石ニ付二十九圓

第三種 酒精分二十三度ヲ超ユル清酒、濁酒、白酒、味淋及酒精分四十五度以上ノ燒酎 一石ニ付二十九圓

度ヲ超ユル焼酎

第四種 酒精分四十度以下ノ焼酎

第五種 酒精分四十五度以下ノ焼酎

第六種 酒精分二十度ヲ超ユル濁酒、酒精分二十度ヲ超ユル清酒、白酒、酒精分三十度ヲ超ユル味淋及酒精分四十五度ヲ超ユル焼酎

第五條中「百石」ヲ「三百石」ニ、「五十石」ヲ「百石」ニ、「五十石」ヲ「十石」ニ、「第

四條第一項ノ稅率」ヲ「一石ニ付二十三圓ノ割合」ニ改ム

第八條第二項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ命令ノ定ムル所ニ依リ清酒ハ査定石數百分ノ五以内ノ滓引減量及貯藏減量ヲ、味淋ハ査定石數百分ノ二以内ノ滓引減量ヲ控除スルコトヲ得第三十三條中「處罰又ハ處分セラレタル者」ヲ「處罰若ハ處分セラレタル者又ハ三年以上引續キ酒類ヲ製造セサル者」ニ改ム

附則

本法ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

酒類製造ノ免許ヲ受ケ本法施行ノ際現ニ酒類製造者タルモノニ限り第五條ノ規定ノ適用ニ付テハ當分ノ内仍從前ノ例ニ依ル酒類製造ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ本法施行前ヨリ引續キ酒類ヲ製造セサルモノニ付テハ第三十三條第一項ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月七日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

酒精及酒精含有飲料稅法中左ノ通改正ス

第二條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スルトキハ一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇毎ニ一圓ノ割合ヲ以テ其ノ石數ニ應シテ造石稅ヲ課ス但シ一石ニ付二十四圓ノ割合ヲ下ルコトヲ得ス

第五條ノ二中「金二十一圓」ヲ「二十四圓」ニ改ム

第二十三條ノ二中「處罰又ハ處分セラレタル者」ヲ「處罰若ハ處分セラレタル者又ハ三年以上引續キ酒精若ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造セサル者」ニ改ム

附則

本法ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料製造ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ本法施行前ヨリ引續キ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造セサルモノニ付テハ第二十三條ノ二第一項ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

麥酒稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月七日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

麥酒稅法中改正法律案

麥酒稅法中左ノ通改正ス

第三條中「金十圓」ヲ「十二圓」ニ改ム

第十九條ノ二中「處罰又ハ處分セラレタル者」ヲ「處罰若ハ處分セラレタル者又ハ三年以上引續キ麥酒ヲ製造セサル者」ニ改ム

附則

本法ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

麥酒製造ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ本法施行前ヨリ引續キ麥酒ヲ製造セサルモノニ付テハ第十九條ノ二第一項ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

所得稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月七日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

所得稅法中改正法律案

(一ハ削除ノ符號ナリ)

所得稅法中左ノ通改正ス

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

第一種 法人ノ所得

甲 合名會社、合資會社 所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ各稅率ヲ適用ス

五千圓以下ノ金額	千分ノ四十五
五千圓ヲ超ユル金額	千分ノ五十五
一萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ六十五
一萬五千圓ヲ超ユル金額	千分ノ七十五
二萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ八十五
三萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百
五萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百十五
七萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百三十
十萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百四十五
二十萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百六十
三十萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百七十五
乙 株式會社、株式合資會社、其ノ他ノ法人	千分ノ七十五
第二種 此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ爲ス公債ノ利子	千分ノ二十、
社債ノ利子	千分ノ三十
第三種 前二種ニ屬セサル所得	所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ各稅率ヲ適用ス
千圓以下ノ金額	千分ノ三十
千圓ヲ超ユル金額	千分ノ四十
二萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ五十五
三萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ七十
五萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ八十五
七萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百五
一萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百二十五
一萬五千圓ヲ超ユル金額	千分ノ百四十五

二萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百七十
三萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ百九十五
五萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ二百二十
七萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ二百四十五
十萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ二百七十
二十萬圓ヲ超ユル金額	千分ノ三百

第四條ノ三中「山林伐採ノ所得」ヲ「山林伐採ノ所得、山林讓渡ニ因ル立竹木ノ所得又ハ立竹木ノミノ讓渡ニ因ル所得」ニ改ム

第四條ノ五中「百圓」ヲ「百五十圓」ニ、「五十圓」ヲ「百圓」ニ改メ「五百圓以下ナルトキハ百五十圓」ヲ削ル

第六條中「四百圓」ヲ「五百圓」ニ改ム

第四十二條中「其ノ年十一月一日ヨリ十五日限」ヲ「其ノ年十一月一日ヨリ三十日限」ニ、「翌年一月一日ヨリ十五日限」ヲ「翌年一月一日ヨリ三十一日限」ニ、「翌年三月一日ヨリ十五日限」ヲ「翌年三月一日ヨリ三十一日限」ニ改ム

第五十條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第八條ノ申告ヲ爲シタル者ハ大正七年ニ於ケル沖繩縣ノ調査委員、補關員及調査委員選舉人ノ選舉ニ關シ第十四條及第十五條ノ規定ノ適用ニ付テハ前年所得稅ヲ納メタル者ト看做シ第二十四條ノ任期ハ大正七年ニ於テ選舉シタル沖繩縣ノ調査委員及補關員ニ限リ三年トス

附 則

本法ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第三種ノ所得ニ付テハ大正七年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

戰時利得稅法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月七日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

戰時利得稅法

(小字ハ修正文、一ハ同削除ノ符號ナリ)

第一條 帝國内本法施行地ニ住所又ハ一年以上居所ヲ有スル者ハ本法ニ依

リ戰時利得稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第二條 前條ニ該當セサル者ハ本法施行地ニ資産又ハ營業ヲ有スルトキハ其ノ利得ニ付テノミ戰時利得稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第三條 戰時利得稅ハ左記各號ノ利得ニ付之ヲ賦課ス

一 所得稅法ニ依リ所得稅ヲ課スヘキ法人ノ利得

二 所得稅法ニ依リ所得稅ヲ課スヘキ第三種ノ所得中俸給、給料、手當、歳費、年金、恩給、退職料ヲ除キタル個人ノ利得

三 船舶又ハ鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ノ賣却ニ因ル個人ノ利得

前項第三號ノ船舶ニハ製造中ノ船舶ヲ含ム

第四條 戰時利得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

一 法人ノ利得 利得金額百分ノ二十

二 個人ノ利得 利得金額百分ノ十五

第五條 法人ノ戰時事業年度所得金額カ平時事業年度ノ平均所得金額ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額中平時事業年度ノ平均所得金額ノ百分ノ二十ヲ超過スル金額ヲ以テ法人ノ利得金額トス

前項利得金額計算ノ場合ニ於テ左記各號ニ該當スルモノアルトキハ各其ノ定ムル所ニ依リ平時事業年度ノ平均所得金額ヲ計算ス

一 何レノ平時事業年度ニ於テモ所得金額ナキトキ又ハ平時事業年度ノ平均所得金額カ平時事業年度ノ平均資本金額ニ對シ年額百分ノ十未

滿ナルトキハ平時事業年度ノ平均資本金額ニ對スル年額百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ平時事業年度ノ平均所得金額トス

二 大正三年八月一日以後第一次ノ事業年度終了シタル法人ニ付テハ戰時事業年度ノ資本金額ニ對シ年額百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ平時事業年度ノ平均所得金額トス

三 戰時事業年度ノ資本金額カ平時事業年度ノ平均資本金額ニ對シ増減アル場合ニ於テハ平時事業年度ノ平均資本金額ニ對スル平均所得金額ノ割合ヲ以テ戰時事業年度ノ資本金額ニ付算出シタル金額ヲ平時事業年度ノ平均所得金額トス此ノ場合ニ於テ第一號ノ規定ノ適用ニ

付テハ戰時事業年度ノ資本金額ヲ以テ平時事業年度ノ平均資本金額ト看做ス

四 平時事業年度ト戰時事業年度ト期間ニ相違アルトキハ戰時事業年度ノ月數ニ應シ月割ヲ以テ平時事業年度ノ所得金額ヲ計算ス

資本金額ノ算定方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 個人ノ所得金額カ大正二年以前二年ノ平均所得金額ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額中大正二年以前二年ノ平均所得金額ノ百分ノ二十ヲ超過スル金額ヲ以テ第三條第一項第二號ノ利得金額トス但シ所得金額中相續財產ヨリ生スル所得アル場合ニ於テハ之ニ對スル大正二年以前二年中ノ被相續人ノ所得金額ヲ相續人ノ所得金額ト看做シ平均所得金額ヲ計算ス

前項利得金額計算ノ場合ニ於テ大正二年以前二年中所得稅法第四條ノ三第三號ノ所得アルトキハ之ヲ除算シ大正七年以後其ノ年分ノ所得中所得稅法第四條ノ三第三號ノ所得アルトキハ其ノ所得金額ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ算定シタル金額ヲ前項ノ平均所得金額ニ加算ス

第七條 船舶又ハ鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ノ賣却金額ヨリ命令ノ定ムル所ニ依リ算定シタル價額ヲ控除シタル金額ヲ以テ第三條第一項第三號ノ利得金額トス但シ其ノ利得金額カ第三條第二號ノ利得ニ屬スルモノナルトキ又ハ利得金額三千圓未滿ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 所得稅法其ノ他ノ法令ニ依リ所得稅ヲ免除セラレタル所得ニ付テハ戰時利得稅ヲ課セス

第九條 第三條第一項第三號ノ利得ニ付納稅義務アル者又ハ第六條第一項但書ニ該當スル所得ヲ有スル者ハ毎年四月中ニ其ノ利得又ハ所得ノ種類及金額ヲ政府ニ申告スヘシ

納稅義務者前條第二項ノ贈與ヲ爲シタルトキハ毎年四月中ニ其ノ金額ヲ政府ニ申告スヘシ

貴族院議事速記第六號

大正七年二月十三日

酒造稅法中改正法律案外四件 第一讀會

八七

第十條 法人ノ利得金額ハ政府之ヲ調査決定シ個人ノ利得金額ハ所得税法

第十一條 所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府之ヲ決定ス

第十二條 利得金額ノ決定ニ對シ審査ノ請求アリタルトキハ所得税法第三

十七條ノ所得審査委員會ノ決議ニ依リ政府之ヲ決定ス

第十三條 利得金額ヲ隱蔽シテ遺税シタル者ハ其ノ遺税金高三倍ノ罰金又

ハ科料ニ處ス但シ自首スル者ハ其ノ税金ヲ追徴シ其ノ罪ヲ問ハス

第十四條 利得ノ調査又ハ審査ニ干與スル者其ノ調査又ハ審査ニ關スル事

項ヲ他ニ漏洩シタルトキハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第十六條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第十七條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第十八條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第十九條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十一條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十二條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十三條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十四條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十五條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十六條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十七條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十八條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二十九條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十一條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十二條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十三條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十四條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十五條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十六條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十七條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十八條 本法ヲ犯シタル者ハ其ノ職ヲ失フモノトス

○國務大臣(勝田主計君) 唯今議題トナッテ居リマスル日程第七、第八、第

九、之ヲ先ヅ簡單ニ説明ヲ致シマス、今回國防計畫ニ付キマシテ其財源ノ補
充ト致シマシテ、酒ニ付キマシテハ大體一石ニ付キマシテ三圓増課イタスト
云フコトニ致シマシタ、ソレカラ造石税ノ外ニ酒精其他ノモノニ付キマシテ
ハ約一割五分ノ程度ニ於テ增收ヲ圖ル、斯様ニ致シマシタ、麥酒税ニ付キマ
シテハ一石十圓ノモノヲ十二圓ニ致ス、斯様ニ致シマシタ、大體ノ所増率ハ
左様デアリマスルガ、多少整理イタシマシタ事柄ガアリマスルノデ、ソレハ
御承知ノ如ク從來酒ノ滓引減量ト云フモノヲ認メテ居ッタノデアリマスガ、貯
藏減量ト云フモノハ認メテ居リマセナシタノデ、ソレ故ニ今回ハ貯藏減量ト
云フモノヲ認メルコトニ致シマシタ、滓引減量ノ百分ノ二ト合シテ百分ノ五
ト云フモノヲ差引イテヤルト斯様ニ致シマシタノガ大體ノ改正ノ趣旨デアリ
マス、之ニ付キマシテ衆議院ニ於キマシテ段々討論ノ結果ト致シマシテ、政
府ガ濁酒ニ付テ多少申上ゲテ居ルト云フコトハ、下層民ノ慰安ノ飲料ニ對シ
テ如何ナモノデアラウカ、是ハ舊來ノ通り差置イタガ宜イデハナイカト云フ
論ガ出マシタ、ソレカラモウ一ツハ焼酎ノ類デアリマスガ、之ニ對シテ政府
ノ提案ハ「アルコホール」含有分量ガ強度デアリマスル爲ニ多少率ガ多クナッ
テ居リマシタノデアリマス、ソレヲデス、矢張り是モ下層ニ於テ使用スル所
ノモノモ多イノデアラカラシテ、一般ニ一割五分ト云フヤウナ率ニ致シタラ
宜カラウ、斯ウ云フヤウナ議論ガ出マシタノデアリマス、段々審議ノ結果ト
シテ衆議院ニ於テ是等ノ論ノアルコトハ政府ニ於テモ亦尤モト考ヘマシテ、
此點ニ付テハ同意ヲ致シマシタ、之ニ依リマシテ政府ガ當初計畫イタシテ居
リマシタ所ノ增收收入カラ申シマスルト約四五十萬圓ノトコロ平年ニ於テ減
ルコトニナル計算ニナリマス、大體酒ノコトハ左様ナコトニナリマス、次ニ
所得税ノ改正デアリマスルガ、所得税法ノ改正ハ法人、個人トモニ大體現今
ノ率ノ二割ノ程度ニ於テ增收ヲシタイト云フノガ、是ガ根本ノ趣意デアリマ
ス、左様イタシマシテ社債ノ利子ヲ千分ノ十引上ゲルト云フコトニ致シマシ
タ、尙ホ所得税ニ付キマシテハ、是モ多少税ノ整理ノ意味ヲ以テマシテ、最
低ノ限度ガ御承知ノ如ク四百圓ニナッテ居リマスノヲ五百圓トシマシテ、五
百圓マデハ詰リ免税ト、斯様ニ致シマシタ、尙ホ千圓以下ノ所得者ニ對シテ
ノ控除金ニ付テモ多少ノ手心ヲ致シマシタ、ソレカラモウ一ツ變ハッテ居リ
マスル事柄ハ法人竝ニ個人ノ最高累進率ノ既定ノモノノ上ニデス、尙ホ一段
ヲ設ケタト云フ事柄デアリマス、是ガ此改正ノ趣旨ナノデアリマス、之ニ付

キマシテ大體衆議院ノ同意ヲ得タノデアリマスガ、唯山林伐採ノ所得ト云フコトニ付キマシテデス、政府ハ御承知ノ通り法律ノ缺陷ヲ補フ爲ニ他ノ勅令ヲ以チマシテデス、規定イタシテ居ル所ノモノガアルノデアリマスガ、其勅令ガ或ハ法律ト牴觸ヲシハシナイカト云フ意味ガアルノデアリマスル、ソコデ寧ロ此勅令ニ規定シテアル所ノモノヲ此法律ノ中ニ書イタ方ガ整理ノ上ニ於テ宜イト云フ意味ヲ以チマシテ、之ヲ所得税法ニ規定ヲ致シマシタ所ガ、衆議院ニ於キマシテハ從來ノ通りデモ宜カラウト、斯ウ云フ大體ノコトデアリマスルノデ、從來ノ通りニ修正ニナリマシタ、此事ニ付キマシテモ政府ハ別ニ之ニ對シテ異議ヲ唱ヘル程ノコトデアリマセメカラ、其儘ニ致シテ置キマシタ、大體所得税法ノ改正ハ左様ナコトデアリマス、戰時利得税ニ付キマシテハ、法人ニ付キマシテモ、個人ニ付キマシテモ、大體ノ立テ方ガ同ジデアリマスルガ、即チ戰前ノ二年ノ所得ノ平均ヲ取リマシテ、戰時ノ所得ト、其差ヲ見マシテ、サウ致シマシテ尙ホ此半年、即チ半年ノ事業、法人デ申セ

バ事業年度ニ二割ヲ増シテ居ルト云フヤウナモノハ是ハ當リ前ノ増加トシテ徴ラナイ、其以上ニ付テ増シテ居ル利得ニ付テ法人ニ付テハ二割、個人ニ付テハ一割五分ト云フモノヲ徴ル、是ガ大體ノ趣旨ナンデアリマシテ、此法律ハ戰後ニハ……詰リ戰ノ續イテ居ル間之ヲ行フ、斯ウ云フ大體ノ趣旨ニナツテ居リマスノデ、之ニ付キマシテ、尙ホ衆議院ニ於テ一ノ修正ガアリマシタ、ソレハ個人ノ所得ノコトデアリマスガ、政府ノ當初提出イタシマシタ所ノ案ニハ個人ノ所得三千圓以下ノモノハ税ヲ徴ラナイ、斯ウ云フコトニ致シテ居リマシタ、所ガ衆議院ノ方ノ論ト致シマシテ三千圓デハ……所得三千圓デハ少シ酷デハナイカ、寧ロ利得三千圓トスル方ガ妥當デハアルマイカ、斯ウ云フ論ガアリマシタノデ、政府モ是等ノ論ヲ參酌イタシマシテ其修正ニ同意ヲ致シマシタ、此同意ノ結果ト致シマシテ戰時利得税ニ於キマシテ政府ノ推算イタシテ居ルモノヨリ約五十萬圓バカリハ減少ニナル積リデアリマス、大體左様ナ筋合ノモノデゴザイマスルガ、何分御審議ノ上ニ御協賛ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵石黒忠恵君 私ハチヨット伺ヒタウゴザイマスガ、此酒税ニ付テゴザイマスガ、政府ハ此日本ノ米ヲ以テ製シマス酒、ソレカラ麥酒若クハ葡萄酒ト云フヤウナモノ、人間ノ體ニ及ボス害ノ關係、若クハ日本人ノ常食ト致シマス米ヲ此釀造ニ向ッテ費スト云フコトヲ省イテ、サウシテカラニ常食ヲ

足スト云フヤウナ趣意ヲ以チマシテ、或ハ弊習ヲ抑制スル、サウシテ米デ拵ヘナイ酒ヲ獎メルト云フヤウナ御考ガアリマスカ、アリマセヌカ、伺ッテ見テ置キタウゴザイマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今ノ石黒男爵ノ御尋ハ御尤ノ御尋ノヤウデアリマスガ、今日ト致シマシテハ御承知ノ如クニ酒造税ナルモノハ財政ノ上ニ於テ重モナル收入ヲナシテ居リマスルノデ、之ヲ詰リ石黒男爵ノ御尋ノヤウナ趣旨ニ致シマスト云フコトニナレバ大ナル財源ヲ失ッテ、種々政府ノ企畫シテ居ル所ノ事柄ハ出來ヌノデアリマシテ、將來ニ於テハ是等ノ點ニ付テハ相當考慮ヲ致サヌナラヌト信ジマスルガ、今日ノ所ニ於テ唯今御尋ノヤウナ事柄ハ政府ハ考慮イタシテ居リマセヌ、實ニ已ムヲ得ザル次第デゴザイマス

○鎌田榮吉君 大藏大臣ニ質問ヲ致シマス、此酒税ノコトニ付キマシテ税率ヲ増シマス結果、今大藏大臣ガ言明セラレタ如ク收入ノ増加ト云フモノヲ來スト云フコトハ無論ノコトデアアル、併ナガラ此税率ヲ高メタ爲ニ果シテ期待スルガ如キ收入ノ増加ヲ得ルモノデアアルカト云フコトニ付テハ定メテ種々御調べガアルコトト思ヒマス、從來ノ經驗ニ依ッテ先ヅ税率ヲ高メタトキハ大抵收入ヲ増スコトニナツテ居ル、併ナガラ近來ノ成行ヲ見マスト云フト、酒ノ消費ト云フモノハ餘リ殖エナイ、人口増加ニ比シテ酒ノ消費ノ殖エ方ト云フモノハ比較的少イ、是ハ今石黒男爵ノ御心配ニナリマシタ點カラ申シマスレバ、誠ニ結構ナコトデアアル、併ナガラ當面ノ目的ハ收入ノ増加ト云フコトガ財政上アルノデアリマス、果シテ其通りノ目的ヲ達シ得ルコトガ出來ルト云フ根據ノアル所ヲ伺ヒタイ、今一ツハ矢張り之ト關聯イタシマシテ、此場合ハ大藏大臣ニ御伺ヒ致シマシタガ今ノ酒税所得税及戰時利得税ノ外ノ色ノ増廢減税案ト云フモノガ衆議院ノ修正ニ依ッテ御撤回ニナリマシタ、其理由ハ一ト通り伺ヒマシタガ、ソレハ政府ガ豫ネテ言明スル所ハ、即チ社會政策及税制整理ト云フ最モ重大ナル目的ヲ達スルガ爲ノ手段デアリマシテ、即チ政府施政ノ方針ト申シテ宜シイ所ノ最モ大切ナ所デアリマスガ、是ハ衆議院ノ修正ニ依ッテ撤回セラレタ、併ナガラ衆議院ガ之ヲ否認シタ譯デハナイ、是認スルケレドモ、本年ハ之ヲ延期スルト云フコトニナリマシタ、其延期ヲスル理由ハ如何ナル理由デアアルカ、勿卒ノ際ニ斯ノ如キ大ナル目的ヲ達スベキ仕事ヲ致シテハ過ガアルカモ知レヌカラ、之ヲ緩ク調査ノ上デ以テ行フト

云フコトデアリマス、其邊ノコトヲ伺ヒタイ、ソレト同時ニ伺ヒタイノハ成ルホド通行税、又ハ其他ノ税ヲ廢スルコト云フコトハ至極宜シイト同時ニ、又頗ル煩瑣ナル所ノ税制ヲ設ケルト云フコトデアリマスガ、元來税制整理ト云フモノハ成ルベク税ノ種類ヲ餘リ煩瑣ニ互ラナイヤウニ、單純ナラシムルト云フコトガ整理ノ目的デナケレバナラス、而シテ能ク是等ノ徵税ノ目的ヲ達シテ煩瑣ニシテ人民ヲ苦シムルト云フコトハ政府ノ税制ノ整理ノ上カラシテ之ヲ除カナケレバナラスト云フコトニ信ジテ居リマスケレドモ、大藏大臣ノ御計畫ニナツタ所ハソレト稍、反シテ居ルヤウニ考ヘル、併ナガラ今撤回セラレタ以上ハ進ンデ強ヒテ其事ヲ伺フノデハアリマセヌガ、果シテ來年ニ至ッテ、矢張り此目的デ同ジヤウナ性質ノ増廢税ヲ行ッテ税制ノ整理、社會政策ナルモノヲ實行セラル、御趣意デアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ッテ置キタイ、此二點ニ付テハ願ハクハ御答辯アラムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 鎌田君ニ御答イタシマス、第一ニ酒ノ税ヲ増スト云フヤウナコトデアレバ、其消費ヲ減ジテ隨ッテ歲入ヲ減ラスト云フヤウナ事柄ガアルデアラウ、此事柄ニ付テ政府ハドウ考ヘテ居ルカト云フヤウナ御問ノヤウニ伺ヒマシタ、大體ニ於キマシテハ鎌田君ノ仰セラル、通リデアリマス、ソレ故ニ今回政府ガ酒ノ税ヲ徵リマスニ付キマシテハ餘ホド用意周到ニ致シテ居リマスルノデ、ト申シマスルノハ、酒ノ消費ハ昨年ノ如キハ約四百六七十萬石ニ上ッテ居ルノデアリマス、ケレドモガ政府ノ立テテ居リマス即チ收入ノ基礎トシテ押ヘテ居リマス所ノモノハ四百萬少シバカリノモノヲ押ヘテ居リマスノデ、尙ホ之ト同時ニ税ヲ上ゲルニ付テモ餘リ之ヲ餘計上ゲルト消費減ト云フノガ立チマスカラシテ、先ヅ從來ノ經驗ニ依リマシテ、三圓位ナラバサウエライ消費減ハアルマイト云フノデ之ヲ三圓ニ致シタノミナラズ、大正十二年ニ至リマスル所ノ財政計畫ヲ立テル上ニ付テモ、凡ソ消費減ハ從來ノ經驗ニ依リマスル所ノ數字ヲ取リマシテ、ソレヲ皆落シテゴザイマス、ソレデ唯今鎌田君ノ御心配ニナツテ居ルヤウナ事柄ハ、今回ノ計畫ト致シマシテハ斷ジテナイト信ジテ居リマス、次ニ政府ガ衆議院ニ提出イタシマシタ増廢減税ノコト、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、税制整理ノコトニ付テノ御尋ネデゴザイマス、政府ガ税制整理ノコトヲ出シマシタコトハ、先刻申上ゲタ中ニモ述ベマシタ如クニ、今回ノ目的ハ何デアルカト言ヘバ、國防充實

ノ爲ニ增收ヲ圖ルト云フコトガ即チ目的デアルノデアリマス、此國防ノ財源トシテ一方ニ於テハ減債基金ヲ流用シ、一方ニ於テハ增收計畫ヲ立テタ、斯ウ云フコトデアリマス、其增收ノ計畫ト云フモノヲ立テマシタ中ニ、増税ノ收入ト云フモノヲ一ツ置キマシタノデアリマス、其増税ノ收入ト申シマスルモノハ、先刻申上ゲル通り增收計畫トシテハ即チ重モニ此所得税並ニ酒ト云フモノニ付テ取ル積リデアリマシタ、併ナガラ政府ノ當初考ヘマシタ所ハ茲ニ增收計畫ト云フヤウナコトヲヤルナラバ、即チ租税ヲ増スト云フヤウナコトヲヤリマスナラバ、一面ニ於テハ矢張り此税制整理ト云フ事柄モ出來得ルダケ致スコトガ當然デハナカラウカ、斯ウ考ヘタノデアリマス、又殊ニ此時局ニ於テ是等ノ税ノ整理ヲ幾分ナリトモ出來得ルモノナラバシタラバドウカト云フコトヲ政府ハ考ヘタ、併ナガラ之ヲ衆議院ニ出シテ見マシテ、段々討論審議ノ結果、衆議院ノ論ハ此時局デアアルカラシテ左様ナモノハ暫ク延バシタラ宜イデヤナイカ、時局ガ濟ンダ後ニ左様ナモノヲヤッタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ論デアリマス、税制整理ヲ致スト云フコトニ付テハ、鎌田君ノ唯今申サレタル如クニ、何レノ部面ニ於テモ反對ハナイノデアリマス、唯政府ガ此時局デアアルカラシ様ナ增收ヲヤルナラバ加味シテヤッタラ宜イデヤナイカト云フコトヲ言フニ對シテ、斯様ナ時局デアアルカラシテ暫ク延シテ吳レタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ詰リ論ノ別目デアアルノデアリマス、左様ナ論ニ付テハ政府ト致シマシテモ、段々以前カラ攷究モ致シテ居リマスノデ、既ニ衆議院ノ多數ガ此税制整理ノ主義ヲ認メテ、其實行ヲ時局ニ鑑ミテ延期スルコトガ得策ナリト、斯ウ云フコトデアアルナラバ政府ト致シテモ、之ヲ固執シテ、何所迄モヤッテ行カナケレバナラスト云フモノデモナカラウ、是ハ他日ノ機會ニ於テ相當ニヤッタラ宜カラウト云フ考ヲ以チマシテ、同意ヲ詰リ致シタ次第デゴザイマス、此廢減税、即チ税制整理ノコトニ付テノ政府ノ意思並ニ衆議院ト政府トノ關係ニ於ケル事情ハ右申シタ通りデアリマス、サウ致シマシテ次ノ御尋ネハ鎌田君ノ御意見ニ依リマスルト、今回政府ガ税制整理トシテ出シテ居ルモノノ中デ、或ハ通行税ヲ廢シ、或ハ石油消費税ヲ廢ス、斯ノ如キモノハ稍、意味アリト認メル、併ナガラ其他ノ税ニ付テハ如何ニモ煩瑣デアツテ、斯ノ如キモノハ税制ノ整理ニ副ハヌヤウデアアル、ト云フノガ詰リ鎌田君ノ御見解ノヤウデアアルノデアリマス、是ハ尙ホ詳細ニ御議論ヲ伺ッテ見ナケレバ私ハ能ク了解イタシマセヌガ、兎ニ角税制整理ト云フ事柄

ハ、尤モ此大小ガアリマス、或ハ厚薄モアリマセウケレドモガ、何ガ一體税制整理ト云フコトデアルカト申セバ、負擔ノ均衡ト云フコトガ即チ一番重イ事柄デ、税ヲ賦課スルコト云フコトニ付テハ、私共ガ常々教ヘラレテ居ル所ニ依ッテモ、公平ニヤッテ行カナケレバナラヌト云フコトガ是ガ税ノ根本原則デアル、サウ云フ以上ハ例ヘバ政府ガ茲ニ砂糖消費税ト云フモノヲ取ッテ居ル、茲ニ砂糖ト同ジ效能ヲ爲シテ、而カモ其範圍ヲ日日侵蝕シツ、アルヤウナ品物ガアツタナラバ、之ニ對シテ税ヲ取ルト云フコトガ即チ税ノ均衡ト申ス上カラ言ヘバ相當ノコトデアリハシナイカ、斯ウ考ヘラレル、又織物税ト云フモノヲ取ッテ居ル、サウ致シマスレバ織物ト同ジヤウニ使用サレル代物ニ付テハ莫大ノ如キハ相當税ヲ課ケルト云フコトガ、是亦當然デハナカラウカト云フ詰リ事柄デアリマスノデ、斯ノ如キモノハ整理ト云フ意味ノ上ニ於キマシテハ、極メテ小サイト云フコトニ言ヒ得ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角税ノ整理ト云フコトハ、斯様ナ種類ノモノガ集ッタモノガ税ノ整理デアラウ、斯ウ思フノデアリマスノデ、將來政府ガ税ノ整理ヲ致スヤウナコトニ付テハ、尙ホ鎌田君ノ御希望ノヤウナル大ナル整理ヲ致スベキ所ノモノガアレバ、是モ出來得ルダケ整理ヲ努メマスガ、右ノ如キヤウナモノモ矢張り其整理ヲスルト云フ以上ハ、整理ヲシナケレバナラヌノデハナイカト云フ考ヲ今日ハ有テ居リマス、大體御答イタシテ置キマス

○鎌田榮吉君 唯今大藏大臣ノ御趣意ノアル所ハ拜聴イタシマシタ、此酒税ノ増率ニ付テハマダ少シク疑ガアリマスガ、唯今ノ御答辯デハ私ノ疑惑ガ氷解イタシマセヌ、ト申シマスノハ從來ノ經驗ニ依ッテ今回ノ如ク増率ヲ致シタナラバ、唯今ノ御説明ノ趣意デアリマスルト、先ヅ増税當年ノ消費減少トカ、或ハ其翌年ノ一部ノ消費減少ト云フコトハ既ニ見込デ居ル、是ハ永久ニ收入ノ増加ヲ來タスモノデアアル、斯ウ云フコトニ伺ヒマシタ、無論其増税ヲ致ストキハ其考デ致スノデアリマス、併ナガラ近年ノ形勢ヲ見マスルト、隨分此酒ガ高イ、酒ガ高イカラ飲マヌト云フコトハ誠ニ國民ノ保健上結構ナコトデアリマスケレドモ、收税徵税ノ上カラ言フト餘リ喜バシクナイ、今日酒ノ消費ガ人口増加ニ比シテ、酒ノ消費ガ相變ハラズ四五百萬石、舊幕府時代モ四百萬石ノ酒ヲ消費シテ居ル、今日ハ調査ガ嚴密ニナッテ人口ガ當時ノ倍ニナッタニモ拘ラズ、矢張り四百萬石ノ程度ニ止ッテ居ルト云フコトハ種々ノ原因ガアリマセウ、種々ノ原因ガアリマスガ、又一方カラ申セバ道德上、保

健上結構ナコトデアアルガ、矢張り此税ノ非常ニ高イト云フコトガ、此消費ノ増加シナイ原因ニナッテ居ルト私ハ考ヘマス、其證據ニハ下層社會ノ者ノ非常ニ酒ヲ好ム者ノ狀態ヲ見マシテモ、元ト一合飲ンダ者ガ一合飲ンデモ迎モ今ノ酒ヲ……唯清酒ヲ飲ンデ十分ニ酔ヲ買フコトガ出來ナイノデ、此「アンベラ」カラ榨ッタ「ブランデー」ノヤウナ非常ニ猛烈ナモノニ水ヲ混ゼテ飲ムヤウナ習慣ガ段々起ッテ來テ居ル、是非酔ヲ買ハナケレバナラヌガ、到底十分ナル酒ヲ飲ンデ酔フダケノ錢ハ拂ヘナイト云フヤウナ譯デ、斯ウ云フヤウナ譯デ酒ノ消費ト云フモノハ減ル、シテ見レバ増税ノ爲ニ、増税當年ノ減收ト云フモノガ長ク減收トナル、是ガモウ程度ヲ超エテ居ル、其上ニ増收スルト尙ホ徵税ガ困難ニナル、或ハ極端ニ申スト減税ヲシタ方ガ政府ノ收入ガ殖エハシナイカト私ハ反對ニ考ヘテ居ル位デアアル、併ナガラ今大藏大臣ノ御説明ハサウ云フ根據ノ上ニ増率ニナッタト云フナラバ御趣意ハ分リマシタ、ソレト税制整理、是ハ負擔ノ均衡ト……ハ無論負擔ノ均衡ハ税制整理即チ税法ノ上ニ最モ大切ナコトデ、十分ニ權衡ヲ得、公平ニナラナケレバナラヌ、併ナガラ徵收ノ便宜ト云フコトモ考ヘナケレバ、徒ラニ徵稅費ト云フモノガ殖エルバカリニナッテモ實入リガ少イ、現ニ今若槻君ニ御答辯ニナリマシタ通り、今年度一年度ノ缺陷ハ徵收費ガ浮イテ來タカラ一部分ハ理合セルコトガ出來ル、其位ニ徵稅費ガ要ルノデアアル、税ヲ取ラナイ代リニ徵稅費ガ減ッテ來ル、ソレデ缺陷ノ一部ヲ補ハレル、サウシテ見ルト税モ取レルガ、一方ニ徵稅費ガ掛カル、何故ニ斯ノ如キ多額ナ徵稅費ヲ要スルカト云ヘバ、即チ煩瑣ナル税ヲ取ルト云フコトハ即チ一項目ニ付テ收入ノ少イ三十萬トカ四十萬トカ云フ税マデ取ルト云フコトダカラ、徵稅費ガ多ク要ルト云フコトニナル、殊ニ間接税ニ於テハ必シモ物アレバ必ズ税ヲ課スルト云フ主義ニ依ラズトモ、或税ニ轉嫁スル所ノ税法ヲ旨ク考ヘテ、或物ニ成ルベク單純ニ税ヲ課シタナラバ、一般ノ者ガソレヲ負擔スルト云フコトニナッテ、例ヘバ砂糖ニ税ヲ課シマシテモ、一般ノ人民ガ富ノ程度ニ從ッテ砂糖ノ消費額ニ等差ガアルモノナラバ、ソレニ依ッテ消費税ヲ拂ッテモ、砂糖ニ課ケタカラ必ズ密ニ課ケナケレバナラヌ、餉ニモ課ケナケレバナラヌ、國民一體ニ課ケル、本綿ニ課ケル以上ハ必ズ「メリヤス」ニモ課ケナケレバナラヌト云フコトハ私ハナイヤウニ思フ、サウシテ見レバ成ルベク税目ヲ簡單ニシテ而シテ便宜ニ徵收スル、費ヤス所少クシテ得ル所ノ多イト云フ税種ヲ撰擇セラル、コトガ、私ハ税制整理ノ本旨ダラ

ウト思フ、是マデ又外國ノ例ナドヲ見マスト云フト、隨分煩雜ナ稅ヲ課ケル、何デモ物アレバ必ズ稅アリト云フヤウナノハ、國民トシテハ實ニ是ハ堪ヘラレナイノデアル、又手數ヲ要スル、政府ニ於テモ手數ヲ要シ費用ヲ要シ、之ヲ負擔スル人民ニ於テモ非常ニ煩雜ナル手數ヲ要シ、又時間ヲ費ヤスコトガ多イノデアリマスカラ、總テノ物ヲ成ルベク物品ノ上カラ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ稅制整理ハ、私ハ稅制整理ニ非ズシテ、益、稅制ヲ紛糾セシムルト云フコトニナルダラウト常ニ考ヘテ居ル、然ラバ今回ノ増稅案ガ失敗ニ終ッタコソ幸ヒデアル、將來ニ於テ稅制ヲ整理スルト云フニハ、成ルベク稅種ヲ簡單ニシテ而シテ一般ニ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ、而シテ徵稅ノ便宜ヲ圖ラレルト云フ方針ヲ御取リニナラナイト云フト、私ノ考デハ非常ニ害多クシテ利ノ少イコトカト考ヘル、是ハ私ノ希望デアリマス、希望ハ是マデ餘リ成立シマセヌヤウデアリマスケレドモ、併ナガラ何レ來年ナリ時局ノ關係上此事ハ御實行ニナルノデアリマセウカラ、此事ニ付テハ私ハ若シ今日マデ御取リニナッタヤウナ方針デアルト、遺憾ナガラ反對シナケレバナラスト考ヘマス、併シハ將來ノコトニナリマスカラ、別段敢テ申ス譯デハアリマセヌガ……

○鈴木總兵衛君 大藏大臣ニ質問イタシマス、戰時利得稅ノ個人ニ對スル割合ガ十五、法人ニ對シテハ二十、此區別ガアル、是ハ如何ナル權衡カラ斯ノ如クニナッタモノデアルカ、次ニ政府ノ見積リデハ本年度ハ……（聽取リ難シ）昨年度ニハ三千五百萬圓位ノ見積ト想像シテ居ル、世間ニハ七八千萬圓或ハ一億圓以上ニモ至リハセスカト云フ說モアリマスガ、ソレニ付テハ如何ナル御考デアリマスカ、其二點ガ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（勝田主計君） 戰時利得稅ノ收入ニ付キマシテ、世間ニ色々ナ調査竝ニ論ノアルト云フコトモ承知イタシテ居リマス、只今鈴木君ノ御話ノコトハ矢張り此御意味ガ重モナコトダラウト思ヒマスルガ、是ハ一應政府ノ調査ヲ申シテ置カナケレバナリマセヌノデ、政府ガ此戰時利得稅ノ收入額ノ豫算ヲ作リマスルトキハ、即チ昨年ノ八九月頃カラシテ調査ヲ始メタ譯ナノデアリマシテ、茲ニ豫算ヲ出スト云フコトデアリマスレバ、精確ナ基礎ニ依ッテ出サナケレバナラス、サウ致シマスレバ此利得稅ニ付テ何處ヲ押ヘルカト申セバ、大正五年ノ利得ニ付テ押ヘテ行カナケレバナラスト云フコトハ申スマデモナイコトダラウト思ヒマス、此大正五年ノ利得ニ付キマシテ全國ノ稅務

署其他ヲシテ十分ナル調査ヲセシメタ結果ガ、今回豫算ニ計上シタ數ニナッテ居リマスルノデ、之ニ付キマシテ如何ニモ其額ガ少イデヤナイカト云フ仰セガ、段々アルノデアリマス、尤モ大正五年ノ利得ヲ押ヘテアリマスルカラシテ、大正六年七年ト云フ此等ガ經濟上ノ狀態ガ良好ニシテ其利得等ガ多少多イト云フコトカラシテ、之ニ幾分ハ増スデアラウト云フ考ハ政府ハ持ッテ居リマス、併ナガラ世間ガ言フ如クニ三千二百萬圓ト政府ガ計算シテ居ルモノガ、是ガ一億ニモナリ一億以上ニモナルト云フヤウナ事柄ハドウシテモ想像ガ出來ナイノデアリマス、現ニ左様ナ說ヲ致サレル方ニ就イテ色々伺ッテ見マスルト云フト、多少政府ト此計算ノ點ニ付テモ、見ル所ヲ異ニシテ居ルヤウナコトデアリマスルノデ、五年度ノ利得ヲ押ヘテ居リマスル以上ハ、茲ニ多少ノ増加ヲ致スト云フコトハ是ハアルダラウト思ヒマスルガ、世間ノ言フ如クデス、一億若クハ一億以上ノ増加ガアルト云フヤウナコトハ、今日ト致シマシテ政府ハ考ヘテ居リマセヌデゴザイマス、ソレカラ法人ト個人ニ付キマシテノ課稅ノ率ノ相違ニ付テノ御話ガアッタヤウデアリマスガ、此事ニ付キマシテハ尙ホ詳細ハ、委員會等ニ就イテ政府委員等ヨリ述べマセウガ、大體ニ於キマシテハデス、個人ノ利得ニ付キマシテハ法人ニ較ベマスルトデス、各種ノ點ニ於テ計算上ノ利益ナ點ガ大分アルノデアリマシテ、ソレ故ニデス、之ヲ達觀上法人ヨリカハ個人ノ方ニ率ヲ少クシテ、之ガ適當デアラウト云フノデ法人ヲ二割、個人ヲ一割五分ニ致シマシタノアリマス、何レ詳細ノコトハ委員會デ能ク内容ヲ……

○議長（公爵徳川家達君） 諸君ニ御諮リヲ致シマス、唯今問題ト致シマシタ法案ハ、同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○阪本鈺之助君 極ク簡單ナコトデアリマスガ、チヨット御尋ネ致シタイ、此戰時利得稅法ノ附則ニ依リマス、本法ハ小笠原島及伊豆七島ニ之ヲ施行セスルトアリマス、唯今普通ノ所得稅法ヲ持チマセヌカラ、普通ノ所得稅法ガ是等ノ所ニ施行サレテ居ラヌノデアルカ知リマセヌガ、ドチラニシテモ、伊豆七島ノ中デモ八丈島ナドハ中々可ナリ開ケテ居リマス、之ヲ鹿兒島縣ノ離島、沖繩縣下ノ離島ニ比シマスレバ、其霄壤ノ差ガアルト思ヒマスガ、是等ハ矢張り施行サレテ、東京ニ近イ伊豆七島ノ如キモノガ、施行サレナイト云

フノハドウ云フ譯デスカ、チヨツト御尋ネヲ致シマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 戰時利得税ノ總テノ規定ハ、所得税ガ根基ニナツテ居リマスノデ、所得税法ニ於テ唯今阪本君ノ仰セラレタヤウナモノハ除外サレテ居リマスノデ、戰時利得税法ニ於テモ、之ヲ除外イタスコトニ致シマシタ、或ハ極メテ具體的ナル問題ニ對シテハ、唯今阪本君ノ御心配ノヤウナコトガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ是ハ法制ヲ定メル上ニ於キマシテハ、大體ヲ見ナケレバナリマセヌノデ、詰リ所得税ト權衡ヲ取リマシテ、斯様ニ規定ヲ致シマシタ次第デゴザイマス

○男爵高木兼寛君 唯今議ニ付セラレタル法案ノ委員ハ十八名トシ御指名アラムコトヲ願ヒタイ、之ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵石黒忠恵君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 高木男爵ノ、委員ノ數ヲ十八名トスルト云フ說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

酒造税法中改正法律案外四件特別委員

伯爵柳澤保惠君	子爵稻垣太祥君	子爵青木信光君
子爵前田利定君	男爵中川興長君	大久保利武君
男爵村上敬次郎君	山本達雄君	男爵武井守正君
谷森眞男君	若槻禮次郎君	橋本圭三郎君
菅原通敬君	伊澤多喜男君	桑田熊藏君
田中源太郎君	鈴木總兵衛君	美馬儀一郎君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、臨時國庫證券法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

臨時國庫證券法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

臨時國庫證券法中改正法律案

臨時國庫證券法中左ノ通改正ス

第二條中「二億圓」ヲ「五億圓」ニ改ム

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今議題トナツテ居リマス法律案ハ先刻私ノ演說中ニモ申シテ置キマシタ如クニ、爲替ノ調節ノ必要ノ爲メ、竝ニ軍需品代金決済ノ必要ノ爲ニ、臨時國庫證券ノ從來ノ最高限額二億圓ヲ高メマシテ、五億圓ト致シタイト云フ事柄デアリマス、ドウカ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔河井書記官朗讀〕

臨時國庫證券法中改正法律案特別委員

伯爵松平頼壽君	子爵三島彌太郎君	男爵阪谷芳郎君
男爵伊東義五郎君	男爵小早川四郎君	福永吉之助君
武石橘次君	鎌田勝太郎君	堀正一君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、貨幣法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

貨幣法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

貨幣法中改正法律案

貨幣法中左ノ通改正ス

第五條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 銀貨幣

五十錢純銀八百分參和銅二百分

二十錢十錢純銀七百二十分參和銅二百八十分
第六條第四號乃至第六號ヲ左ノ如ク改ム

四 五十錢銀貨幣 一匁八分

五 二十錢銀貨幣 八分

六十 錢銀貨幣 四分

第十條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 銀貨幣五十錢ハ每片一厘八毛一千枚毎ニ九分二十錢ハ每片一厘二毛
一千枚毎ニ六分十錢ハ每片八毛一千枚毎ニ四分トス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從來發行ノ銀貨幣ハ從前ノ通通用スヘシ

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今ノ議題トナッテ居リマス法律案ハ、補助銀貨ヲ改造ヲ致シタイト云フ事柄デアリマス、御承知デ在ラセラル、如クニ、時局ノ爲ニ銀ノ變動ガ頗ル激シクゴザイマシテ、殊ニ一時ハ五十四「ペンス」ト云フヤウナ高イ値段ヲ現ハシタコトナドモゴザリマスルノデ、即チ言葉ヲ換ヘテ申セバ、是等ノ補助貨ハ鑄潰シ點ニ詰リ來テ居ル譯ナノデアリマス、左様ナコトデアリマスカラ、將來ヲ考ヘマシテモ我國ノ補助銀貨ニ付キマシテ、其點ニ付キマシテハ餘程考慮ヲ加ヘナケレバナラヌト思ヒマスルノデ、今回貨幣法ヲ改正ヲシテ、五十錢二十錢十錢ト云フヤウナ、此補助銀貨ノ改造ヲ圖リタイト云フノガ、此法案ノ骨子デゴザイマスノデ、御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○阪本鈔之助君 チョット御尋ヲ致シタイトデアリマスガ、唯今現ニ出テ居リマス五十錢以下ノ銀貨ト云フモノハ、ドレダケアルノデアリマスガ、又將來本案ガ通過シタ上、御出シニナル所ノ小貨幣ハドノ位ノ額ヲ御出シニナル御積リデアリマスガ、本員ガ考ヘマス所デハ、左ナキダニ銀貨ヲ近頃出シ惜ム風潮ガ現ハレテ、現ニ補助貨ヲ得ルノ困難ナルコトハ目ノ前ニ見タノデアリマスガ、現ニ是カラ出ル所ノ貨幣ト、從來ノ貨幣ト對照シテ見レバ、如何ナル下級ノ人デモ直チニ大小ガ分リマスノデ、是ハ大キナ方ハ取ッテ置ク方ガ得デアル、若クハ大キナヤツハ鑄潰シヲシタ方宜カラウト云フ考ノ出ルノハ、洵ニ見易キコトデゴザイマス、鑄潰シ溶解ニ付テハ太政官ノ布告ヤ大

藏省令モ出テ居リマスノデアリマスガ、其法令ハ貨幣ヲ内々鑄潰スナドト云フコトニ、十分ナル效力ガアルトハ思ハレヌノデアリマス、加之此小紙幣ガ近頃發行サレテ居ルノデアリマスガ、若シ現在ノ發行シテ居ル銀貨ノ在ル上ニ、是カラ小サイ銀貨ガ澤山出來ル、ソレヘ持ッテ行ッテ小紙幣ガ平和克復後一年內マデハアルト云フコトニナルト、小貨幣ノ流通ガ非常ニ多クナッテ、物價騰貴ト云フコトニ影響シハセヌカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、無論慎重ノ御詮議ガアッタコトト思ヒマスカラ、唯今申シマシタ點ニ付テ、我々ノ了解シ得ルダケノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 補助貨ノ流通高ハ現今大約一億二千五百萬圓バカリデアリマス、サウ致シマシテ此補助貨ガ幾ラ流通シ得ルヤ否ヤト云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ大體經濟上ノ趨勢ニ依ッテ極ル事柄ナノデアリマス、阪本君ノ御心配ノ點ハ第一ニハ既ニ補助貨ノ發行サレテ居ルモノガアル、今回又補助貨ヲ發行スルト云フコトニナリマスレバ、補助貨ガ多クナリハシナイカト云フコトガ一つト、ソレカラモウ一つハ大キナ補助貨ト小サイ補助貨ガ出ルト、大キナ補助貨ト云フモノハ使用ヲ客マレハシマイカト云フヤウナ、御心配デアッタヤウデアアルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ第一ノ事柄、即チ此補助貨ノ多寡デゴザイマシテ、是ハ一般ノ經濟市場ノ狀況ニ依ッテ大體決マルノデアリマス、サウ無暗ニ補助貨ヲ又出スベキモノデアリマセヌ、併シサウカト申シテ市場ガ之ヲ要求スルノニ付キマシテ、補助貨ヲ出サヌ譯ニモ參リマセヌノデ、ソレハ市場ヲ常ニ見テ居リマス政府ガ、相當ニ緩急ヲ圖ッテ卷舒シナケレバナラヌ事柄デアラウト思フノデアリマス、次ニ大ナル補助貨ト小ナル補助貨トノ關係ノコトデアリマスルガ、是ハ或ハ無識ノ階級ニ行キマスルト、阪本君ノ御心配ニナルヤウナ事柄ハ多少アルダラウト思ヒマス、併ナガラ阪本君モ既ニ仰セラレマシタ如クニ此補助貨ノ鑄潰シ等ニ付テハ、ソレトノ制裁ガアルノデアリマシテ、左様ナコトハ取締ヲ致シテ居リマスカラ出來ナイ、是ガ出來ナイト致シマスレバ、大キナ物ヲ取ッテモ小サイ物ヲ持ッテ居リマシテモ、詰リ其表價ダケシカ價格ガナイト云フコトデアリマスレバ、大體ニ於テ左様ニ御心配ニナル程ノコトデモソレハナカラウト思フノデアリマス、ソレカラ補助紙幣ノコトデアリマスルガ、是ハ既ニ當院ニ於カレマシテ御審議下サイマシタコトデアリマスルガ、是モサウ無暗ニ出

スト云フノデアリマセヌノデ、即チ今日ニ於テ補助貨ガ缺乏ヲ致シテ居ル、此缺乏イタシテ居ル補助貨ヲ補足スルニ補助貨ヲ以テスルト云フ事柄ハ、一面ニ於テ貨幣法改正ノ考モアルノミナラズ、造幣ノ能力ニ於テモ足ラス、ソレ故ニ取引ノ圓滑ニセシムル爲ニ彼ノ小紙幣ヲ出シタト云フコトデアリマシテ、是モ詰リ市場ノ需要ニ應ジテ適宜ニ政府ハ出スコトニ致シテ居リマスカラ、是ガ發行ニ付キマシテハ、既ニ御承知ノ通りニ永久出ス譯デハゴザイマセヌ、戰サガ濟ミマシレバ一年ノ間經過イタシマシレバ、モウ出サスト云フコトデ、ソレノ回收シテ整理ヲ致シマスル次第デアリマスカラ、御心配ノヤウナ事柄ハ起ッテ來ナイト、政府ニ於テハ堅ク信ジテ居リマス

○阪本鈔之助君 略テ了解シマシタガ、唯今チヨット伺ヒ漏シマシタガ、銀ノ相場ト云フモノハ始終高低ガアルモノデアアル、其高低ノ度毎ニ貨幣ノ量目ガ變化ヲ來スト云フコトハ甚ダ困ッタモノデアリマス、尤モサウ屢々ナサル譯デハアリマスマイガ、唯今ノ銀ノ相場ト云フモノハ詰リ永久ニ下ル見込ハナイ、唯今ノ量目デ決メテ置ケバ先ヅ以テ永久ノ銀相場ト云フモノハ變ハラスト云フ御見込ガ立ッテ居リマスカ、又唯今ノ御説明ニ依リマシテ鑄造シハサウ澤山アルマイ、斯ウ云フ御斷定ノヤウデアリマス、果シテ其言ヲ信ジマシレバ、一億二千五百萬圓ニ近イ所ノ小貨幣ガ出テ居ル、ソレハ幾ラカ市場ノ狀況ヲ斟酌スルト仰ッシャイマスガ、既ニ出來得ル以上ハ衆議院ニ於テ御答辯ニナッタヤウデアリマスガ、段々御出シニナル御考デアリマセウ、サウシテ小紙幣ハ衆議院デ御答ニナッテ居ル所デ見ルト一億四五千萬圓マデ出スト云フヤウデアリマス、ソレハ素ヨリ必要ニ應ジテ緩急ハゴザイマセウガ、大體場合ニ依ッテハ一億四千萬圓マデハ小紙幣ハ出シ得ルモノデアアル、サウシテ其三ツノモノガ一時ニ寄合ッテ來ルト云フコトニナレバドウシテモ今日マデヨリ補助貨幣ノ流出若クハ汪溢スルコトガアリハシナイカト思フ、ドウシテモ是ガ矢張り小商ヒノ物價騰貴ノ手傳ヲシハセスカト深ク氣遣フノデアリマス、我々ガチヘマスルニ小貨幣ハ金融界デハ小紙幣ノ發行ガ止ムトキニ初メテ實行サレル、唯今丁度小紙幣ト從來ノ銀貨トヲ以テ市場ノ用ヲ達シテ居ルト云フコトハ極ク適當ナ處置デハナイカ、是ハ意見デアリマス、唯今申述ベタヤウニ銀ノ價ニ付テノ御見込ト、又一時ノ作用デ物價ノ影響ハナイト云フ御確信ガアルカ否ヤ、此二點ヲモウ一應伺ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 此際議長ハ會議ノ時間ノ延長ヲ宣告イタシマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 御答イタシマスルガ、銀ノ價格ニ付テハ勿論高低ガアリマスルガ、今日ヨリ此銀ノ前途ヲ豫見シテ見マスルト遠キ將來ハ率ザ知リマセヌガ、銀ガサウ下ガルト云フヤウナ事柄ハナイデアラウト考ヘテ居リマス、其詰リ觀察ノ下ニ於テ今回ノ改正ヲ致シマスルノデ、御承知ノ通りニ在來ノ我國ノ舊補助銀貨、是ノ鑄造シ點ガ三十三「ペンス」幾ラト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ新銀貨ノ、今度出ス方デハナイ、一ツモウ既ニ出テ居ル新銀貨、是ガ四十三「ペンス」幾ラ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、然ルニ先刻申上ゲマシタ如クニ、銀ノ時價ガ五十四五「ペンス」ニナッテ居ルノデアリマス、今回ハ之ヲ外國ノ例ニモ大體參照シテ見マス、要スルニ六十四五「ペンス」此位ノ所デ相當ナル回收ヲ實行イタシテ居リマスカラ、是マデノ歴史等ニ鑑ミマシテモ、是レ以上ニ詰リ銀ガ上ガルト云フヤウナ事柄モナイデアラウ、ト云フ大體ノ信念カラ致シマシテ、此案ヲ提出イタシマシタノデアリマス、又此補助貨ナリ或ハ補助紙幣ノ多クナルガ爲ニ物價ニ影響ヲ致シテ非常ニ困ルコトハナイカト云フ御心配ニ付キマシテハ、是ハ餘程研究モノナンデアリマス、其問題ヲ考ヘマスト云フト、斯ウ云フコトニナリマス、今回ノ物價騰貴ト云フコトハ通貨ガ多イ爲ニ物價ノ騰貴ヲ來シテ居ルカ、詰リ物價ガ騰貴シタ爲ニ通貨ガ多クナッテ居ルカト云フ、此所ハ矢張り微妙ナ實ハ問題ナンデアリマス、兎ニ角今日ノ所ニ於キマシテハ、此時局ノ影響ヲ受ケマシテ、商工業其他ノ般賑ヲ極ムル結果トシテ、補助貨ガ非常ニ拂底イタスノデアリマス、又之ヲ假ニ今日出テ居リマスル日本銀行ノ兌換券其他ノ比例カラ致シテ見マシテ、ドウシテモ六七千萬圓位ハ補助貨ガ殖エナケレバチヨット補助貨ト其他ノ通貨トノ割合ガ取レナイト云フ狀況ニナッテ居リマスノデアッテ、此際多少ノ補助貨ヲ増スト云フコトハ誠ニ已ムヲ得ザル次第デアラウト思フノデアリマス、併ナガラ是等ノ關係ヨリ致シテ、若シ此物價ノ騰貴ト云フコトヲ誘致スルト云フ弊害ガ甚シキニ於キマシテハ又之ニ付テノ相當ノ措置ヲ執ラナケレバナラスト思ッテ居リマス、要スルニ是ハ其時ノ事情ニ依リマシテ、臨機ノ措置ヲ執ッテ唯今阪本君ノ御尋ネノヤウナ弊害ノ生ジナイヤウニ致ス外、致方ハアルマイカト斯様ニ考ヘテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

貨幣法中改正法律案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵八條 隆正君 男爵北島 齊孝君
男爵坪井 九八郎君 男爵二條 正磨君 石井省一郎君
鮫島 武之助君 福島文右衛門君 高崎 三重郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十四、登録稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

登録稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年二月九日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長大岡育造

登録稅法中改正法律案

登録稅法中左ノ通改正ス

第六條第三項乃至第五項ヲ削ル
第十九條ニ左ノ一號ヲ加フ

五 産業組合、産業組合聯合會、産業組合中央會、漁業組合又ハ漁業組

合聯合會ニ付産業組合法又ハ漁業法ニ基キテ爲ス登記

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 登録稅法中改正案ノ趣旨ハ第三十九議會ニ於キマシテ、政府ハ産業組合ノ發展ヲ圖ル爲ニ法案ヲ提出イタシマシテ皆様ノ御協賛ヲ經タノデアリマス、尙ホ此産業組合ノ發展ニ付キマシテハ、種々ナル方面ヨリシテ之ヲ助長サセタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、即チ産業組合ナルモノニ對シマシテハ此登録稅ヲ免除シタイト云フノガ此法案ノ精神デアリマス、既ニ登録稅ヲ産業組合ニ付テ免除イタシマスル以上ハ、之ト同様ナル所ノ公益ノ財團トカ法人トカ云フ如キモノモ矢張り同時ニ登録稅ヲ免除シタラ宜カラウト云フ事柄ガ即チ此案ノ骨子ニナッテ居ル次第デゴザイマス、御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

登録稅法中改正法律案特別委員

伯爵松平 直之君 子爵西大路 吉光君 子爵板本 武憲君
子爵秋月 種英君 阿部 浩君 荒川 義太郎君
男爵青山 元君 男爵東郷 安君 星島 謹一郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十五、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年二月九日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長大岡育造

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

遠洋漁業獎勵法中左ノ通改正ス

第一條中「二十萬圓」ヲ「三十萬圓」ニ改ム

第三條 主務大臣ハ遠洋漁船檢査規定ニ定ムル構造ニ適合シタル日本船舶ヲ以テ遠洋ニ於ケル漁獵業又ハ漁獲物處理運搬業ニ從事スル者ニ對シ業務ノ種類、場所、期間若ハ方法又ハ漁獲物ノ處理若ハ販路ニ付條件ヲ附シ漁業獎勵金ヲ下付スルコトヲ得但シ其ノ總額ハ第一條ニ依ル豫算定額ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 削除

第五條第一項各號ヲ左ノ如ク改ム

- 一 船體總噸數每一噸 四十五圓
- 二 蒸汽機關實馬力每一馬力 二十二圓
- 三 發動機關純馬力每一馬力 三十圓
- 四 冷藏機械冷却力製氷量每一噸 千五百圓
- 五 副漁具 評價額ノ十分ノ三

同條第三項及第四項ヲ左ノ如ク改ム

主務大臣ハ漁船ノ改良ニ關シ適當ト認メタル設計ニ依リ日本船舶ヲ新造シ又ハ新造セシメタル船舶所有者ニ對シ其ノ船舶新造費ノ三分ノ一以內ノ漁船獎勵金ヲ下付スルコトヲ得但シ其ノ總額ハ第一條ニ依ル豫算定額ノ十分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ船舶新造費ハ冷藏機械及副漁具ノ新造費ヲ包含ス

同一ノ船舶ニ付第一項及第三項ノ漁船獎勵金ヲ併セ下付スルコトヲ得ス

第六條中「第三條第一項又ハ第五條」ヲ「前條」ニ改ム

第七條 漁業獎勵金ヲ受クヘキ者第三條ノ條件ヲ履行セサルトキ又ハ每業務期間ニ於テ其ノ業務ニ從事スルコト業務期間ノ四分ノ三ニ滿タサルト

キハ主務大臣ニ於テ正當ノ事由ニ因リ已ムヲ得サルモノト認ムル場合ニ限リ獎勵金ノ全部又ハ一部ヲ下付スルコトヲ得

第十一條 遠洋漁業ノ指導監督又ハ遠洋漁業練習生ノ養成ノ爲必要ナル費用ハ第一條ニ依ル豫算定額中ヨリ之ヲ支出スルコトヲ得但シ其ノ總額ハ豫算定額ノ十分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス

主務大臣ハ必要ト認メタル場合ニ於テ營利ヲ目的トセサル法人ニ對シ遠洋漁船船員ノ養成又ハ遠洋漁業者若ハ海外出漁者ノ利益増進ノ爲第一條

ニ依ル豫算定額中ヨリ其ノ十分ノ一以內ヲ下付スルコトヲ得但シ必要ナル船舶ヲ新造スル場合ニ於テハ其ノ新造費ニ充ツル爲之ヲ超エサル限度

ニ於テ更ニ十分ノ二以內ヲ下付スルコトヲ得

第二十一條 本法ハ大正二十二年三月三十一日迄效力ヲ有ス

第二十二條ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前獎勵金下付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ獎勵金ニ關シ仍從前ノ例ニ依ル

〔國務大臣仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仲小路廉君) 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、今日ノ場合ニ於キマシテ、我ガ水産業ノ發達ヲ獎勵イタシマスルコトハ最モ大切ナコトト存ジマス、就中遠洋漁業ノ獎勵ハ目下ノ場合最モ必要ト存ズルノデアリマス、然ルニ今日迄實行サレテ居リマスル遠洋漁業獎勵法ハ最早有効期間ガ前途僅ニナツテ參リマシタ、今日ノ場合甚ダ必要デアリマスルカラ、此有効期限

ヲ更ニ向ウ十五箇年延長イタシマシテ、ソレト同時ニ今日迄ノ金額ハ二十萬圓ヲ限度トシテ居リマシタガ、更ニ其額ヲ殖ヤシマシテ三十萬圓ヲ最高額ト致シテ、之ト同時ニ今日迄ノ實驗ニ徴シマシテ、内容ニ變更ヲ致シマシテ、新規ニ漁場ノ開拓ヲ致シマスル場合デアリマスルトカ、或ハ海外ニ販路ヲ擴張イタシマス場合デアリマスルトカ、或ハ大型船舶ヲ用ヒマスル場合デアリマスルトカ、或ハ海外ニ出漁シテ種々改善ノ方法ヲ採ル團體等ニ獎勵金ヲ交付イタシタイト云フ考デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

遠洋漁業獎勵法中改正法律案特別委員

伯爵松 浦 厚君 子爵小笠原 勁一君 男爵肝付 兼行君

男爵平 野 長 祥君 男爵長松 篤 葉君 藤田 四郎君

木場 貞長君 室田 義文君 日高榮三郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十六、軍用自動車補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

軍用自動車補助法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

(小字ハ修正文)

軍用自動車補助法

第一條 政府ハ豫算ノ範圍內ニ於テ陸軍ノ軍用ニ適スヘキ自動車ノ製造者

又ハ所有者ニ對シ補助金ヲ下付スルコトヲ得

前項ノ製造者又ハ所有者ノ其ノ自動車ニ關スル業務ノ承繼人ハ之ヲ前項

ノ製造者又ハ所有者ト看做ス

第二條 補助金ヲ受クルコトヲ得ヘキ製造者又ハ所有者ハ帝國臣民又ハ帝

國臣民ノミヲ社員若ハ株主トシテ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニシテ

帝國内ニ於テ自動車製造所又ハ自動車ヲ有スルモノニ限ル

前項ニ掲クル者ノ外公共團體ニハ補助金ヲ下付スルコトヲ得

製造者及製造所ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 補助金ヲ受クルコトヲ得ヘキ自動車ハ主務大臣ノ定ムル規定ニ依リ製造シタルモノニシテ主トシテ貨物ノ運搬ヲ目的トシ一英噸以上ノ積載量ヲ有スルモノ又ハ之ニ改造シ得ヘキモノニ限ル

第四條 製造者ニハ其ノ製造ニ係ル自動車一輛ニ付二千圓以内ノ製造補助金ヲ下付スルコトヲ得

製造者其ノ製造ニ係ル新ナル自動車ニシテ製造補助金ヲ受ケタルモノヲ所有シテ使用シ又ハ他人ヲシテ使用セシムル場合ニ於テハ自動車一輛ニ付更ニ五百圓以内ノ増加補助金ヲ下付スルコトヲ得

第五條 所有者ニハ製造補助金ヲ受ケタル新ナル自動車ヲ其ノ製造者ヨリ購買シテ使用シ又ハ他人ヲシテ使用セシムル場合ニ於テ自動車一輛ニ付千圓以内ノ購買補助金ヲ下付スルコトヲ得

第六條 増加補助金又ハ購買補助金ヲ受ケタル自動車ヲ所有者之ヲ使用シ又ハ他人ヲシテ使用セシムル場合ニ於テハ其ノ期間ニ應シ自動車一輛ニ付一年三百圓以内ノ維持補助金ヲ下付スルコトヲ得

維持補助金下付ノ期限ハ増加補助金又ハ購買補助金下付指令ノ日ヨリ五年ヲ限リ製造補助金下付指令ノ日ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得

維持補助金ハ毎年其ノ年分全額ヲ下付指令ノ際自動車ヲ所有者ニ之ヲ下付ス

第七條 製造補助金ヲ受ケタル自動車ハ其ノ補助金下付指令ノ日ヨリ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至ル迄ノ間之ヲ保護自動車ト稱ス

一 自動車ノ所有者カ第二條第一項ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキ

二 第六條第二項ノ期限ヲ經過シタルトキ

三 第十二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ヲ受クルノ資格ヲ廢除セラレタルトキ

第八條 主務大臣ハ軍用ノ爲何時ニテモ保護自動車ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ收用又ハ使用シタル場合ニ於テハ自動車ノ所有者ニ補償金ヲ下付ス其ノ金額ハ主務大臣之ヲ定ム

補償金額ニ對シ不服アル者ハ收用又ハ使用ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ出訴ハ自動車ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

第九條 保護自動車ノ所有者ハ主務大臣ノ定ムル場合ヲ除クノ外保護自動車ノ構造又ハ能力ヲ變更スルコトヲ得ス

第十條 保護自動車ハ之ヲ輸出シ又ハ外國人ニ對シ讓渡シ、貸付シ若ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十一條 主務大臣ハ保護自動車ノ保續ヲ期スル爲其ノ構造及能力ヲ檢查シ所定ノ構造又ハ能力ヲ有セスト認ムルトキハ其ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ之ヲ修理ヲ命スルコトヲ得

前項ノ外主務大臣ハ保護自動車ノ所有者ニ對シ其ノ保續ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條 主務大臣ハ前條第一項ノ規定ニ依ル檢查ニ依リ所定ノ構造又ハ能力ヲ有セスト認メタル保護自動車ニ對シテハ修理ヲ命シタル場合ヲ除クノ外補助金ヲ受クルノ資格ヲ廢除ス其ノ修理ヲ命シタル場合ニ於テ修理完成ノ檢查ニ合格セス又ハ指定期限迄ニ其ノ檢查ヲ受ケサルトキ亦同シ

主務大臣ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シタル者ニ對シテハ違反ノ事實アリタル時ヨリ當該自動車ニ對スル補助金ヲ受クルノ資格ヲ廢除シ又ハ停止スルコトヲ得

主務大臣ハ前條第一項ノ規定ニ依リ修理ヲ命シタル自動車ニ對シテハ前條第一項ノ規定ニ依ル檢查ノ時ヨリ修理完成ノ檢查ヲ受ケタルモノニ在リテハ合格不合格決定ノ時迄、其ノ檢查ヲ受ケサルモノニ在リテハ指定期限迄補助金ヲ受クルノ資格ヲ停止ス

第十三條 主務大臣ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル犯罪ノ爲起訴セラレタル者ニ對シテハ裁判確定ニ至ル迄ノ間補助金ノ支給ヲ中止スルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ第十五條乃至第十七條ノ規定ニ依リ處罰セラレタル者ニ對シ當該自動車ニ付既ニ下付シタル補助金ニ相當スル金額ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトヲ得

○又ハ第二條第一項ニ該當セサルニ至リタル者
前項ノ償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第十五條 詐欺ノ所爲ヲ以テ補助金ヲ受ケタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條第一項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ヲ拒ミタル者

二 第十條ノ規定ニ違反シタル者

第十七條 第九條ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル自動車ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ検査ニ關スル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十九條 製造者又ハ所有者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ製造者又ハ所有者ニ適用スヘキ罰則ハ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 製造者又ハ所有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十一條 前二條ノ場合ニ在リテハ懲役、禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ス

第二十二條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ニ依リ製造補助金ヲ受クルコトヲ得ル自動車ト同等以上ノ能力ヲ有スル新ナル外國製自動車ヲ所有シテ使用シ又ハ他人ヲシテ使用セシムル者ニハ當分ノ内自動車一輛ニ付千圓以内ノ補助金ヲ下付スルコトヲ得

前項ノ補助金ヲ受ケタル自動車ハ本法ノ製造補助金及購買補助金ヲ受ケタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ官立工場ニ於テ製造シタル自動車ニ付之ヲ準用ス

〔國務大臣大島健一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大島健一君) 唯今議題トナリマシタ、軍用自動車補助法提出ノ理由ヲ單簡ニ申上ゲマス、自動車補助法ノ趣意ハ自動車ヲ民間ニ使用セシメテ、主トシテ有事ノ際ニ之ヲ徵用シタイト考ヘマスルノデゴザイマス、由來自動車ノ……軍用自動車ノ研究ヲ進メマシテ、東洋ノ地形ニ於テ我軍ニ用フベキ軍用自動車ノ制式ハ略、研究ヲ終リマシテ、三噸級四噸級ノ二ツヲ定メマシテゴザイマス、特殊ノ自動車ハ無論軍部ニ於テ準備貯蓄イタスベキデアリマスガ、最モ多數ヲ要シマスル自動車ハ之ヲ民間ニ使用セシメマシテ、有事ノ日ニ徵用ヲ致ス制度ヲ執リマスルコトガ、此制式ノ常ニ進歩イタシマスル今日ニ於テ新陳代謝ノ途ヲ得ル上カラモ必要ト感ジテ居リマスノデアリマス、併ナガラ其製造工業ノ程度ガ歐米等ノソレト同等ニ參ッテ居リマセス所ヨリ、日本デ製作イタシマスルモノハ外國輸入ノ貨車ヨリハ餘程高クナリマス、段々進歩シマセウガ、唯今迄陸軍デ調製シ調査シタ所デハ、帝國デ造リマスモノハ高クナリマス、又使用イタシマスル點ニ於テモ、各種ノ費用ヲ要シマスル爲ニ馬車等ニ較ベマスト餘程同ジモノヲ運搬スルニ費用ガ掛リマス、此製造ヲ補助シ又使用上運搬費ノ嵩ミマスルノヲ相當ノ補助ヲ與ヘマセスケレバ、到底今日ノ狀況ニ於テ民間ニ用ヒサセマスルコトハ困難デアリマス、是等ノ製造、購買、使用ニ對シテ、相當ノ補助金ヲ與ヘマシテ、廣ク民間ニ用ヒサセタイト云フ考デゴザイマスシ、馬ノ乏シイ國ニ於キマシテ、或ハ又此速度ヲ利用シテ今後益、戰場輸送力ノ大ナルコト、速イコトヲ要スルノニハ是非之ヲ必要ト認メマス、ドウガ御審議ノ上、御協賛ヲ賜ハラムコトヲ祈リマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

軍用自動車補助法案特別委員

伯爵川村鐵太郎君	子爵樋口誠康君	子爵大河内正敏君
高崎親章君	男爵外松孫太郎君	男爵德川厚君
海江田準一郎君	廣瀬滿正君	松尾廣吉君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十七、鐵道敷設法中改正法律案、第十八、

足尾鐵道及有馬輕便鐵道買收ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、御異議ガナケレバ第十七、第十八ハ束ネテ問題ニ供シ、委員モ同一委員ニ付託シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

鐵道敷設法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正七年二月九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道敷設法中改正法律案

（ハ衆議院ノ修正
削除ノ符號ナリ）

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項中央線及北陸線ノ連絡線ノ部第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一 岐阜縣下岐阜ヨリ太田、高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

同項北越線ノ部ノ次ニ左ノ如ク加フ

上越線

一 群馬縣下高崎ヨリ新潟縣下長岡ニ至ル鐵道

同項山陰線ノ部中「萩ニ至ル鐵道」ヲ「萩ヲ經テ下關ニ至ル鐵道」ニ改ム

同項山陰及山陽連絡線ノ部ニ左ノ一號ヲ加フ

一 岡山縣下岡山ヨリ鳥取縣下米子ニ至ル鐵道

同項四國線ノ部中「琴平」ヲ「觀音寺」ニ改ム

同項九州線ノ部中第四號ヲ削ル

第四條 削除

「第二章 第一期鐵道及公債募集」ヲ「第二章 第一期鐵道」ニ改ム

第七條第一項第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 中央線及北陸線ノ連絡豫定線岐阜縣下岐阜ヨリ太田、高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道中岐阜縣下岐阜ヨリ太田ヲ經テ高山ニ至ル鐵道

道

同項第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 上越豫定線群馬縣下高崎ヨリ新潟縣下長岡ニ至ル鐵道

同項第十一號中「北條ニ至ル鐵道」ヲ「松田ニ至ル鐵道」ニ改ム

同項第十五號中「萩ニ至ル鐵道中」ヲ「下關ニ至ル鐵道中」ニ、「萩ニ至ル鐵道」ヲ「小串ニ至ル鐵道」ニ改メ同號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 山陰及山陽連絡豫定線ノ内岡山縣下岡山ヨリ鳥取縣下米子ニ至ル鐵道

同項第二十二號中「中香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下西條ニ至ル鐵道」ヲ削ル
同項第二十三號ヲ左ノ如ク改ム

一 四國豫定線ノ内香川縣下觀音寺ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道中香川縣下觀音寺ヨリ德島縣下池田ニ至ル鐵道及高知縣下山田ヨリ高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

ヨリ高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

同項第二十六號中「中鹿兒島縣下川内ヨリ鹿兒島ニ至ル鐵道」ヲ削ル

第七條第二項中「第一期工事」トシ特ニ公債ヲ募集スルコトヲ得」ヲ「第一期工事ト爲スコトヲ得」ニ改ム

第八條 削除

第九條 削除

足尾鐵道及有馬輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年二月九日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

足尾鐵道及有馬輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案

第一條 政府ハ現ニ借入使用スル足尾鐵道株式會社所屬ノ鐵道及有馬輕便鐵道株式會社所屬ノ輕便鐵道ヲ買收ス

第二條 前條ノ鐵道及輕便鐵道買收ノ期日ハ政府之ヲ指定ス

第三條 買收價額ハ買收ノ日ニ於ケル鐵道又ハ輕便鐵道ノ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス

前項ノ建設費ハ政府カ借入契約ニ依リ建設改良又ハ補充ノ爲支出シタル工事費ヲ控除シタルモノトス

第四條 買收代價ハ政府ノ定ムル價格ニ依リ五十五年内ニ償還スヘキ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス此ノ場合ニ於テ五十圓未滿ノ端數ハ之ヲ

券面金額五十圓トス

政府ハ買収ノ爲必要ナル額ヲ限度トシ前項ノ公債ヲ發行スルコトヲ得
第一項ノ場合ニ於テ特ニ要求アルトキハ現金ヲ以テ買収代價ヲ交付スル
コトヲ得

〔政府委員男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵後藤新平君) 茲ニ提出ニナリマシタ鐵道敷設法中改正法律
案ノ大體ノ理由ヲ申上ゲマス、本案ハ鐵道ノ普及今日ニ急務タルコトヲ以テ
マシテ提出シマシタコトハ勿論デゴザイマスガ、殊ニ此戰後ノ我が國民生活
ノ狀態ニ顧ミマシテ、今回ハ是マデ提出シマシタヨリ、ヨリ多クノ線路ヲ提
出スルコトニナリマシタ、鐵道線路網制定以來、鐵道當局ニ於テモ、此線路
ノ選定ニハ段々攷究ヲ重ネマシテ、此案ニハ豫定線ノ中、第一期線ニ繰入レ
タルモノモアリマスルシ、第一期線ノ中繰上ゲマシタモノモアリマス、是等
ノモノハ二百餘哩ニ達シテ居リマス、又新豫定線ニシテ第一期線ニ直チニ組
入レマシタモノモアリマス、是等ノモノガ二百餘哩ニナッテ居リマス、大體四
百五十哩バカリノモノガ提案ニナッテ居リマス、衆議院ニ於キマシテ、四國線
ノ一部、觀音寺線ヲ否決セラレテ居リマス、是ハ政府ニ於テハ鐵道會議ノ協
贊ヲ要シマシタモノデアリマシテ、最善ノ選定ト考ヘマシテ是ニハ同意ヲ致
シマセヌ、右申述ベマシタヤウナ理由ニ依ッテ茲ニ提案ニナッテ居リマス譯デ
アリマス、御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、次ニ第
十八、足尾鐵道及有馬輕便鐵道買上ニ關スル法律案、是ハ第三十九議會ニ於
テ既ニ買上ゲマシタ所ノ鐵道、是ハ民設ノ鐵道ヲ借入レテ、政府ニ於テ運輸
上ノ統一便宜ヲ圖ル爲ニ使用シテアッタ所ノモノデアリマス、其三十九議會
ニ於テ買上ゲマシタモノハ、買上ゲノ結果モ甚ダ圓滿ニ善良ノ成績ヲ見テ居
リマス、此度モ此借入レテアル所ノ鐵道ヲ整理シテ統一イタシ、又運輸ノ便
ヲ圖リタイト云フ爲ニ提案ヲ致シタノデアリマス、御審議ノ上、協贊ヲ與ヘ
ラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致
サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案外一件特別委員

侯爵細川 護立君 男爵小澤 武雄君 子爵松平 直平君

貴族院議事速記録第六號

大正七年二月十三日

鐵道敷設法中改正法律案外一件 第一議會
朝鮮事業公債法中改正法律案外一件 第一議會

子爵新庄 直知君 古市 公威君 男爵島津 久賢君
石黒 五十二君 阪本 鈺之助君 森田 庄兵衛君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十九、朝鮮事業公債法中改正法律案、
第二十、樺太事業公債法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是モ御異議
ガナケレバ兩案トモ束ネテ問題ニ供シ、同一委員ニ付託イタシタイト思ヒマ
ス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

朝鮮事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年二月九日 衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス
第三項中「九千八百萬圓」ヲ「一億六千八百萬圓」ニ改ム

樺太事業公債法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正七年二月九日 衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

樺太事業公債法

第一條 樺太ニ於ケル事業費支辨ノ爲政府ハ五百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ發
行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場
合ニ於テハ前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得本
法ニ依ル公債又ハ借入金借換ノ爲必要アルトキ亦同シ

附則

本法ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 朝鮮ノ事業公債ハ御承知ノ如クニ、其法定額ガ今日ノ所、九千六百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ尙ホ咸鏡線ノ完成、鎮海線、或ハ京釜線、京義線ノ改良、其他ノ工事ヲ致ス必要ガゴザイマスルノデ、八箇年ニ互リマシテ七千三百三十七萬二千百圓ヲ使用イタシタイト云フノデアリマス、ソレ故ニ此公債額ヲ増加イタシテ一億六千八百萬圓ト致シタイト申スノガ法ノ精神デゴザイマスルノデ、御審議ノ上、御協賛ヲ願ヒタウゴザイマス、併セテ其次ノヲ説明イタシマス、樺太拓殖ノ目的ヲ以チマシテ、同島ニ於キマシテ二百五十三哩ノ鐵道ヲ敷設イタシタイト、之ニ要スル所ノ經費ガ千二百四十四萬圓要ルノデアリマス、而シテ公債計畫ト致シマシテハ、此金額ヲ抑ヘマセスト、大正七年ヨリ同十一年ニ互ル五箇年間ノ經費、即チ千五百四十七萬四千圓ト云フモノヲ抑ヘマシテ、此公債發行額ト致シテ御協賛ヲ經タイノデアリマス、御審議ノ上、御協賛ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

朝鮮事業公債法中改正法律案外一件特別委員

伯爵正親町 實正君 淺田 德則君

男爵毛利 五郎君 男爵眞田 幸世君 男爵岩倉 道俱君

男爵佐竹 義準君 麻生 太吉君 佐藤友右衛門君

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會

午後四時二十八分散會